

令和3年度（2021年度）

事業報告書

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

目 次

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業	地域ネットワーク事業	・・・	1
	生活支援体制整備事業	・・・	4
	介護予防地域づくり推進業務	・・・	10
	地域介護予防活動支援事業	・・・	11
	障害者および高齢者団体等のバス借上補助	・・・	15
	みんなといっしょの運動会（障害者運動会）	・・・	16
	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務	・・・	17
	日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）	・・・	18
	個と個をつなぐ居場所創り実施支援事業 新規	・・・	20
	人生100年時代のライフイノベーション推進事業 新規	・・・	21
	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務	・・・	22
	スマートフォン講座等実施事業 新規	・・・	24
	ICT（情報通信技術）を活用したシニア支援事業 新規	・・・	26
在宅福祉事業	学生向け食料品配布等生活支援事業 新規	・・・	28
	在宅高齢者ケアサービス事業	・・・	29
	第1号訪問事業生活援助型	・・・	32
	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業	・・・	33
	移動困難高齢者ワクチン接種会場移送支援業務事業 新規	・・・	35
	高齢者食事宅配サービス事業	・・・	35
	産後家庭向け配食サービス事業 新規	・・・	37
	車椅子貸出事業	・・・	38
	コミュニケーション支援事業	・・・	39
ボランティア活動推進事業	日野市ボランティア・センター	・・・	42
	防災・減災をテーマにした地域づくり	・・・	51
	日野市介護サポーター制度	・・・	54
	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!」	・・・	56

助成事業	歳末たすけあい地域福祉活動助成	・ ・ ・	5 7
	地域支え合い福祉活動助成	・ ・ ・	5 8
生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	・ ・ ・	6 0
	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	・ ・ ・	6 3
	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急特例貸付	・ ・ ・	6 3
	ヒカリ興業奨学基金	・ ・ ・	6 7
福祉サービス利用援助事業	地域福祉権利擁護事業	・ ・ ・	6 8
	権利擁護センター日野	・ ・ ・	7 0
福祉人材育成事業	手話通訳者研修事業	・ ・ ・	7 4
	手話講習会事業	・ ・ ・	7 5
	福祉のしごと相談・面接会	・ ・ ・	7 8
	福祉人材育成研修事業	・ ・ ・	7 9
	障害福祉人材育成研修事業 新規	・ ・ ・	8 0
	社会福祉士養成のための実習生の受入	・ ・ ・	8 4
法人運営事業	組織運営事業	・ ・ ・	8 5
公益事業拠点区分			
福祉センター管理事業	日野市立中央福祉センターの管理運営	・ ・ ・	9 4
高齢者就業創出支援事業	しごとサポートひの	・ ・ ・	9 5
収益事業拠点区分			
自動販売機設置管理事業		・ ・ ・	9 6
日野市役所内売店の運営		・ ・ ・	9 7
共同募金運動			
赤い羽根共同募金運動	日野地区協力会	・ ・ ・	9 8
	日野地区配分推せん委員会	・ ・ ・	9 9
歳末たすけあい運動		・ ・ ・	1 0 1
日野市社会福祉協議会	組織体制	・ ・ ・	1 0 2

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業

事業名	地域ネットワーク事業
事業形態	独自事業
財源内訳	会費
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	住民や様々な団体と連携・協働して多様なネットワークの構築を図り、課題発見の仕組みづくりや住民による主体的な地域福祉・交流活動を支援し、地域共生社会を目指す。 既に存在する同様の組織や活動との整合性を図り、住民が無理や無駄がなく活動していける基盤整備を市と協力して進める。
内容	1. 地域担当の配置
実績報告	1) 日常生活圏域ごとの担当職員の配置 4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・ひらやま・たかはた）ごとに担当職員を配置し、日野市生活支援体制整備事業（協議体）における第2層生活支援コーディネーターとの連携や日野市地域協働課主催の地域懇談会、地域介護予防活動団体への支援（モニタリング）を通じて、地域課題の把握・解消に向けた取り組みを実施。 ①三中地区地域懇談会（11/27） ②二中地区地域懇談会（12/4） ③一中地区地域懇談会（12/5） ※協議体や地域介護予防活動団体等の詳細は後述 2) 住民主体の活動団体への参加や支援、連携 地域支え合い活動助成（サロン助成）やスマホ講座の実施、デジタルコンテンツ作成（広報）などを通じて団体との連携強化、地域福祉活動を直接的・側面的に支援。 3) 重層的支援体制整備事業（地域福祉コーディネーター）の実施の検討及び活動の可視化 ①八王子市社会福祉協議会への訪問調査（8/18） 重層的支援体制整備事業の実施・検討のため、福祉政策課と先行地区の八王子市社会福祉協議会にヒアリングを実施。 ②活動の可視化（相談分析） 地域担当に寄せられる相談内容や支援方法の分析のため、Google フォーム等を活用し相談の可視化の検討。
事業効果・評価方向性等	- 今年度も新型コロナウイルスの影響で、地域福祉活動の縮小や中止、オンライン開催等が数多く見られ、交流（人と人とのつながること）の難しさを感じた一年であった。 - 通常の地域福祉活動の停滞が続くなか、社会福祉協議会とつながりを持

	つサロンや地域福祉活動団体等とのネットワークを活用し、ICT等を活用したシニア支援（スマホ講座実施）やデジタルコンテンツ作成、オンラインひの筋（フレイル予防）の実施など、コロナ禍（新しい生活様式）に応じた相談支援活動について新たな試みを実施することができた。
内 容	2. “みんなでつくる” ぷらっと協議会（地区社協）の運営支援
実績報告	6年目を迎え、引き続き会の安定的な運営と維持に努め①伝える（広報・啓発）、②つなぐ（ネットワーク化）、③続ける（継続）の3つを柱として推進し、地区の活性化と住みやすいまちづくりを目指し活動。 1) ぷらっと南平運営（毎週水曜日 13:00～16:00） ①コロナ禍における交流活動促進のため、オンライン型交流「Zoom で井戸端会議」を開始・実施（毎週水曜日 14:00～14:30） 実施回数 47回 参加者延べ 261人 ②ぷらっとシネマ上映会の運営支援（毎月第3金曜日 14:00～16:00） ぷらっと南平の広報（活動周知・協力者募集）を兼ねて、事務所内で映画上映会を実施。 実施回数 5回（10/20, 11/24, 12/22, 1/28, 3/25） 参加者延べ 37人 2) 役員会 12回 （4/21, 5/26, 6/23, 7/21, 8/25, 9/22, 10/20, 11/19, 12/22, 1/19, 2/16, 3/23） 3) 運営委員会 1回（11/6）ハイブリット（対面・Zoom）実施 4) 会報誌「ぷらっと南平だより」の発行 ※事業自粛に伴い休止 5) 子どもの居場所づくり（学習の場）を立ち上げ検討 南平児童館との意見交換（4/14） 6) 他団体への協力 ①南平ふれあいサロン：草刈り（5/26・6/30） ②小規模多機能みなみだいら：避難訓練「見守り」（8/24・3/29） ③地域包括支援センターすずらん：南平まちづくり協議体への参加 （8/28・10/23・1/29） ④南平小学校：敷地内木の伐採（9/12・10/30） ⑤南平小学校避難所マニュアル作成委員会：マニュアル作成等 （4/2・6/19・7/3・7/31） ⑥ほっとも南平：ハロウィンパーティ「見守り」（10/28） クリスマス会「サンタクロース・クリスマスプレゼント」（12/23） ⑦友遊ケアセンター：買い物お助けサービス（第2・4土曜日） 実施回数 28回 参加者延べ 87人 ※サポート延べ136人（後述）

	7) 地域の困りごとの対応（個別的支援） 様々な事情により自分自身で対応ができない方への協力 ①部屋が片付けられない方から相談。（7/14,20） 約束した日に訪問しても留守が続き、そのまま音信不通となった。 ②高齢者世帯からの棚の移動相談（訪問）。（7/21） 高齢者世帯からの相談で、屋内で歩行器を使用するため棚の移動と転倒防止対策を行った。 ③タンスの移動希望（2F⇒1F）の相談対応（10/19）
事業効果・評価 方向性等	・ぷらっと南平では、オンラインや地域の困りごとに対し、本会より側面的支援（Zoomの使い方や相談に対する対応策）を行うことで、コロナ禍でも地域主体（個人・参加者を限定）でできる範囲の活動を行うことができ、コロナ以降の活動を検討する上で一定の成果と考えている。 ・今年度に参加・実施した「南平まちづくり協議体（日野市生活支援体制整備事業第2層協議体）」や「地域の困りごと相談対応」をきっかけに住民同士の助け合い活動「ちょこ助サービス（介護予防・生活支援サービス事業訪問型サービスB（以下、訪問型サービスB）をぷらっと南平で実施する方向となった。 ・令和4年度以降、市内で本格的に「ちょこ助サービス」が推進される予定であるが、実施予定の団体の情報共有をはかり、円滑な活動が進められるよう支援を図っていく。
内 容	3. 地域福祉活動団体への支援
実績報告	1) 各団体への支援 ①明星地区つながりの家「アムール」（程久保） スタッフ役員会議に出席 11回 (4/21,5/19,6/16,7/21,8/18,9/15,10/20,11/17,12/15,1/19,2/13) 除菌シートやアルコール消毒液の提供 ②ふれあいあじさいサロン（高幡） 2回（5/18,7/20） 初めてのスマホ講座を実施。 除菌シートやアルコール消毒液の提供 ③体幹トレーニング器具の提供 サロンや通いの場等に来ている利用者・スタッフに対して気軽に体幹を鍛える環境を作るのを目的に要望に応じて体幹トレーニング器具を提供した。（※器具は東京都共同募金会から寄贈された物） 5団体（アムール・ソレイユ・ひだまり・和楽会・健幸サロン）
事業効果・評価 方向性等	・緊急事態宣言下でも感染予防対策を講じてサロンを再開・継続しているところが多くみられた。 ・サロンの再開を楽しみにしている声や行き場がなくなってしまったという声を多く寄せられたとサロン関係者からの聞き取りで判明。 ・サロンが継続して活動できるように情報提供や（企業からの寄付があった場合等）可能な限りの物資の提供を引き続きしていく。

事業名	生活支援体制整備事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	地域支援係・在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	地域包括ケアシステムの中で、日野市全体の生活支援のコーディネート機能を果たす第1層生活支援コーディネーターを受託し、第1層協議体の運営を行う。また、第2層生活支援コーディネーターと協力しながら協議体の運営を行い、日野市における生活支援の基盤整備を図る。		
内 容	1. 第1層協議体および生活支援コーディネーター業務		
実績報告	1) 第1層生活支援コーディネーター（第1層協議体）		
	①第1層協議体の開催 年2回		
	開催日	内 容	参加者
	9/15	1. 第1層協議体主催の講演会（12/7）について 2. 第2層生活支援コーディネーター連絡会等の報告について	9人
	2/16	1. 報告事項 ・令和3年度活動報告 ・講演会「戦略のおせっかい」結果について ・生活支援体制整備事業に関わる会議体について ・協議体等の実施報告 ・訪問型サービスBについて 2. 協議事項 ①介護・フレイル予防活動について ②ICTを活用したシニア支援について	9人
	※会場は中央福祉センター集会室1・2		
	②委員構成		
	1. ひの市民活動ネットワーク 2. ひのリハビリテーションネットワーク 3. 日野市シルバー人材センター 4. 日野市介護保険関連施設連絡協議会 5. ひのケアマネ協議会 6. 日野市在宅介護事業者連絡会 7. 日野市老人クラブ連合会 8. 日野市民生委員・児童委員協議会 9. 日野市地域包括支援センター 10. 日野市高齢福祉課 11. 第1層生活支援コーディネーター（日野市社会福祉協議会） [事務局] 日野市社会福祉協議会地域支援係 [オブザーバー] 日野市高齢福祉課		
	2) 講演会（場所：イオンモール多摩平の森イオンホール）		
	開催日	内 容	参加者
12/7	戦略のおせっかい ～あなたのおせっかいで地域を笑顔に！～ 萩原なつ子 氏 （立教大学社会学部大学院21世紀社会デザイン研究科教授）	73人	

3) 第2層生活支援コーディネーター連絡会

	開催日	内容	参加者
第1回	5/17	1. 地域包括支援センターからの報告 2. 第1層生活支援コーディネーター報告 3. 自治会交流会について	16人
第2回	7/28	1. 生活支援サービスについて 2. 地域課題についての検討 3. 講演会について	16人
第3回	8/25	1. 地域課題について ①オートロックマンションにおける見守り ②交流の場 ③災害対策	16人
第4回	2/8	1. 報告事項（会議体・講演会アンケート） 2. 情報交換（各地域の協議事項・今後について）	16人
勉強会	11/4	(株)日本ハウジングとの話し合い （オートロックマンションの入居者の管理体制について）	15人

4) 社福) 創隣会主催「地域力強化推進事業」支援ネットワーク委員会
(わがまる委員会) オンライン会議 (9/16)

5) 東京ホームタウンプロジェクト（プロボノ地域活動スタートガイド
「互近助サービスちょこすけ」作成）への協力

プロボノの支援を受け、訪問型サービス B の担い手となる市民団体が活動を始めるにあたってガイドブック作成のための打合せ等を行った。

内容	日程・場所	参加
打合せ	7/12・8/13・9/13 10/9・12/28・1/20 2/17・3/2 ※主にオンライン	プロボノ・高齢福祉課 ・日野市社会福祉協議会（第1層生活支援コーディネーター）
ガイドブック 作成のための ワークショップ	11/27（日） 日野市役所	プロボノ・高齢福祉課・日野市社会福祉協議会・地域包括支援センター（第2層生活支援コーディネーター）・NPO あすねっと・西宮下自治会・困りごとお助けクラブ・南平地区社会福祉協議会
地域活動 スタートガイド 完成披露会	3/13（日） 日野市役所	プロボノ・高齢福祉課・日野市社会福祉協議会・地域包括支援センター・NPO あすねっと・西宮下自治会・困りごとお助けクラブ

※プロボノとは、「公共善のために」を意味するラテン語「Pro Bono Publico」を語源とし、【社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かして取り組むボランティア活動】を表す。

6) 介護保険運営協議会に出席 (5/21、8/20、1/21)

7) 地域ケア会議に出席 (10/26、11/26、11/30、3/2)

	8) 他市の活動見学・調査 ①ハ王子市：オンライン活用の体操の取り組み見学（1/19） 館が丘団地（ハ王子）で行われているアプリ等を活用した体操事例について高齢福祉課、企画経営課とともに見学。 ②多摩市：高齢者の見守り相談窓口のヒアリング（2/17） 多摩市中部高齢者見守り相談窓口に「見守り相談窓口」の設立経緯や活動状況について、高齢福祉課（在宅サービス係）とともに訪問。 9) 日野市リハネット：研修会で事例報告（3/11） リハビリ専門職で組織するリハネット研修会に参加し、日野市の介護予防・フレイル予防、地域ケア会議について事例報告を行うとともに、今後の日野市のフレイル予防活動におけるリハ職との連携方法を協議。 10) 東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター： 「第17回南多摩医療と介護と地域をつなぐ会フォーラム（コロナと活動～再開と再会～）」で事例報告（3/13） 南多摩5市（ハ王子・町田・日野・多摩・稲城）の専門職（介護フレイル予防推進員・第1層生活支援コーディネーター・理学療法士・福祉専攻大学生）等が行うフォーラムで日野市の取り組みを事例報告。
事業効果・評価 方向性等	・生活支援体制整備事業の広報や市民同士の支え合い活動の普及啓発を目的に、講演会「戦略のおせっかい」を開催した。日野市の取り組みについての活動報告を行い、参加者より「関心の声」が多数寄せられた。 ・これまでの第2層協議体等から挙がる課題を検討し、第1層協議体（2/16）で令和4年度以降の活動の柱を「フレイル予防（社会参加）」と提案し承認された。 ・生活支援体制整備事業（第1層協議体）で活動の柱が「フレイル予防」と承認されたことで、フレイル予防に関わる専門職（理学療法士や栄養士など）との連携方法について検討を進めるといった関係強化に努めることが重要課題となっている。 ・第2層協議体ならびにコーディネーター連絡会を通じ、地区ごとの課題の収集（情報交換）を行い、課題解消に向けた取り組み等の検討を行っているが、新型コロナウイルス感染症等の影響により難航している。

内 容	2. 第2層協議体の事務局運営		
実績報告	1) 第2層協議体 地域包括支援センター（以下包括）のエリアごとに開催。 各包括に配置された第2層生活支援コーディネーターと、日野市社会福祉協議会に配置されている第1層生活支援コーディネーターが連携して事業を推進。日野市社会福祉協議会は第1層協議体とともに第2層協議体の事務局運営も併せて実施。 ①第2層協議体の開催（計28回） ひの圏域（開催回数 8回※その他「イベント」除く）		
	多摩川苑	包括名	回数 内容等
		第1回 (6/7)	会場 万願荘地区センター&オンライン 内容 災害時ペット同行避難準備会 参加者 14人
		第2回 (8/26)	会場 万願荘地区センター&オンライン 内容 災害時ペット同行避難準備会 参加者 15人
		第3回 (10/6)	会場 オンライン 内容 災害時ペット同行避難準備会 参加者 18人
		第4回 (12/9)	会場 オンライン 内容 災害時ペット同行避難準備会 参加者 12人
		第5回 (2/2)	会場 オンライン 内容 災害時ペット同行避難準備会 参加者 15人
		第6回 (6/28)	会場 下田地区センター 内容 高齢者の運動の場づくり 参加者 7人
		第7回 (9/6)	会場 下田地区センター 内容 高齢者の運動の場づくり 参加者 9人
		第8回 (10/11)	会場 下田地区センター 内容 通いの場づくり 参加者 7人
		協議体（会議）未実施	
	せせらぎ	その他 (10/8)	会 場 日野市立中央公園 内 容 介護予防教室 参加者 20人
		その他 (10/15)	会 場 日野市立中央公園 内 容 介護予防教室 参加者 20人

ひらやま圏域（開催回数 8回※その他「イベント」除く）		
包括名	回数	内容等
すずらん	第1回 (6/26)	会場 南平駅西交流センター 内容 南平ボランティアマップについて 参加者 12人
	第2回 (8/28)	会場 南平駅西交流センター 内容 南平ボランティアマップについて 参加者 19人
	第3回 (10/23)	会場 南平駅西交流センター 内容 アンケートについて 参加者 22人
	その他 (11~12月)	南平地区住民アンケートの実施
	第4回 (1/29)	会場 南平駅西交流センター 内容 南平のボランティアマップ作製 参加者 14人
いきいき タウン	第1回 (9/16)	会場 平山交流センター 内容 互近助サービスちょこすけについて 参加者 19人
かわきた	第1回 (7/28)	会場 平山住宅集会所 内容 高齢者を含む地域の見守り 参加者 20人
	第2回 (12/2)	会場 大和田地区センター 内容 地域課題について 参加者 13人
	第3回 (2/18)	会場 大和田地区センター 内容 各団体の活動紹介 参加者 13人
たかはた圏域（開催回数 5回※その他「イベント」除く）		
包括名	回数	内容等
あさかわ もぐさ	第1回 (4/21)	会場 高幡台団地集会所 内容 第1回高幡台映画上映会打合せ 参加者 8人
	第2回 (10/7)	会場 中央公民館高幡台分室 内容 高幡台映画上映会について 参加者 17人
	第3回 (11/15)	会場 高幡台団地集会所 内容 高幡台映画上映会について 参加者 22人
	第4回 (12/13)	会場 高幡台団地集会所 内容 高幡台映画上映会について 参加者 13人
	第5回 (1/25)	会場 高幡台団地集会所 内容 上映会アンケート結果報告、都立大学フレイルに関するアンケート結果を受けて

		その他 (11/30)	会場 高幡台団地集会所 内容 高幡台映画上映会 (2部制) 「坂の上のマリア」 参加者 42人 (1部21人/2部21人)
	とよだ圏域 (開催回数 7回※その他「イベント」除く)		
	包括名	回数	内容等
	すてっぴ	第1回 (6/28)	会場 豊田南地区センター 内容 防災対策について 高齢者と地域住民を支える仕組みづくりについて 参加者 18人
		第2回 (8/30)	会場 豊田南地区センター 内容 避難訓練について 高齢者と地域住民を支える仕組みづくりについて 参加者 28人
		第3回 (10/25)	会場 豊田南地区センター 内容 防災訓練の報告、住民アンケートについて 参加者 16人
		第4回 (12/27)	会場 豊田南地区センター 内容 住民アンケートについて 参加者 13人
	あいりん	第1回 (9/6)	会場 多摩平の森さくら集会所 内容 青空上映会について 参加者 9人
		第2回 (11/18)	会場 多摩平の森さくら集会所 内容 ベンチの設置について 参加者 15人
		第3回 (12/14)	会場 多摩平の森さくら集会所 内容 ベンチの設置について 参加者 15人
		その他 (10/9)	会場 多摩平の森さくら集会所 内容 青空上映会「実写版火垂るの墓」 参加者 54人
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症の影響で積極的に進めることが難しいなか、各包括が様々に工夫し少しずつ活動を再開させているが、感染対策も考慮して住民主体の活動へ展開を進めることにどの地区も苦慮している。 ・補助金等を活用した住民主体で助けあい事業を検討する地域も出て、他地区の取り組みの参考として、こうした活動の広報周知の機会づくりを進めている。 ・会議だけではなく、行事を行うことでできる顔の見える関係づくり、調査を行うことで地域に必要な社会資源探しなど、地域にあったやり方で生活支援体制の基盤づくりを実施する地域も出ている。 ・コロナ禍により、高齢者の外出機会の促進・社会参加の課題が全地区共通の課題として挙げられている。		

事業名	介護予防地域づくり推進業務					
事業形態	受託事業（日野市）					
財源内訳	受託金					
担当係	地域支援係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	今年度より2人体制で介護予防・フレイル予防推進員業務を受託し、住民主体の介護予防推進のための基盤整備やネットワークづくりを行う。					
内容	1. 介護予防の推進のための基盤整備					
実績報告	1) フレイル予防リーダー養成講座を企画・実施（ボランティア育成） コロナ禍のフレイル予防活動の促進を図るため、フレイル予防の基礎的な知識を習得した市民ボランティア「フレイル予防リーダー」養成講座を企画実施。※講座詳細は後述 2) 地域介護予防活動に関するアンケートの実施 コロナ禍における介護予防活動の現状や今後の団体（活動）支援に対する意見収集を目的にアンケート調査を実施。 ①配布数：54 団体 ②回答数：43 団体 3) 地域づくりによる介護予防研修への参加 感染症対策のためオンラインでの参加 7回 (6/28, 7/5, 7/12, 7/30, 9/24, 10/22, 12/17)					
内容	2. 関係機関との連携・ネットワークの構築					
実績報告	1) 関係機関への協力 ①日野社会教育センター：フレイル予防体力測定会の運営支援 <table><tr><td>支援内容</td><td>協力回数</td></tr><tr><td>実施項目の測定・測定器具の貸出 地域主体のフレイル予防活動の実施案内 ほか</td><td>14 回</td></tr></table> ②日野市リハネット：研修会で事例報告（3/11）※再掲 ③東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター ：第 17 回南多摩医療と介護と地域をつなぐ会フォーラム 「コロナと活動～ 再開と再会～」で事例報告（3/13）※再掲		支援内容	協力回数	実施項目の測定・測定器具の貸出 地域主体のフレイル予防活動の実施案内 ほか	14 回
支援内容	協力回数					
実施項目の測定・測定器具の貸出 地域主体のフレイル予防活動の実施案内 ほか	14 回					
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルスの影響もあり、ほとんどの団体が活動を休止していて対面での活動が難しかった。 ・代わりにZoomの使い方講座に受講された高齢者等に、おうちでひの筋の周知をして参加者の増加につなげた。 ・緊急事態宣言が解除され対面活動が可能になれば、通いの場の普及啓発や包括職員向けのフレイル予防事業研修を実施していく。 ・フレイル予防における専門職（理学療法士等）団体の研修会やフォーラムで日野市の取り組みを事例報告し、専門職が地域で活動する上での意義や課題等についての情報交換を行い、今後の連携方法について検討することができた。					

	・地域介護予防活動に関するアンケートでは、コロナ禍より参加者の減少している団体が半数以上にのぼり、必要な支援として「参加者の募集（広報周知）」が最も多く、次に「フレイル予防に関する正しい情報の提供」となっている。
--	---

事業名	地域介護予防活動支援事業			
事業形態	受託事業（日野市）			
財源内訳	受託金			
担当係	地域支援係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	高齢者が、自ら要介護・要支援状態になることの予防に努めることができる環境を整備し、地域住民や団体による自主的な介護予防活動を育成し、支援することで、地域づくりにつなげていく。			
内容	1. 介護予防教室との連携			
実績報告	1) 日野社会教育センター：フレイル予防体力測定会の運営支援（再掲） 日野市社会福祉協議会で実施していた「フレイル予防体力測定会」を今年度より日野社会教育センターに移行されたことに伴い、同団体が実施する際の運営に協力。			
内容	2. ひの健幸貯筋体操の普及・啓発			
実績報告	1) 「ひの筋体操団体」の立ち上げ支援・紹介（デモ実施） 「ひの健幸貯筋体操（ひの筋体操）」の普及に取り組むため、新規立ち上げ支援のため、3カ月程度の体操指導を実施。			
	①ひの筋団体の新規立ち上げ支援（2団体）			
	登録日	実施団体	実施場所	
	令和3年4月6日	平山さつき会ひの筋体操サークル	七生台地区センター	
	令和3年9月15日	老暉会	湯沢福祉センター	
	②ひの筋デモ実施（4回）			
	実施団体	会場	開催日	人数
	みなみヶ丘悠遊クラブ	みなみヶ丘地区センター	10/6	10人
	みなみヶ丘自治会	みなみヶ丘地区センター	10/20	18人
	ひの子育てパートナーの会	万願寺交流センター	12/17	10人
七ツ塚シニアクラブ	七ツ塚ファーマーズセンター	1/16	24人	
③オンライン版「おうちでひの筋」の実施 コロナ禍でも自宅でフレイル予防に取り組めるようZoomを活用し、「ひの筋体操」を企画。各コース最終日は、理学療法士による講義・指導				
期間	日時	回数	参加数（延べ）	
4/6～6/17	火曜 13：30～15：00 木曜 10：00～12：00	全20回 （各10回）	243人	
7/1～9/16	火・木曜 10：00～12：00	全20回 （各10回）	309人	

	<table><tr><td>10/5～12/14</td><td>火・木曜 10:00～11:15</td><td>全20回 (各10回)</td><td>262 人</td></tr><tr><td>1/11～3/15</td><td>火曜 10:00～11:15</td><td>全 10 回</td><td>158 人</td></tr></table>	10/5～12/14	火・木曜 10:00～11:15	全20回 (各10回)	262 人	1/11～3/15	火曜 10:00～11:15	全 10 回	158 人					
	10/5～12/14	火・木曜 10:00～11:15	全20回 (各10回)	262 人										
	1/11～3/15	火曜 10:00～11:15	全 10 回	158 人										
	2) 専門職（理学療法士等）の派遣 地域介護予防団体等（コロナ禍においては「おうちでひの筋」も含む）で専門職を派遣し、運動（体操）の指導や情報提供を実施。													
	①理学療法士による指導 6回 内訳 ・団体派遣：1回（滝合木の実会 1/18） ・オンライン：5回 （おうちでひの筋 9/14, 9/16, 12/9, 12/14, 3/15）													
	3) フレイル予防リーダー養成講座を企画・実施（人材育成） フレイル予防の基礎的な知識を習得した市民ボランティア「フレイル予防リーダー」養成講座を企画実施。 講座修了者：11 人													
	<table><tr><td>日程</td><td>内容</td></tr><tr><td>3/1</td><td>介護予防事業の現状 住民のやる！を引き出す 講師 倉地洋輔 氏（からだ健房・理学療法士）</td></tr><tr><td>3/8</td><td>栄養講座・認知症の正しい理解 講師 蒲祥子 氏（㈱ヘルシーネットワーク管理栄養士） 辻澤美由紀 氏（地域包括支援センターもぐさ） 高瀬和枝 氏（地域包括支援センターあいりん）</td></tr><tr><td>3/15</td><td>フレイルを予防する理学療法 ひの筋体操レクチャー 講師 免田伸子 氏（デイケアきりん・理学療法士） 本間義崇 氏（老人保健施設ロベリア・理学療法士）</td></tr><tr><td>3/22</td><td>日野市のフレイル予防活動 脳トレ・口腔体操レクチャー 講師 伊東直樹・日高美和子 （日野市フレイル予防推進員（日野市社会福祉協議会））</td></tr></table>				日程	内容	3/1	介護予防事業の現状 住民のやる！を引き出す 講師 倉地洋輔 氏（からだ健房・理学療法士）	3/8	栄養講座・認知症の正しい理解 講師 蒲祥子 氏（㈱ヘルシーネットワーク管理栄養士） 辻澤美由紀 氏（地域包括支援センターもぐさ） 高瀬和枝 氏（地域包括支援センターあいりん）	3/15	フレイルを予防する理学療法 ひの筋体操レクチャー 講師 免田伸子 氏（デイケアきりん・理学療法士） 本間義崇 氏（老人保健施設ロベリア・理学療法士）	3/22	日野市のフレイル予防活動 脳トレ・口腔体操レクチャー 講師 伊東直樹・日高美和子 （日野市フレイル予防推進員（日野市社会福祉協議会））
	日程	内容												
	3/1	介護予防事業の現状 住民のやる！を引き出す 講師 倉地洋輔 氏（からだ健房・理学療法士）												
	3/8	栄養講座・認知症の正しい理解 講師 蒲祥子 氏（㈱ヘルシーネットワーク管理栄養士） 辻澤美由紀 氏（地域包括支援センターもぐさ） 高瀬和枝 氏（地域包括支援センターあいりん）												
3/15	フレイルを予防する理学療法 ひの筋体操レクチャー 講師 免田伸子 氏（デイケアきりん・理学療法士） 本間義崇 氏（老人保健施設ロベリア・理学療法士）													
3/22	日野市のフレイル予防活動 脳トレ・口腔体操レクチャー 講師 伊東直樹・日高美和子 （日野市フレイル予防推進員（日野市社会福祉協議会））													
※講座実施後、サロンや介護予防団体へ見学や体力測定会サポート等の実践を通じたOJT実施予定														
4) 「ひのフレイル予防リーダーガイドブック」の作成 フレイル予防活動の要素である「栄養・運動・社会参加・口腔ケア・脳トレ」の情報をまとめた冊子を作成し、今後のフレイル予防活動の普及（側面的支援）に役立てられるよう講座修了者へ配布。														
事業効果・評価 方向性等	・コロナ禍により、新規立ち上げ（登録）団体は 3 件に留まり、地域主体のフレイル予防活動の普及についての対策は急務となっている。 ・Zoom を活用した「おうちでひの筋」は、コロナ禍でのニーズもあり参加者の満足度は高い。一方で PC・スマホの操作やインターネット環境がない等の理由から新規の参加者が微増となっている。 ・「おうちでひの筋」に関心を示す人に対しては個別に対応して今後とも参加に繋げていけるよう努める。													
内 容	3. 地域介護予防活動団体の登録支援													
実績報告	1) 地域介護予防団体（ひの筋団体除く）の登録支援 介護予防体操または運動を行う団体に「日野市地域介護予防活動団体」への登録支援を実施した。													

登録日	実施団体	会場
令和3年12月16日	転倒予防教室	高幡台団地集会所

2) 広報周知

広報ひの (9/1号) へ案内掲載

ひの社協だよりNo242・No243で掲載

3) 地域介護予防団体への継続支援 (モニタリング)

No	圏域・包括	地域介護予防団体名	モニタリング
1	ひの	★ ひまわり	10/4
2		★ 栄町ふれあい体操会	休
3		★ 玄風会	9/30・3/24
4		★ ふれあいサロン縁がわ	12/14
5		こもれび	10/23
6		仲田ラジオ体操会	11/1
7		新町ラジオ体操会	9/28
8	多摩川苑	★ 地域交流スペース ひだまり	10/27
9		★ さざんかの会	休
10		★ ふれあいサロン万願荘	休
11		★ かわべ会	9/29・1/6
12		レモン倶楽部	10/6
13	とよだ	★ 豊四健康クラブ	12/4
14		★ 多摩平の森自治会よりみち体操クラブ	11/4
15		★ ピアあさひ	休
16		★ 美好会	12/21
17		シャル ウィ ダンス	10/25
18		旭ヶ丘ラジオ体操会	3/26
19	あいりん	★ 元気印健康クラブ	11/11
20		★ 寿楽会	1/14
21		日野ラジオ体操会	3/19
22	ひらやま	★ 気かけネットワーク	10/27
23		★ ふれあいサロンひだまり	8/11・1/19
24		★ ふれあいサロンソレイユ	8/17・3/22
25		★ 平山4丁目麦の会	7/9・12/10
26		★ トマトの会	8/4
27		★ 快筋会	10/14
28		★ 平山さつき会ひの筋体操サークル	11/5

No.	圏域・包括		地域介護予防団体名		モニタリング
29	ひらやま	すずらん	★	鹿島台ふれあいサークル	11/24
30			★	南平ふれあいサロン	10/26・2/1
31			★	茶の間会老人クラブ	9/8・3/23
32			★	ぬくもりテラス	7/24・2/26
33		かわきた	★	大和田健筋体操	11/15
34			★	日野貯筋体操（豊田団地シニアクラブ）	10/21
35			★	滝合木の実会（老人会）	5/18・1/18
36			★	カトレア	休
37				平山住宅自治会大空体操部	11/5
38				あさひ健幸体操	6/2
39				青春グループ	11/17
40		たかはた	もぐさ	★	健幸サロン
41	★			落川元気会①ひの筋体操②介護予防体操	—
42	★			百草団地ふれあいサロン	3/4
43	★			老輝会（太極拳グループ）	2/2
44				転倒予防教室	—
45	あさかわ		★	和楽会	1/6
46			★	南新井ふれあいサロン協議会	11/26
47			★	日老連健康体操	休
48			★	アムール	6/25
49			★	ひまわり【ファミリー高幡不動】	11/26
50			★	ひの筋体操サロン日野高幡	11/9
51				元気な音楽の広場	休
52			歌で楽しむ元気会	8/4	
53		ふれあいあじさいサロン	5/18		

※ ★：ひの筋団体 休：活動休止

4）地域介護予防活動登録団体連絡会 コロナ禍により実施せず

事業効果・評価 方向性等	・コロナ禍により活動を中止・休止（再開は未定）があり、再開についての検討が課題となっている。 ・活動状況の把握や相談支援を目的とした地域介護予防団体のモニタリングは「ひの筋体操実施団体」は年2回、「その他の団体」は年1回程度、活動の場を訪問している。今年度は新型コロナウイルスの影響で体操が出来ない期間があったため、訪問回数が減少してしまった。 ・活動のモチベーションアップや正しいフレイル予防の普及のため、理学
-----------------	---

	療法士による運動指導を実施しているが、コロナ禍により派遣回数も1回に留まった。これまでに派遣できるリハ職の有志を募り適宜連絡できる環境づくりを行っているが、実際に地域で活動するための体制整備（費用や時間、職場の理解）がこれからの課題である。 ・モニタリング時には、現況の聞き取りとともに①「フレイル」用語認知度（43.4%）②参加者数（平均11.6人/1団体）③男女比（25%：75%）の調査を行った。 ・今後の活動の活性化の支援策として、専門職の派遣（団体訪問）やフレイル予防リーダーによる活動が行えるよう努めていく。
--	--

事業名	障害者および高齢者団体等のバス借上補助			
事業形態	独自事業			
財源内訳	会費、歳末たすけあい配分金			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	高齢者や障害者等外出機会の促進、市民活動の活性化を図るため、障害者団体や高齢者団体等が実施する研修やボランティア活動等で利用した借り上げたバス費用の一部を補助する。			
内容	1. 助成金申請受付・決定・交付・事業報告書の精査			
実績報告	障害者団体や高齢者団体等が実施する研修や視察、ボランティア活動等で、民間バスを借り上げた費用の一部を補助する制度。申請書に基づいた利用区分に応じ、優遇措置を設定している。			
	1) 補助内容			
	対象団体	補助率	限度額	交付回数
	障害者団体 ①	補助対象経費の1/2	上限30,000円	2回
	高齢者団体 ②		リフト付きバス利用の場合、上限40,000円	0回
	市内地域団体 ③	補助対象経費の1/4	上限20,000円	0回
	その他の団体 ④		リフト付きバス利用の場合、上限30,000円	0回
	2) 補助実績			
	年度		合 計	
	3年度	交付件数 補助額	2件 44,300円	
2年度	交付件数 補助額	2件 60,000円		
事業効果・評価方向性等	・新型コロナウイルス感染症拡大により施設・団体の外出活動が自粛され、実績は2件のみ。			

事業名	みんなといっしょの運動会（障害者運動会）																
事業形態	共催事業（東京日野ライオンズクラブ）、受託事業（日野市）																
財源内訳	寄附金、赤い羽根共同募金配分金（地域）、受託金																
担当係	ボランティア係																
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる																
目的	新型コロナウイルス感染拡大予防に考慮しながら、コロナ禍でも参加可能な障害者の健康増進・運動促進を図るとともに、参加できない障害者向けには、運動会の様子をオンライン（Zoom等）で配信する等、少しでも運動会の雰囲気味わってもらおう。厳しい条件下であっても、体を動かす機会の少ない市内障害者施設・事業所や地域住民・ボランティア間の交流を促進する。																
事業内容	1. 障害者運動会の開催																
実績報告	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が、開催日にあたる9月30日まで延長することとなり、当初予定していた会場での開催は中止としオンライン開催とした。 1) 内容 感染症対策として、各施設でボッチャ競技を行い、その様子を撮影し、施設紹介等も含めて特設ホームページを開設し、参加した人や団体の人が見やすいように配信。 2) 配信期間 令和3年11月22日（月）～12月31日（金） <table border="1"> <thead> <tr> <th>参加団体</th><th>お楽しみチャレンジ順位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハ王子東特別支援学校</td><td>1位 88cm</td></tr> <tr> <td>多摩療護園</td><td>2位 1m68cm</td></tr> <tr> <td>日野療護園</td><td>3位 1m86cm</td></tr> <tr> <td>里山耕房くらさわ</td><td>4位 3m23cm</td></tr> <tr> <td>東京光の家</td><td>5位 3m92cm</td></tr> <tr> <td>夢ふうせん</td><td>6位 5m21cm</td></tr> <tr> <td>はくちょう</td><td>7位 5m40cm</td></tr> </tbody> </table> ※お楽しみチャレンジは、3人の代表者がジャックボールに向けてボールを投げ、合計の距離を競う物。	参加団体	お楽しみチャレンジ順位	ハ王子東特別支援学校	1位 88cm	多摩療護園	2位 1m68cm	日野療護園	3位 1m86cm	里山耕房くらさわ	4位 3m23cm	東京光の家	5位 3m92cm	夢ふうせん	6位 5m21cm	はくちょう	7位 5m40cm
参加団体	お楽しみチャレンジ順位																
ハ王子東特別支援学校	1位 88cm																
多摩療護園	2位 1m68cm																
日野療護園	3位 1m86cm																
里山耕房くらさわ	4位 3m23cm																
東京光の家	5位 3m92cm																
夢ふうせん	6位 5m21cm																
はくちょう	7位 5m40cm																
事業効果・評価方向性等	・コロナ禍であったが、オンラインを活用し開催することができた。 ・コロナ禍でイベント等が出来ていない施設利用者に機会を提供することができた。 ・オンラインを活用することにより、これまで会場に来て参加することのできなかった障害のある方や施設が参加できた。オンラインの効果を今後も活かして、来年度以降はより多くの方々が参加できる大会を運営していきたい。																

事業名	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務（あんしん住まいる日野）																																																																																														
事業形態	受託事業（日野市）																																																																																														
財源内訳	受託金																																																																																														
担当係	総務係																																																																																														
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																																																																																														
目的	住宅確保要配慮者（低額所得者、高齢者、障害者等）を対象とした住宅相談窓口を設置し、必要となる居住支援サービスの案内と併せて民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する。また、相談者のニーズを把握し、入居に至らない要因の整理や課題解決の方法等の検討、住宅セーフティネット機能の強化を図る。																																																																																														
内容	1. 相談窓口の設置																																																																																														
実績報告	相談業務をNPO法人東京オレンジに再委託し、下記のとおり実施した。																																																																																														
	1) 日時 毎週木曜日 13:00~/14:00~/15:00~/16:00~(各1時間)																																																																																														
	2) 場所 日野市役所内会議室等																																																																																														
	3) 相談実績 () は昨年度実績																																																																																														
	<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">相談者内訳（重複あり）</td></tr><tr><td></td><td>相談者数</td><td>高齢</td><td>障害</td><td>低所得生保</td><td>その他</td></tr><tr><td>4月</td><td>11 (4)</td><td>7 (2)</td><td>1 (1)</td><td>7 (1)</td><td>1 (1)</td></tr><tr><td>5月</td><td>6 (4)</td><td>3 (4)</td><td>3 (1)</td><td>5 (2)</td><td>0 (0)</td></tr><tr><td>6月</td><td>8 (5)</td><td>1 (5)</td><td>2 (2)</td><td>6 (1)</td><td>3 (0)</td></tr><tr><td>7月</td><td>6 (9)</td><td>3 (7)</td><td>3 (2)</td><td>5 (6)</td><td>1 (1)</td></tr><tr><td>8月</td><td>3 (8)</td><td>3 (5)</td><td>1 (2)</td><td>3 (5)</td><td>0 (1)</td></tr><tr><td>9月</td><td>9 (11)</td><td>6 (6)</td><td>4 (3)</td><td>6 (8)</td><td>0 (5)</td></tr><tr><td>10月</td><td>9 (5)</td><td>6 (3)</td><td>5 (2)</td><td>6 (1)</td><td>0 (0)</td></tr><tr><td>11月</td><td>6 (4)</td><td>2 (2)</td><td>2 (0)</td><td>4 (4)</td><td>1 (0)</td></tr><tr><td>12月</td><td>6 (7)</td><td>2 (2)</td><td>1 (2)</td><td>3 (4)</td><td>2 (2)</td></tr><tr><td>1月</td><td>12 (7)</td><td>6 (2)</td><td>1 (3)</td><td>9 (5)</td><td>1 (1)</td></tr><tr><td>2月</td><td>7 (10)</td><td>4 (4)</td><td>1 (5)</td><td>3 (8)</td><td>0 (1)</td></tr><tr><td>3月</td><td>10 (6)</td><td>5 (5)</td><td>3 (3)</td><td>5 (5)</td><td>2 (0)</td></tr><tr><td>合計</td><td>93 (80)</td><td>48 (47)</td><td>27 (26)</td><td>62 (50)</td><td>11 (12)</td></tr></table>							相談者内訳（重複あり）					相談者数	高齢	障害	低所得生保	その他	4月	11 (4)	7 (2)	1 (1)	7 (1)	1 (1)	5月	6 (4)	3 (4)	3 (1)	5 (2)	0 (0)	6月	8 (5)	1 (5)	2 (2)	6 (1)	3 (0)	7月	6 (9)	3 (7)	3 (2)	5 (6)	1 (1)	8月	3 (8)	3 (5)	1 (2)	3 (5)	0 (1)	9月	9 (11)	6 (6)	4 (3)	6 (8)	0 (5)	10月	9 (5)	6 (3)	5 (2)	6 (1)	0 (0)	11月	6 (4)	2 (2)	2 (0)	4 (4)	1 (0)	12月	6 (7)	2 (2)	1 (2)	3 (4)	2 (2)	1月	12 (7)	6 (2)	1 (3)	9 (5)	1 (1)	2月	7 (10)	4 (4)	1 (5)	3 (8)	0 (1)	3月	10 (6)	5 (5)	3 (3)	5 (5)	2 (0)	合計	93 (80)	48 (47)	27 (26)	62 (50)	11 (12)
			相談者内訳（重複あり）																																																																																												
		相談者数	高齢	障害	低所得生保	その他																																																																																									
	4月	11 (4)	7 (2)	1 (1)	7 (1)	1 (1)																																																																																									
	5月	6 (4)	3 (4)	3 (1)	5 (2)	0 (0)																																																																																									
	6月	8 (5)	1 (5)	2 (2)	6 (1)	3 (0)																																																																																									
	7月	6 (9)	3 (7)	3 (2)	5 (6)	1 (1)																																																																																									
	8月	3 (8)	3 (5)	1 (2)	3 (5)	0 (1)																																																																																									
	9月	9 (11)	6 (6)	4 (3)	6 (8)	0 (5)																																																																																									
	10月	9 (5)	6 (3)	5 (2)	6 (1)	0 (0)																																																																																									
	11月	6 (4)	2 (2)	2 (0)	4 (4)	1 (0)																																																																																									
	12月	6 (7)	2 (2)	1 (2)	3 (4)	2 (2)																																																																																									
	1月	12 (7)	6 (2)	1 (3)	9 (5)	1 (1)																																																																																									
	2月	7 (10)	4 (4)	1 (5)	3 (8)	0 (1)																																																																																									
	3月	10 (6)	5 (5)	3 (3)	5 (5)	2 (0)																																																																																									
	合計	93 (80)	48 (47)	27 (26)	62 (50)	11 (12)																																																																																									
※その他 DV被害、ひとり親、外国人等																																																																																															
※電話相談 3年度 12人																																																																																															
4) 転宅実績合計 54人（事業開始平成30年6月7日から）																																																																																															
<table><tr><td></td><td>転宅人数</td></tr><tr><td>3年度相談者</td><td>16人</td></tr><tr><td>2年度相談者</td><td>14人</td></tr><tr><td>元年度相談者</td><td>11人</td></tr><tr><td>30年度相談者</td><td>13人</td></tr></table>						転宅人数	3年度相談者	16人	2年度相談者	14人	元年度相談者	11人	30年度相談者	13人																																																																																	
	転宅人数																																																																																														
3年度相談者	16人																																																																																														
2年度相談者	14人																																																																																														
元年度相談者	11人																																																																																														
30年度相談者	13人																																																																																														

事業効果・評価 方向性等	・支援者（日野市関係部署、地域包括支援センター等）から紹介されたケースが多かった。支援者に事業の趣旨を理解してもらい、住宅相談窓口として認識されたことが要因と考えている。相談者本人では気づかない課題を支援者よりアプローチすることで、本人が安心・安定した地域生活を送れるよう支援していく。 ・昨年度、コロナ禍での相談対応として電話相談を取り入れ、今年度も引き続き導入した。
内 容	2. 関係機関との連携
実績報告	1) 日野市居住支援協議会 3回（6/18、10/29、2/7） 2) 定例会 4回（7/8、11/25、2/3、3/31） 月例報告、相談者への支援方法、相談窓口と関係機関との連携方法等を話し合うための定例会に出席した。
事業効果・評価 方向性等	・定例会では、都市計画課を始め日野市健康福祉部（高齢福祉課・障害福祉課・生活福祉課・セーフティネットコールセンター）、東京オレンジ、社協が集まり、相談者の情報共有をはかった。また、相談者が日野市で生活し続けるために何が必要か意見交換を行った。今後も定期的に続けていく。
内 容	3. 広報・周知
実績報告	チラシや広報ひのを活用した周知の他、視覚障害者及びその支援者から相談を受け、都市計画課と点字チラシを作成した。
事業効果・評価 方向性等	・支援者同士で情報交換が行われており、口コミで本窓口が周知されている。

事業名	日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金、利用料
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目 的	生活困窮世帯等で、家庭環境や社会生活上の課題を抱えた子どもを対象とし、居場所や学習の支援を通じコミュニケーション能力や学習習慣等の育成を行うと同時に、高校への進学を目的とした学習支援業務を行い、貧困の連鎖を食い止め、困難を抱えた生活困窮者等の子どもの社会的自立を図る。
内 容	1. ほっとも南平の運営
実績報告	「ほっとも南平」は、生活困窮者自立支援法に基づき日野市が実施する子どもの学習等支援事業の 4 カ所目。主に平山中学校と七生中学校の学区を受け持っている。 1) 事業内容 子ども家庭支援センターや日野市発達・教育支援センター「エール」、生活保護のケースワーカー等から日野市セーフティネットコールセンターに推薦された家庭の子どもを対象に、居場所や学習支援を実施。 日時 毎週月・木 16:30～20:00 定員 25 人（小学生・高校生：居場所支援/中学：学習支援）

	夕食：1食 300 円 帰り：車により送り・保護者によるお迎え 2) 登録者数※体験利用含む (3 月末現在) <table><tr><th>利用者数</th><th>内訳 (体験利用)</th><th>内容</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">18 人</td><td>小学生 10 人 (1 人)</td><td>居場所支援</td><td>生活保護家庭</td></tr><tr><td>中学生 5 人 (2 人)</td><td>学習支援</td><td>ひとり親家庭</td></tr><tr><td>高校生 3 人</td><td>居場所支援</td><td>学習障害 ほか</td></tr></table> 3) 開所日・利用者数 (延べ人数) ①開所日数 94 日 ②利用者数 579 人 ③平均利用者数 6.15 人 ※緊急事態宣言・まん延防止措置期間の対応では、利用者を半数に制限 4) 職員体制 <table><tr><th>職務</th><th>人数</th><th>備考</th></tr><tr><td>会場責任者</td><td>3 人</td><td>地域支援係 (各日：1 人)</td></tr><tr><td>学習支援コーディネーター</td><td>1 人</td><td></td></tr><tr><td>居場所指導員</td><td>1 人</td><td></td></tr><tr><td>学生等サポーター</td><td>5 人</td><td>交代勤務 (各日：2～4 人)</td></tr><tr><td>調理補助</td><td>3 人</td><td>月曜：2 人、木曜：1 人</td></tr><tr><td>送迎運転協力</td><td>1 人</td><td>木曜：1 人</td></tr></table> 5) 緊急事態宣言・まん延防止措置期間での対応 緊急事態宣言やまん延防止措置期間下において、週 1 回の利用とするなど感染対策を講じながらの運営に努めた。	利用者数	内訳 (体験利用)	内容	備考	18 人	小学生 10 人 (1 人)	居場所支援	生活保護家庭	中学生 5 人 (2 人)	学習支援	ひとり親家庭	高校生 3 人	居場所支援	学習障害 ほか	職務	人数	備考	会場責任者	3 人	地域支援係 (各日：1 人)	学習支援コーディネーター	1 人		居場所指導員	1 人		学生等サポーター	5 人	交代勤務 (各日：2～4 人)	調理補助	3 人	月曜：2 人、木曜：1 人	送迎運転協力	1 人	木曜：1 人
利用者数	内訳 (体験利用)	内容	備考																																	
18 人	小学生 10 人 (1 人)	居場所支援	生活保護家庭																																	
	中学生 5 人 (2 人)	学習支援	ひとり親家庭																																	
	高校生 3 人	居場所支援	学習障害 ほか																																	
職務	人数	備考																																		
会場責任者	3 人	地域支援係 (各日：1 人)																																		
学習支援コーディネーター	1 人																																			
居場所指導員	1 人																																			
学生等サポーター	5 人	交代勤務 (各日：2～4 人)																																		
調理補助	3 人	月曜：2 人、木曜：1 人																																		
送迎運転協力	1 人	木曜：1 人																																		
内 容	2. 関係機関との連携																																			
実績報告	1) 他のほっとも管理者への挨拶・見学 ほっとも日野 (9/21) ・ほっとも高幡・ほっとも多摩平 (9/24) 2) 日野市中卒後の支援検討委員会 (9/29・3/23) 日野市中卒後の支援相談支援部会 (5/13・7/8・11/12・1/14) 3) 日野市発達・教育支援センター「エール」SSW との話し合い (4/22・10/11・3/17) 4) 日野市地域子ども家庭支援ネットワーク会議 (オンライン) 七生中学校地区 (2/2) 日野第三中学校地区 (2/10) 5) 児童相談所退所に向けた関係者会議 (2/9) 児童相談所の一時預かりの子ども (利用者) の退所に向けた話し合いに出席。 出席) ハ王子児童相談所・南平小学校・子ども家庭支援センター 日野市発達・教育支援センター「エール」・ほっとも南平																																			
事業効果・評価 方向性等	・家庭や学校とは違う利用者 (子ども) の「第三の居場所」として施設運営に努めている。 ・コロナ禍において適宜人数を制限する等の感染対策を講じ、年間を通じて施設運営を行うことができた。																																			

	・利用者は、子ども家庭支援センターや日野市発達・教育支援センター「エール」等の支援機関からの推薦による利用となっている。 ・誕生会やハロウィンパーティ、クリスマス会といったできる範囲でのイベントを企画し、安全面（施設外出時の見守り等）を配慮し、地域の方にボランティア協力の呼び掛けを行い実施した。 ・宿題や定期試験等を中心に学習指導を行い、少しずつではあるが学習時間がとれている。 ・様々な事情によりひらやま地区以外からの利用があり、送迎対応が想定以上の時間を要している。
--	---

事業名	個と個をつなぐ居場所創り実施支援業務（新規）	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	地域支援係	
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる	
目的	地域の交流や情報発信拠点として「多摩平中央公園地区センターのリノベーション」を行い、個人（個と個）が利用できる新たな地区センターの利用方法を検討し、これからの地域互助の仕組みづくりを図る。	
内容	1. ワークショップの開催・実施	
実績報告	1) リニューアルプロジェクト（ワークショップ）の開催・運営 多摩平中央公園地区センターのリノベーション実施にあたり、地域住民の意見収集（活用方法や室内イメージなど）のため、ワークショップを開催し、コンサルティング業務（企画運営・進行管理）を行った。	
	日にち	内容
	11/14	コンセプトの説明・地区センター内覧・ワーク
	12/18	前回の振り返り・コンセプトの共有・ワーク
	2/19	第1期改修紹介・リニューアルデザイン案・愛称の検討
	※開催場所 いずれも多摩平中央公園地区センター	
内容	2. 居場所空間のデザイン提案・絵コンテ作成	
実績報告	1) ワークショップの意見を受け、デザインを提案し絵コンテを作成	
	①デザイン業務委託：(株)遊設計 ②案内報告：広報ひの令和4年6月掲載予定	
事業効果・評価方向性等	・多摩平中央公園地区センターのリニューアルプロジェクトを開催するにあたり、ワークショップ等を開催し地域住民からの意見収集を行い新たな地区センターの活用方法を検討した。 ・これまで地区センターは、「団体」「事前予約」が原則であったが、今後の利用として、「個人」「予約不要」との要望も多く、こうした活用に必要な間取りや備品をワークショップで募り地域協働課へ提案した。 ・施設は、令和4年度改修し、令和5年度より利用開始予定としている。	

事業名	人生100年時代のライフノベーション推進事業（新規）																			
事業形態	受託事業（日野市）																			
財源内訳	受託金																			
担当係	地域支援係																			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																			
目的	市民が対面で集い、対話、会食などのプログラムが実施できない中、地域における持続可能な「食と職の場づくり」（食を通じたコミュニケーションと自立的活動創出の場）事業とするため、地域の福祉関連団体や地域活動を行うNPO等を対象として食育・健康往診活動に必要な食と健康の課題解決につながる情報を提供する事で、市民の健康度の向上に資する行動変容を促す主導的な人材を地域内で育成する事を目的とする。																			
内容	1. 地域活動団体の紹介動画作成																			
実績報告	1) デジタルコンテンツの制作に関わる人材の育成及コンテンツの制作(10本) 【撮影/取材先】 ① 12月8日：平山ソレイユ（吹き矢、役員会） ② 12月13日：南新井サロン（打合せ） ③ 12月16日：百草団地（クリスマス会） ④ 12月22日：百草団地（帝京大学演劇） ⑤ 12月27日：南新井サロン（フラワーアレンジメント・囲碁） ⑥ 1月4日：シモン（書初め） ⑦ 1月12日：平山ひだまり（音楽の会） ⑧ 1月24日：程久保アムールの家（ひの筋体操） ⑨ 1月28日：高幡台団地サロン ⑩ 3月26日：大坂上ひなたぼっこ（スマホ講座） ※ふれあいサロンにて動画コンテンツの撮影時に、サロン運営スタッフやリーダー向け方に「デジタル情報の有用性とコンテンツ制作の手法」を説明した。																			
内容	2. 人材育成研修の実施（市民向け及び企業向け）																			
実績報告	1) 食と健康の課題解決につなげる情報を提供する栄養講座の実施（2回） <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th></th><th>参加者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/7</td><td>美味しく減塩～オリジナル七味づくりワークショップ 場所：南新井ふれあいサロン</td><td>20人</td></tr> <tr> <td>3/24</td><td>毎日コツコツ（骨骨）健康貯筋！タンパク質とカルシウムの美味しい摂り方 場所：旭が丘地区センター</td><td>30人</td></tr> </tbody> </table> 2) 福祉と経済の両立に意欲のある市民を発掘する講座（2回） <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th></th><th>参加者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/24</td><td>高齢者ニーズの理解・社会福祉のあり方について 場所：ファーマーズセンター</td><td>9人</td></tr> <tr> <td>2/28</td><td>街の賑わいづくりについて・社会福祉協議会との連携の提案 場所：ファーマーズセンター</td><td>9人</td></tr> </tbody> </table>		開催日		参加者	1/7	美味しく減塩～オリジナル七味づくりワークショップ 場所：南新井ふれあいサロン	20人	3/24	毎日コツコツ（骨骨）健康貯筋！タンパク質とカルシウムの美味しい摂り方 場所：旭が丘地区センター	30人	開催日		参加者	1/24	高齢者ニーズの理解・社会福祉のあり方について 場所：ファーマーズセンター	9人	2/28	街の賑わいづくりについて・社会福祉協議会との連携の提案 場所：ファーマーズセンター	9人
開催日		参加者																		
1/7	美味しく減塩～オリジナル七味づくりワークショップ 場所：南新井ふれあいサロン	20人																		
3/24	毎日コツコツ（骨骨）健康貯筋！タンパク質とカルシウムの美味しい摂り方 場所：旭が丘地区センター	30人																		
開催日		参加者																		
1/24	高齢者ニーズの理解・社会福祉のあり方について 場所：ファーマーズセンター	9人																		
2/28	街の賑わいづくりについて・社会福祉協議会との連携の提案 場所：ファーマーズセンター	9人																		

	3) 地域連携型の事業推進ができる人材育成 (3回)		
	日にち		参加者
	3/2	地域課題の現状と地域参入する際の留意点の確認、リビングラボの事例紹介、グループワーク 場所：オンライン 参加企業：GEヘスケアジャパン	3人
	3/3	地域課題の現状と地域参入する際の留意点の確認、リビングラボの事例紹介、グループワーク 場所：オンライン、PlanT 参加企業：日野自動車	21人 (オンライン12、会場9)
	3/29	地域課題の現状と地域参入する際の留意点の確認、リビングラボの事例紹介、グループワーク 場所：PlanT 参加企業：日野自動車	9人
事業効果・評価 方向性等	- これから地域に関心を持つインターネット活用層が情報を入手しやすいように地域の活動団体の紹介動画を作成し配信する環境が整った。情報を届ける工夫が今後は必要だと思われる。 - 企業の新規事業開発においては、社会課題をテーマにすることが多く、より地域に密着した課題にも意識を持っていただくことが重要だと思われる。引き続き地域課題に取り組む関係づくりを深めたい。		

事業名	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる		
目的	日野市の情報のデージー版を作成（録音・編集）し、視覚に障害のある方へ日常生活に必要な情報の提供を行う。		
内容	1. 朗読（デージー）版「広報ひの」の作成		
実績報告	市内視覚障害者（登録）へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。業務委託：朗読サークルひの		
	1）作成数		
		発行回数	発行
	3年度	22回	4/15、5/1、5/15、6/1、6/15、7/1、7/15、8/1 9/1、10/1、11/1、12/1、1/1、2/1
		通常 16回 臨時 6回	3/1、4/1 臨時 4/23、7/1、7/1、10/19、12/22、1/19
	2年度	32回	4/15、5/1、5/15、6/1、6/15、7/1、8/1、8/15 9/1、9/15、10/1、10/15、11/1、11/15、12/1 12/15、1/1、1/15、2/1、2/15、3/1、3/15、4/1
通常 23回 臨時 9回		臨時 4/30、5/15、5/25、6/15、7/1 7/10、7/21、8/1、11/15	
2）登録者数 24人			

内 容	2. 朗読（デージー）版「ひの市議会だより」の作成（年4回）						
実績報告	市内視覚障害者（登録）へ「ひの市議会だより」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。業務委託：朗読サークルひの 1) 業務実績（登録者数は、広報ひのと同じ） <table border="1"> <tr> <td></td><td>発行回数（日）</td></tr> <tr> <td>3年度</td><td>4回（5/15・9/15・12/1・2/1）</td></tr> <tr> <td>2年度</td><td>4回（5/15・8/15・11/15・2/15）</td></tr> </table>		発行回数（日）	3年度	4回（5/15・9/15・12/1・2/1）	2年度	4回（5/15・8/15・11/15・2/15）
	発行回数（日）						
3年度	4回（5/15・9/15・12/1・2/1）						
2年度	4回（5/15・8/15・11/15・2/15）						
内 容	3. 朗読（デージー）版「選挙公報」の作成						
実績報告	市内視覚障害者（登録）へ「選挙公報」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。業務委託：朗読サークルひの 1) 業務実績（登録者数は、広報ひのと同じ） <table border="1"> <tr> <td></td><td>発行回数（内容）</td></tr> <tr> <td>3年度</td><td>2回（市長選挙・日野市議会補欠選挙4/18）</td></tr> <tr> <td>2年度</td><td>実績なし</td></tr> </table>		発行回数（内容）	3年度	2回（市長選挙・日野市議会補欠選挙4/18）	2年度	実績なし
	発行回数（内容）						
3年度	2回（市長選挙・日野市議会補欠選挙4/18）						
2年度	実績なし						
事業効果・評価 方向性等	・広報ひのは、令和3年度より予算や新型コロナウイルス感染症の影響により発行形態（発行日やページ数）が変わっているため、市長公室や朗読サークルひのと連絡や調整がより重要となっている。						

事業名	スマートフォン講座等実施事業（新規）		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	ボランティア係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	中央公民館と協働で、日野市内在住の主に高齢者を対象に、スマートフォンの基本的な使い方講座とZoomの使い方講座を開催する。 オンラインツールを利用することで、行政からのお知らせや災害情報など生活に必要な情報を気軽に手に入れられるようになること、SNS等を活用して地域や社会への参画が促進されることを目指して、スマートフォン等の使い方の周知を図っていく。		
事業内容	1. スマートフォン講座等の開催		
実績報告	1) スマートフォン使い方講座の開催 高齢者（概ね60歳以上）に向けたスマートフォンの使い方講座を開催。 講師：株式会社アミュー		
	内容	開催日	参加者
	はじめてのスマホ講座	7/2	25人
		7/5	25人
		7/5	29人
		7/7	21人
		7/7	26人
		7/19	30人
	2) スマホマイスター養成講座の開催 スマートフォンの使い方を高齢者に教えるボランティア「スマホマイスター（のちにスマホお助け隊に改称）」を養成する講座を開催した。 講師：（説明会）日野市社会福祉協議会 職員 （各コース）株式会社アミュー 【スマホお助け隊ボランティア登録者】 45人		
	内容	開催日	参加人数
	説明会	6/23	25人
		6/28	30人
		7/12	15人
	ブロンズコース	7/21	31人
		7/28	26人
	シルバーコース	8/3	42人
	ゴールドコース	8/18	23人
	3) スマホ個別相談会の開催 高齢者が抱えるスマホのお悩みに1対1でスマホお助け隊が答える個別相談会を開催した。今後も毎月第2月曜日に開催予定。 会場：すべて中央福祉センター 相談受付者：スマホお助け隊		

	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
	9/13	16人	10/11	15人	11/8	19人	12/13	16人
	1/17	17人	2/14	17人	3/14	22人		
	4) Zoom おためし講座の開催							
	コロナ禍において役立つ「Zoom」の使い方を説明する講座を開催。毎回多くの参加者が集まった。							
	①オンラインおためし講座（入門編）							
	会場及びweb開催とした。							
	回数 15回							
	延べ参加者数 217人							
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
	4/14	8人	4/19	6人	5/17	21人	5/27	18人
	6/9	17人	6/18	21人	7/26	11人	8/23	19人
	9/17	22人	10/21	19人	11/26	17人	12/23	5人
	1/21	9人	2/21	10人	3/29	14人		
	①オンラインおためし講座（ステップアップ編）							
	web開催とした。							
	回数 15回							
	延べ参加者数 195人							
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
	4/15	4人	4/21	13人	5/19	20人	5/28	19人
	6/14	5人	6/25	20人	7/29	17人	8/27	16人
	9/21	16人	10/27	22人	11/29	18人	12/23	7人
	1/26	8人	2/22	5人	2/22	5人		
事業効果・評価 方向性等	・「スマホマイスター養成講座」は、予想を大幅に超える申込があり大盛況に終わった。講座終了後、45人が「スマホお助け隊」として登録し、市内各所で開催されるスマホ講座や、ボランティアセンター主催のスマホ個別相談会にて、積極的に活動されている。 ・毎月開催の「Zoom おためし講座」は、開始から1年半が経つ現在も根強い人気があり、今後も定期的な開催してほしいとの声が寄せられている。							
	次年度以降も、回数を調整しながら開催を継続していきたい。							

事業名	ICT（情報通信技術）を活用したシニア支援事業（新規）																																																									
事業形態	受託事業（日野市）																																																									
財源内訳	受託金																																																									
担当係	地域支援係																																																									
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																																																									
目的	デジタル化社会が進む中、高齢者がデジタル化した社会で取り残されないようにスマートフォン講座を実施し、高齢者のITリテラシーの向上を図る。また、地域包括支援センターと共催し、地域の高齢者と地域包括支援センターがICTでつながりをつくることにより、今後の高齢者福祉のICT活用の向上を目的とする。																																																									
内容	1. スマートフォン講座の実施																																																									
実績報告	1) 地域包括支援センター主催スマホ講座の実施（計45回：各包括5回） 講座内容 「はじめてのスマホ講座（電話・文字入力・マップ・カメラ・地域包括支援センター公式LINE）おともだち登録」を地域包括支援センター主催で実施。受講者に地域包括支援センター公式LINEアプリのおともだち登録の呼びかけ。 ①実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活圏域</th><th>地域包括支援センター</th><th>開催日</th><th>参加数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ひの</td><td>せせらぎ</td><td>8/2, 8/3, 10/14, 10/25, 11/4</td><td>65人</td></tr> <tr> <td>多摩川苑</td><td>6/30, 10/22, 1/14, 2/9, 3/29</td><td>28人</td></tr> <tr> <td rowspan="2">とよだ</td><td>あいりん</td><td>6/28, 7/26, 8/4, 8/25, 12/3</td><td>47人</td></tr> <tr> <td>すてっぷ</td><td>6/16, 7/16, 8/6, 8/20, 2/5</td><td>75人</td></tr> <tr> <td rowspan="3">ひらやま</td><td>すずらん</td><td>7/13, 8/27, 9/29, 10/29, 1/18</td><td>53人</td></tr> <tr> <td>いきいきタウン</td><td>7/30, 8/13, 9/3, 10/21, 11/12</td><td>51人</td></tr> <tr> <td>かわきた</td><td>7/17, 8/24, 9/17, 11/15, 11/29</td><td>34人</td></tr> <tr> <td rowspan="2">たかはた</td><td>あさかわ</td><td>7/20, 8/18, 9/22, 10/14, 11/11</td><td>47人</td></tr> <tr> <td>もぐさ</td><td>7/26, 9/27, 10/4, 1/31, 3/15</td><td>44人</td></tr> <tr> <td colspan="3">合計</td><td>444人</td></tr> </tbody> </table> 2) サロン団体等主催でのスマホ講座の実施（計36回） 講座内容 サロン等の地域団体へ「出張型スマホ講座」を実施。「はじめてのスマホ講座」に加え、「個別相談形式」など主催団体の要望に適した講座を実施。 ①実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主催・団体名</th><th>開催日</th><th>回数</th><th>参加数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南平ふれあいサロン</td><td>1/14, 1/31, 2/14, 2/25 3/14, 3/25</td><td>6回</td><td>39人</td></tr> <tr> <td>ふれあいサロンひだまり</td><td>1/26, 2/4, 2/22, 3/1, 3/8 3/22</td><td>6回</td><td>39人</td></tr> <tr> <td>ふれあいサロンソレイユ</td><td>1/20, 2/3, 2/17, 3/1, 3/3 3/17</td><td>6回</td><td>45人</td></tr> </tbody> </table>			生活圏域	地域包括支援センター	開催日	参加数	ひの	せせらぎ	8/2, 8/3, 10/14, 10/25, 11/4	65人	多摩川苑	6/30, 10/22, 1/14, 2/9, 3/29	28人	とよだ	あいりん	6/28, 7/26, 8/4, 8/25, 12/3	47人	すてっぷ	6/16, 7/16, 8/6, 8/20, 2/5	75人	ひらやま	すずらん	7/13, 8/27, 9/29, 10/29, 1/18	53人	いきいきタウン	7/30, 8/13, 9/3, 10/21, 11/12	51人	かわきた	7/17, 8/24, 9/17, 11/15, 11/29	34人	たかはた	あさかわ	7/20, 8/18, 9/22, 10/14, 11/11	47人	もぐさ	7/26, 9/27, 10/4, 1/31, 3/15	44人	合計			444人	主催・団体名	開催日	回数	参加数	南平ふれあいサロン	1/14, 1/31, 2/14, 2/25 3/14, 3/25	6回	39人	ふれあいサロンひだまり	1/26, 2/4, 2/22, 3/1, 3/8 3/22	6回	39人	ふれあいサロンソレイユ	1/20, 2/3, 2/17, 3/1, 3/3 3/17	6回	45人
生活圏域	地域包括支援センター	開催日	参加数																																																							
ひの	せせらぎ	8/2, 8/3, 10/14, 10/25, 11/4	65人																																																							
	多摩川苑	6/30, 10/22, 1/14, 2/9, 3/29	28人																																																							
とよだ	あいりん	6/28, 7/26, 8/4, 8/25, 12/3	47人																																																							
	すてっぷ	6/16, 7/16, 8/6, 8/20, 2/5	75人																																																							
ひらやま	すずらん	7/13, 8/27, 9/29, 10/29, 1/18	53人																																																							
	いきいきタウン	7/30, 8/13, 9/3, 10/21, 11/12	51人																																																							
	かわきた	7/17, 8/24, 9/17, 11/15, 11/29	34人																																																							
たかはた	あさかわ	7/20, 8/18, 9/22, 10/14, 11/11	47人																																																							
	もぐさ	7/26, 9/27, 10/4, 1/31, 3/15	44人																																																							
合計			444人																																																							
主催・団体名	開催日	回数	参加数																																																							
南平ふれあいサロン	1/14, 1/31, 2/14, 2/25 3/14, 3/25	6回	39人																																																							
ふれあいサロンひだまり	1/26, 2/4, 2/22, 3/1, 3/8 3/22	6回	39人																																																							
ふれあいサロンソレイユ	1/20, 2/3, 2/17, 3/1, 3/3 3/17	6回	45人																																																							

	南新井ふれあいサロン	12/20, 1/12, 1/31, 3/9 3/30	5回	57人
	ひなたぼっこ談話室	2/12, 2/26, 3/12, 3/26	4回	29人
	ボランティアセンター (スマホサロン)	12/13, 12/20, 1/17, 2/14 3/14, 3/30	6回	78人
	下田自治会	1/25	1回	10人
	すてっぷフェス	3/24	1回	17人
	ホットやすらぎ会	1/24	1回	8人
	合計		36回	322人
	3) 地域包括支援センターLINE 公式アカウント作成・運営補助 地域包括支援センターのLINE 公式アカウント作成のため訪問・支援。 訪問回数 25回 (見守り支援ネットワーク用公式アカウント作成含む)			
事業効果・評価 方向性等	・地域包括支援センター9ヶ所のLINE公式アカウントと見守り支援ネットワーク用公式アカウントの作成 (支援) を行うとともに、スマホ講座の達成目標を「地域包括支援センター公式LINEのおともだち登録」とし、スマホの使い方とともに高齢者に必要な情報提供をLINEを通じて行うこと、見守り支援員と円滑に連絡できる体制の基盤整備を行った。 ・ボランティアセンターが養成したスマホお助け隊と共にスマホ講座を実施し、専門の講師と連携したことで、個々の参加者に丁寧に伝えることができたことで満足度の高い講座となった。			

事業名	学生向け食料品配布等生活支援業務（新規）		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	総務係・地域支援係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	コロナ禍により、飲食店を中心としてアルバイト雇用が蒸発するなど就学環境等に影響されている市内大学生などを対象に対し、就学環境を継続するための日野市公式LINEを活用したアンケート調査及び食料品配布等の生活支援を行う。		
内容	1. 日野市公式LINEによるアンケート調査及び食料品の配布		
実績報告	日野市企画経営課により、日野市公式LINEを活用して市内・近隣大学生の実態調査を行った。		
	1) 実績 アンケート回答者数 243人（内、市内在住176人） アンケート協力：明星大学・実践女子大学・東京都立大学・中央大学 東京薬科大学・慶応義塾大学・津田塾大学ほか		
	2) 食料品の配布 配布数合計 313 個		
		日時	場所
	1	9/21（火） 9：00～12：00	福祉支援センター
	2	9/22（木） 14：00～20：00	平山交流センター
	3	9/25（土） 9：00～17：00	福祉支援センター
	4	9/30（木） 13：00～17：00	工房夢ふうせん
5	10/3（日） 9：00～17：00	日野市役所	
配布数	20 個		
	53 個		
	55 個		
	35 個		
	150 個		
内容	2. 他機関との連携		
実績報告	即時性が求められるため、日野市をはじめ他機関が連携し本事業の実施を図った。		
	1) 実施団体		
	団体名	内容	
	日野市企画経営課	企画・関係機関との調整・アンケート実施/集計	
	日野市社会福祉協議会	食品仕分け・運搬・配布	
	フードバンクTAMA	食品調達	
工房夢ふうせん	配布場所提供・食品配布		
事業効果・評価方向性等	・オンライン授業による通学機会やアルバイトの減少等、コロナ禍により大きな生活環境の変化を強いられた大学生等の実態把握ならびに生活支援のため、NPO法人フードバンクTAMAによる食料調達や社協による食材の仕分け・運搬・配布、社会福祉法人施設による会場提供・配布協力等フードパントリーのスキームを活用し実施した。 ・大学側も個々の大学生の生活状況の把握が難しい状況のなか直接大学生に働きかけ「生の声」を確認でき、一定の成果を得ることができた。 ・継続的に支援が必要な学生には、フードパントリーの利用を促すため、チラシ等を併せて配布した。		

在宅福祉事業

事業名	在宅高齢者ケアサービス事業				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	参加費、利用料、補助金、繰越金				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	日常生活に支援が必要な在宅高齢者に、市民参加による会員制の家事援助等の活動や体操、サロン、クラブ活動等の交流事業を実施することで、市民相互の支え合いの仕組みをつくりながら在宅生活を支援する。				
内容	1. 利用会員（在宅高齢者）の生活支援				
実績報告	1) 職員の体制 日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）に合わせて相談員（職員）を地域担当制で配置し、高齢者食事宅配サービス、第1号訪問事業生活援助型も含めた一体的な相談に対応している。				
	2) 活動実績 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日野市とも協議した上で利用会員への必要な支援は継続した。また緊急事態宣言発令期間中でも、協力会員による活動を継続した。				
	①会員数およびサービス利用者・活動者数				
		利用会員		協力会員	
		会員数	月平均利用者数	会員数	月平均活動者数
	3年度	474人	145人	135人	55人
	2年度	483人	112人	146人	46人
	※月平均は小数点以下四捨五入。				
	②延べ利用時間と延べ利用件数				
		利用件数		利用時間	
3年度	5,661件		7,869.5時間		
2年度	4,278件		6,017時間		
③サービス内容					
	家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他	
3年度	1,744件	132件	208件	210件	
2年度	1,398件	175件	149件	173件	
3) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた活動 緊急事態宣言中でも協力会員による活動を行うにあたり、利用会員および協力会員一人ひとりに、感染症予防のために活動前の検温、マスク着用等の咳エチケット、こまめな手洗い、3密回避等、会員相互の協力による予防策を取った。					

事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症は未知のウイルスによる感染症のため、会員の安全を最優先した対応を行った。介護保険事業と異なり、国や都からの支援は受けられない中ではあったが、会員やその家族、ケアマネジャー等支援者、日野市の協力により事業継続することができた。 ・令和2年度は利用会員と協力会員双方から感染症への不安を訴える声があったが、令和3年度は活動を再開したことにより、令和元年度並みの水準まで戻ってきた。																				
内 容	2. 協力会員（市民の協力者）の活動支援																				
実績報告	1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた活動 1.-3) に同じ。 2) 感染予防のための物品提供 食事のしたく、外出付添等利用会員との対人間隔を取ることが困難な活動を行う協力会員向けに、マスクやゴム手袋等の物品提供を行った。 3) 協力会員情報交換会 普段は顔を合わせることが少ない協力会員同士が日頃の活動について情報交換できる機会として開催。 <table><tr><td>開催日</td><td>場所</td><td>参加者</td></tr><tr><td>3/2</td><td>福祉支援センター</td><td>6人</td></tr><tr><td>3/4</td><td>多摩平交流センター</td><td>5人</td></tr></table>			開催日	場所	参加者	3/2	福祉支援センター	6人	3/4	多摩平交流センター	5人									
開催日	場所	参加者																			
3/2	福祉支援センター	6人																			
3/4	多摩平交流センター	5人																			
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症への不安の声は協力会員からもあったが、ほとんどの協力会員が活動を再開してくれた。 ・協力会員情報交換会では、ケアサービス活動中に起こる様々な事について、自分だけで悩まず、他の協力会員の経験談など聞き、検討、意見交換などができた。																				
内 容	3. 会員募集の強化																				
実績報告	ひの社協だより及び広報ひの等を活用して新規の協力会員募集のための事業説明会を行った。 1) 事業説明会 <table><tr><td>開催日</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>10/21</td><td>福祉支援センター</td><td>3人</td></tr><tr><td>10/22</td><td>多摩平交流センター</td><td>0人</td></tr><tr><td>10/26</td><td>中央福祉センター</td><td>1人</td></tr><tr><td>2/17</td><td>福祉支援センター</td><td>2人</td></tr><tr><td>2/22</td><td>多摩平交流センター</td><td>2人</td></tr></table> 2) 入会者数 3人			開催日	開催日	参加者	10/21	福祉支援センター	3人	10/22	多摩平交流センター	0人	10/26	中央福祉センター	1人	2/17	福祉支援センター	2人	2/22	多摩平交流センター	2人
開催日	開催日	参加者																			
10/21	福祉支援センター	3人																			
10/22	多摩平交流センター	0人																			
10/26	中央福祉センター	1人																			
2/17	福祉支援センター	2人																			
2/22	多摩平交流センター	2人																			
事業効果・評価 方向性等	・たかはた圏域で活動できる協力会員が不足していたため、特に募集を行ったところ、何人かの方が入会されることとなった。																				

内 容	4. 地域での支えあいの仕組みづくり																																
実績報告	1) クラブ活動 協力会員と利用会員の希望者が行っている自主的な活動。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、どのクラブも活動を休止していた。 女性限定麻雀クラブ：毎月第 2, 4 月曜日午後に定期的に集まり、複数の卓で交代しながら健康麻雀を行っている。 将 棋 ク ラ ブ：定期活動（第 4 金曜日）と自主練習日（第 2 火曜日）を設けて活動。 英会話クラブ：仕事での経験を活かしたいと申し出のあった利用会員が講師となり、月に 1 回実用英会話の講習会を行っている。 料理 ク ラ ブ：参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者とメニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場となっている。																																
	2) おしゃべりサロン 利用会員と協力会員の会員相互の交流の場としての活動。 （8 月・2 月・3 月は休み）																																
	<table><tr><th>開催日</th><th>場所</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>4/28</td><td rowspan="9">福祉支援センター</td><td>映画「奇跡のりんご」</td><td>15 人</td></tr><tr><td>5/28</td><td>スマホの話</td><td>8 人</td></tr><tr><td>6/25</td><td>スマホと仲良く マップ編</td><td>15 人</td></tr><tr><td>7/16</td><td>スマホと仲良く ライン編</td><td>18 人</td></tr><tr><td>9/24</td><td>スマホと仲良く 使い方編</td><td>12 人</td></tr><tr><td>10/22</td><td>スマホと仲良く アプリ編</td><td>14 人</td></tr><tr><td>11/26</td><td>スマホと仲良く 個別相談</td><td>10 人</td></tr><tr><td>12/17</td><td>お正月飾りを作ろう</td><td>17 人</td></tr><tr><td>1/28</td><td>フレイルの話</td><td>12 人</td></tr></table>	開催日	場所	内容	参加者数	4/28	福祉支援センター	映画「奇跡のりんご」	15 人	5/28	スマホの話	8 人	6/25	スマホと仲良く マップ編	15 人	7/16	スマホと仲良く ライン編	18 人	9/24	スマホと仲良く 使い方編	12 人	10/22	スマホと仲良く アプリ編	14 人	11/26	スマホと仲良く 個別相談	10 人	12/17	お正月飾りを作ろう	17 人	1/28	フレイルの話	12 人
	開催日	場所	内容	参加者数																													
	4/28	福祉支援センター	映画「奇跡のりんご」	15 人																													
	5/28		スマホの話	8 人																													
	6/25		スマホと仲良く マップ編	15 人																													
	7/16		スマホと仲良く ライン編	18 人																													
	9/24		スマホと仲良く 使い方編	12 人																													
	10/22		スマホと仲良く アプリ編	14 人																													
11/26	スマホと仲良く 個別相談		10 人																														
12/17	お正月飾りを作ろう		17 人																														
1/28	フレイルの話		12 人																														
3) はつらつ体操 毎月 1 回、楽しく気軽に介護予防になる体操教室（利用・協力会員向け）を開催。講師：木村明美 氏（介護予防指導士）																																	
<table><tr><th>開催日</th><th>参加者</th><th>開催日</th><th>参加者</th><th>開催日</th><th>参加者</th></tr><tr><td>4/23</td><td>12人</td><td>5/28</td><td>12人</td><td>6/25</td><td>12人</td></tr><tr><td>7/16</td><td>12人</td><td>8/27</td><td>12人</td><td>9/24</td><td>12人</td></tr><tr><td>10/22</td><td>15人</td><td>11/26</td><td>15人</td><td>12/17</td><td>14人</td></tr><tr><td>1/28</td><td>12人</td><td>2/25</td><td>12人</td><td>3/25</td><td>13人</td></tr></table>	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	4/23	12人	5/28	12人	6/25	12人	7/16	12人	8/27	12人	9/24	12人	10/22	15人	11/26	15人	12/17	14人	1/28	12人	2/25	12人	3/25	13人			
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者																												
4/23	12人	5/28	12人	6/25	12人																												
7/16	12人	8/27	12人	9/24	12人																												
10/22	15人	11/26	15人	12/17	14人																												
1/28	12人	2/25	12人	3/25	13人																												
4) 会報誌「ねっとわーく」の発行 5 月・7 月・9 月・11 月・1 月・2 月の各月 10 日に約 630 部を会員向けに発行。事業や地域に関する情報を提供し、協力会員および利用会員の暮らしや活動の充実を促した。1 月より隔月発行に変更。																																	
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クラブ活動の休止はあったが、感染症予防対策を取りながら、はつらつ体操、おしゃべりサロンを再開した。参加した会員からは久しぶりの交流や身体を動かす機会を喜ぶ声が聞かれた。																																

	・新型コロナウイルス感染縮小が進まず、会員とのコミュニケーションが取りにくくなっている中、会報誌ねっとわーくを定期的に発行し、コミュニケーションのきっかけづくりを行った。
--	---

事業名	第1号訪問事業生活援助型																																																																															
事業形態	介護保険事業（日野市）																																																																															
財源内訳	介護保険事業収入（公費・利用料）																																																																															
担当係	在宅サービス係																																																																															
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																																																																															
目的	高齢者が住み慣れた自宅でいつまでも安心して暮らせるよう、ヘルパーが訪問して高齢者自身の自らの能力を最大限に活かしながら生活援助を行うことで、要介護状態にならないように予防することを目指す。																																																																															
内容	1. 要支援認定者および事業対象者への生活援助 平成28年4月より開始した日野市介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援1・2の認定もしくは地域包括支援センターが実施する基本チェックリストで事業対象となった方を対象に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等が作成する介護予防ケアプランに基づいて、あらかじめ登録したヘルパーによる掃除・洗濯・買い物・食事づくり等の生活援助を行う。 1) 実績 <table><tr><td></td><td>利用者数</td><td>利用時間</td><td>新規契約</td><td>終了（解約）</td></tr><tr><td>4月</td><td>16</td><td>71</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>5月</td><td>16</td><td>64</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>6月</td><td>16</td><td>79</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>7月</td><td>16</td><td>76</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>8月</td><td>16</td><td>80</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>9月</td><td>17</td><td>81</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>10月</td><td>16</td><td>72</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>11月</td><td>16</td><td>78</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>12月</td><td>16</td><td>70</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>1月</td><td>16</td><td>73</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>2月</td><td>16</td><td>73</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>3月</td><td>16</td><td>73</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合計</td><td>193</td><td>890</td><td>4</td><td>2</td></tr></table> 2) 利用登録者数・登録ヘルパー数 <table><tr><td></td><td>利用登録者数</td><td>登録ヘルパー数</td></tr><tr><td>3年度</td><td>18人</td><td>24人</td></tr><tr><td>2年度</td><td>16人</td><td>23人</td></tr></table>		利用者数	利用時間	新規契約	終了（解約）	4月	16	71	1	0	5月	16	64	1	0	6月	16	79	0	0	7月	16	76	0	0	8月	16	80	0	0	9月	17	81	1	1	10月	16	72	0	0	11月	16	78	0	0	12月	16	70	0	1	1月	16	73	1	0	2月	16	73	0	0	3月	16	73	0	0	合計	193	890	4	2		利用登録者数	登録ヘルパー数	3年度	18人	24人	2年度	16人	23人
	利用者数	利用時間	新規契約	終了（解約）																																																																												
4月	16	71	1	0																																																																												
5月	16	64	1	0																																																																												
6月	16	79	0	0																																																																												
7月	16	76	0	0																																																																												
8月	16	80	0	0																																																																												
9月	17	81	1	1																																																																												
10月	16	72	0	0																																																																												
11月	16	78	0	0																																																																												
12月	16	70	0	1																																																																												
1月	16	73	1	0																																																																												
2月	16	73	0	0																																																																												
3月	16	73	0	0																																																																												
合計	193	890	4	2																																																																												
	利用登録者数	登録ヘルパー数																																																																														
3年度	18人	24人																																																																														
2年度	16人	23人																																																																														
実績報告																																																																																

内 容	2. 日常生活圏域ごとの相談員配置
実績報告	日野市介護保険事業計画における4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）ごとに地域担当相談員（職員）を配置。利用者やその家族からの相談に応じ、関係機関等との調整を行う。
事業効果・評価 方向性等	・事業開始以前に想定していた5,6人という利用者数のほぼ倍以上の人数で推移している。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ヘルパーが検温や手洗い、マスク着用を徹底するとともに、利用者にもサービス提供前の検温や咳エチケット等を依頼して感染防止対策を行った。 ・緊急事態宣言発令中も、サービスは予定通りに行った。

事業名	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業																						
事業形態	補助事業（日野市）																						
財源内訳	補助金、利用料																						
担当係	地域支援係																						
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる																						
目 的	一人で公共交通機関での移動が困難な市内在住・在宅の高齢者や障害者が気軽に外出できるよう、福祉車両を使い外出支援を行う。 また利用要件の適正化をはかり、運用する。																						
内 容	1. 在宅高齢者や障害者の外出支援																						
実績報告	日野市有償福祉運送運営協議会の協議を経て、国土交通省に登録し、有償旅客運送を実施。市内在住で公共機関の利用が困難となった高齢者や障害者を、運転協力者が自宅から目的地まで搬送。 利用対象者の内、市民税非課税で要介護3・4・5または下肢か体幹機能障害の障害者手帳1級か2級所持者が利用した場合、利用料金の一部を日野市が補助。 1) 対象 市内在住在宅で、一人で公共交通機関を利用しての外出が困難となった高齢者や障害者であって、要介護・要支援認定を受けている方、身体障害者手帳（下肢・体幹機能）を所持している方、または知的障害・発達障害・精神疾患等ある方。 2) 実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>車両</th><th>運転 協力者</th><th>利用 登録者</th><th>利用件数</th><th>走行距離</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年度</td><td>8台</td><td>18人</td><td>321人</td><td>2,403件</td><td>24,876km</td></tr> <tr> <td>2年度</td><td>8台</td><td>21人</td><td>357人</td><td>2,373件</td><td>22,217km</td></tr> </tbody> </table> 3) 地区担当者による訪問 利用希望者宅を訪問し、身体状況や自宅付近の確認と併せ、事業説明や利用手続きを行い、必要に応じて他サービスの紹介を行った。						車両	運転 協力者	利用 登録者	利用件数	走行距離	3年度	8台	18人	321人	2,403件	24,876km	2年度	8台	21人	357人	2,373件	22,217km
	車両	運転 協力者	利用 登録者	利用件数	走行距離																		
3年度	8台	18人	321人	2,403件	24,876km																		
2年度	8台	21人	357人	2,373件	22,217km																		
事業効果・評価 方向性等	・運転協力者総数は減少したが常時活動できる運転協力者が増えたため、一日の稼働台数も増え利用者のニーズに応えられるようになった。 ・昨年度に比べ、通院等の利用頻度は元に戻りつつある。																						

	・本事業の利用をすすめるため、ケアマネージャーをはじめとする専門職に対し周知を行った。 ・新型コロナウイルスの影響か、利用対象となる新規の申し込み・問い合わせを多く受けている。														
内 容	2. 安全管理														
実績報告	1) 管理車両														
	<table><tr><td>管理台数</td><td>形式</td><td>台数</td><td>内訳詳細</td></tr><tr><td rowspan="3">8台</td><td>普通車（ロング）</td><td>2台</td><td>キャラバン・ハイエース</td></tr><tr><td>普通車</td><td>3台</td><td>セレナ （車いすりフト有1台・無2台）</td></tr><tr><td>軽自動車</td><td>3台</td><td>AZワゴン</td></tr></table>	管理台数	形式	台数	内訳詳細	8台	普通車（ロング）	2台	キャラバン・ハイエース	普通車	3台	セレナ （車いすりフト有1台・無2台）	軽自動車	3台	AZワゴン
	管理台数	形式	台数	内訳詳細											
	8台	普通車（ロング）	2台	キャラバン・ハイエース											
		普通車	3台	セレナ （車いすりフト有1台・無2台）											
		軽自動車	3台	AZワゴン											
	2) 車両整備														
	①安全運転ができるよう、車両の整備・点検に気を配っている。														
	②車両を購入するにあたり、東京都共同募金会全都配分（A配分）の申請手続きを行い、キャラバンの購入助成を受け、入れ替えることが出来た。														
	3) 運転協力者連絡会の開催 11回 （4/6, 6/1, 7/6, 8/3, 9/7, 10/5, 11/2, 12/7, 1/11, 2/1, 3/1） ※5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止														
4) 患者等搬送乗務員講習・再講習（主催・東京防災救急協会） 運転協力者の利用者への緊急対応に備え、講習会に参加した。 会場：麴町消防署															
①基礎講習															
<table><tr><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>6/23, 24</td><td>3人</td><td>7/29, 30</td><td>2人</td><td>8/17, 18</td><td>1人</td></tr></table>	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	6/23, 24	3人	7/29, 30	2人	8/17, 18	1人			
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者										
6/23, 24	3人	7/29, 30	2人	8/17, 18	1人										
②再講習															
<table><tr><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>8/4</td><td>1人</td><td>12/20</td><td>1人</td><td>1/24</td><td>2人</td></tr></table>	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	8/4	1人	12/20	1人	1/24	2人			
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者										
8/4	1人	12/20	1人	1/24	2人										
事業効果・評価 方向性等	・東京都共同募金会全都配分（A配分）の決定があり、新車購入・入れ替えをすることが出来た。 ・利用者支援を行う運転協力者と情報共有を図り、スムーズな運行やより良い利用者支援につながった。														
内 容	3. 中長期的な事業の見直し・検討														
実績報告	1) 事業内容の精査 車両数、運転協力者とのバランスを考慮し、適正になるよう仕組みを精査していく。														
事業効果・評価 方向性等	・移動困難者に対して有効な事業であり、市内でも最大規模で運行し利用者や福祉関係者から支持を得ているが、今後の事業のあり方について、引き続き検討していく。 ・引き続き他団体の助成金申請を行い、車両の入れ替えができるよう準備していく。														

	・事務作業の効率化を図り、在宅サービス係等で利用している利用者データシステムの導入についても検討していく。 ・複数職員による事務分担、効率化や改善を図っていく。
--	---

事業名	移動困難高齢者ワクチン接種会場移送支援業務事業（新規）
事業形態	委託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	移動困難高齢者の速やかな新型コロナウイルスワクチンの接種を促進するため、福祉車両を活用し大規模接種会場まで送迎・付き添いを行う。
実績報告	日野市高齢福祉課や地域包括支援センターからの要請を受け、移動困難等の事情により新型コロナウイルス感染症ワクチンが接種できない方を接種会場までの移送支援（必要に応じて付添介助）業務を行う。 1) 実施体制 日野市内社会福祉法人ネットワークへの協力要請を行い、下記の通り実施することとした。 平 日 （社福）日野市社会福祉協議会（ハンディキャブ） 第1・3土曜 （社福）友遊の家 第2・4土曜 （社福）マザアス 2) 実績 28件（うち、介助付き添い補助実績13件）
事業効果・評価方向性等	・地域での新型コロナウイルスのワクチン接種が進むなか、認知症や歩行困難など自分でワクチン接種会場への移動が困難な方の移動支援を、ハンディキャブの活用や社会福祉法人と協力し実施した。 ・利用者は想定より少ないものの利用されている方からは好評を得ている。 ・利用された中からハンディキャブ利用登録につながり、外出の機会が増えている。

事業名	高齢者食事宅配サービス事業
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	在宅サービス係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	身体状況や疾病などにより買い物・調理が困難となった在宅高齢者等を対象に、栄養管理した昼食弁当を提供し、食の確保や健康状態の維持を支援する。また、配達時は利用者へ直接手渡すことで見守り・安否確認を行う。

内 容	1. 在宅高齢者への栄養管理した昼食の提供					
実績報告	1) 新規申込者数					
		申込者数	内訳			
	3年度	117人	ひとり暮らし：67件 高齢者世帯：36件 日中ひとり：8件 その他：6件			
	2年度	142人	ひとり暮らし：79件 高齢者世帯：42件 日中ひとり：13件 その他：8件			
内 容	2. 利用者の見守り・安否確認の実施					
実績報告	1) 配食事業者 5事業所（業務委託） ①マザアス ②豊かな里 ③夢ふうせん ④ベルハート・エール ⑤福祉カフェテリア					
	2) 実績					
		利用者数	配食数	内訳	安否確認 対応件数	安否確認結果
	3年度	3,932人	58,547食	①17,039食 ② 7,717食 ③ 7,779食 ④ 8,858食 ⑤17,154食	142件	無事 140件 救急 1件 その他 1件
	2年度	3,806人	59,782食	①20,264食 ② 8,671食 ③ 8,006食 ④ 8,107食 ⑤14,734食	200件	無事 195件 救急 2件 その他 3件
	※「安否確認対応件数」および「安否確認結果」はR1.8月分より集計開始					
事業効果・評価 方向性等	・委託先の配食事業者から当会への引継ぎがスムーズに移行できるようになってきた。利用者の日々の生活面も見守りながら、必要に応じて利用者の家族やケアマネジャー等の支援者につないだ。 ・配食事業者の配達員による安否確認の結果、医療機関につなげたケースが1件、亡くなられていたのを早期に発見できたケースが1件あった。 ・土日祝日は事業所からの電話を転送し、利用者不在時は緊急連絡先や地域包括支援センター、ケアマネ事業所等に連絡し、安否確認を行った。					
内 容	3. 安定したサービス体制の確保					
実績報告	1) 情報交換会 1回（7/12） 配食事業者・社協による情報交換会を実施。各事業者での取組みの情報共有や事業運営に関する確認等を行った。 また、子ども家庭支援センターより5月より開始した産後家庭向け配食サービスについて事業開始に至った経緯や、産後家庭における安否確認について改めて説明があった。					
	2) 配食事業者調理施設訪問 配食事業者から調理や配達の工程等について説明を受けた。					

	実施日	見学先
	7/27	ベルハート・エール、豊かな里
	8/3	夢ふうせん・福祉カフェテリア
※マザアスは外部からの施設内立ち入りができなかったため、未実施。		
3) 新型コロナウイルス感染拡大対策 配食事業者の配達員が必要に応じてマスクやゴム手袋を着用して、利用者との接触時間を減少しながら配達することで対応した。また、一部の配食事業者では廃棄できる容器での配食に切り替えた。		
事業効果・評価 方向性等	・令和3年度末で豊かな里が配食事業から撤退するため、利用者にアンケートを取り、4月以降のスムーズな実施に向けて他4事業所へ振替を行った。現在入院等で休止中の利用者を除く全利用者の振替が完了している。	

事業名	産後家庭向け配食サービス事業（新規）					
事業形態	受託事業（日野市）					
財源内訳	受託金					
担当係	在宅サービス係					
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる					
目的	産後の母親を対象に栄養管理した昼食弁当を提供することで健康を保持し、安定した新生児の育児支援を目指す。また、配達時は産後の母親の健康状態などの見守りを行う。					
内容	1. 産後の母親への栄養管理した昼食の提供					
実績報告	1) 新規申込者数					
		申込件数			内訳	
	3年度	100件 (同居未就学児含137名)			産前：30件 産後：70件	
内容	2. 利用者の見守り・安否確認の実施					
実績報告	1) 配食事業者 5事業所（業務委託） ①マザアス ②豊かな里 ③夢ふうせん ④ベルハート・エール ⑤福祉カフェテリア					
	2) 実績					
		利用者数	配食数	内訳	安否確認 対応件数	安否確認 結果
3年度	205人	2,124食	① 42食 ② 0食 ③ 126食 ④1,674食 ⑤ 282食	0件	無事 0件 救急 0件 その他0件	
事業効果・評価 方向性等	・子ども家庭支援センターより配食事業者に期待される虐待傾向の早期発見等に対応できるよう、事業開始前に説明会を開催し事業の目的や方向性を共有した。テレビニュースや新聞に取り上げられるなど、反響があった。					

内 容	3. 安定したサービス体制の確保						
実績報告	1) 情報交換会 1回 (7/12) 配食事業者・社協による情報交換会を実施。各事業者での取組みの情報共有や事業運営に関する確認等を行った。(高齢者食事宅配サービスの意見交換会と同時に行った。) 2) 配食事業者調理施設訪問 配食事業者から調理や配達の工程等について説明を受けた。 <table border="1"> <tr> <th>実施日</th><th>見学先</th></tr> <tr> <td>7/27</td><td>ベルハート・エール、豊かな里</td></tr> <tr> <td>8/3</td><td>夢ふうせん、福祉カフェテリア</td></tr> </table> ※マザアスは外部からの施設内立ち入りができなかったため、未実施。 3) 新型コロナウイルス感染拡大対策 昨年度より配食事業者の配達員が必要に応じてマスクやゴム手袋を着用して、利用者との接触時間を減少しながら配達することで対応した。また、一部の配食事業者では廃棄できる容器での配食に切り替え、これを継続した。	実施日	見学先	7/27	ベルハート・エール、豊かな里	8/3	夢ふうせん、福祉カフェテリア
実施日	見学先						
7/27	ベルハート・エール、豊かな里						
8/3	夢ふうせん、福祉カフェテリア						
事業効果・評価 方向性等	子ども家庭支援センターより産後うつや虐待等の兆候等の説明があったが、業者からの報告はなかった。また、通常産後2カ月の時点で終了する事業だが体調面等で延長を希望された方も多く、事業の重要性を感じた。						

事 業 名	車椅子貸出事業						
事業形態	独自事業						
財源内訳	利用料						
担当係	総務係						
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる						
目 的	高齢、障害、怪我等で歩行が困難な方に短期間の車椅子の貸出を行う。						
内 容	1. 利用状況の把握、在庫管理						
実績報告	1) 貸出実績 <table border="1"> <tr> <th></th><th>貸出件数</th></tr> <tr> <td>3年度</td><td>164件</td></tr> <tr> <td>2年度</td><td>143件</td></tr> </table>		貸出件数	3年度	164件	2年度	143件
	貸出件数						
3年度	164件						
2年度	143件						
事業効果・評価 方向性等	- 市民に広く浸透している社協の福祉サービスの一つである。 - 貸出を行っている日野事務所及び高幡事務所の在庫管理及び点検を徹底し、市民の方が貸出を希望する際、車椅子が不足しているといった状況が無いよう工夫した。 - ワクチン接種の際の移動に利用するケースが複数見られた。 - 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響で昨年度大幅に貸出が減少したが、今年度は少し回復している。						

事業名	コミュニケーション支援事業				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	障害福祉サービス等補助金				
担当係	総務係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	聴覚障害者の情報保障やコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加の機会向上のため、手話通訳者を派遣する。 聴覚障害者が地域で安心して暮らせるよう相談を受け、関係機関と連携して支援する。				
内容	1. 利用者支援				
実績報告	1) 利用登録者				
		登録者数（うち新規契約者数）			
	3年度	71人（3人）			
	2年度	72人（4人）			
	※3年度末 登録解除4名(転居等)				
事業効果・評価方向性等	2) 利用者懇談会				
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催なし				
事業効果・評価方向性等	・窓口では通訳依頼に加えて、各種相談や支援を適宜行っている。 ・専門的な内容の相談も多く、日野市役所に常駐している設置通訳者へ繋がるよう案内をしているが社協職員で対応するケースも多い。 ・手話通訳者からの報告を受け、必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。				
内容	2. 手話通訳者等の派遣・調整				
実績報告	聴覚障害者に対して手話通訳者・要約筆記者を派遣し、当該聴覚障害者の日常生活を支援。				
	1) 実績（ ）内は東京都手話通訳等派遣センター数				
		利用者数	利用件数	通訳者数	派遣回数
	3年度	37人	448件（87件）	17人	551回（106回）
	2年度	26人	319件（29件）	18人	377回（36回）
事業効果・評価方向性等	・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣調整後に講演会や会議等が中止になるケースが多数あった。 ・ZOOM等のWEB会議システムを利用した通訳依頼が増加した。 ・手話通訳依頼の半数以上が通院や訪問介護支援等、生活に必要な依頼だった。 ・電話リレーサービスが公共インフラサービスとして開始したことで、利用者との新たな連絡手段ができた。 ・新型コロナウイルス感染症に罹患した疑いがあったため、受診を希望する利用者に対して、遠隔手話通訳の利用支援を行った。				

内 容	3. 手話通訳者の確保・定着																
実績報告	1) 手話通訳者 <table border="1"> <tr> <td></td><td>登録者数</td></tr> <tr> <td>3年度</td><td>17人</td></tr> <tr> <td>2年度</td><td>18人</td></tr> </table>		登録者数	3年度	17人	2年度	18人										
	登録者数																
3年度	17人																
2年度	18人																
事業効果・評価 方向性等	・3年度は家庭の事情により通訳活動ができなくなったという理由から、1人辞められた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度手話通訳者全国統一試験東京会場が中止となったため、新たな登録者がいなかった。																
内 容	4. 手話通訳者の資質向上																
実績報告	日野市登録手話通訳者のうち、新人（経験歴3年未満の者）を対象に2年次研修を行った。（対象者4名のうち3名が受講） <table border="1"> <tr> <td>開催日</td><td>内容</td></tr> <tr> <td>4/28</td><td>現場見学①</td></tr> <tr> <td>6/12</td><td>オリエンテーション・会議通訳 4/28振り返り実習</td></tr> <tr> <td>6/19</td><td>読み取り練習</td></tr> <tr> <td>6/26</td><td>聞き取り表現</td></tr> <tr> <td>7/3</td><td>医療模擬通訳</td></tr> <tr> <td>7/10</td><td>聞き取り表現</td></tr> <tr> <td>7/24</td><td>現場見学②</td></tr> </table>	開催日	内容	4/28	現場見学①	6/12	オリエンテーション・会議通訳 4/28振り返り実習	6/19	読み取り練習	6/26	聞き取り表現	7/3	医療模擬通訳	7/10	聞き取り表現	7/24	現場見学②
開催日	内容																
4/28	現場見学①																
6/12	オリエンテーション・会議通訳 4/28振り返り実習																
6/19	読み取り練習																
6/26	聞き取り表現																
7/3	医療模擬通訳																
7/10	聞き取り表現																
7/24	現場見学②																
事業効果・評価 方向性等	・日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会の全面的な協力のもと研修を実施した。今後も連携を図り、手話通訳者の技術向上に努める。 ・例年、社協各事業（イベントや会議）を現場実習とし通訳者の資質向上に努めていたが、コロナ禍のため現場実習が少なかった。それを補完するため少ない現場を撮影し研修に生かす等、試行錯誤をしながら研修に取り組んだ。																
内 容	5. 関係機関との連携																
実績報告	1) 障害福祉課との打ち合わせ 5回（6/16, 11/12, 1/14, 2/28, 3/13） 2) 日野市意思疎通支援に関する運営委員会への出席 3回（6/21, 9/10, 2/8） ※「手話通訳事業に関する意見交換会」から名称変更 3) 電話リレーサービス説明会への出席 1回（7/11） 4) 遠隔手話通訳に関する検討委員会 1回（1/11） ・事前打合せ（1/4） 5) ハ王子市社会福祉協議会視察（1/17） 遠隔手話通訳の実施・検討のため、障害福祉課と先行地区のハ王子市社会福祉協議会への視察を行った。																

事業効果・評価 方向性等	・関係機関とは日頃から連携を図り、事業運営に関し率直な意見交換ができています。 ・日野市意思疎通支援に関する運営委員会では、障害福祉課、日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会、社協が集まり、事業運営や内容について意見交換をはかった。通訳活動時の通訳者の移動に係る交通費負担について、長年協議を重ねた結果、4年度から市の要綱が改正となり公費負担とする方針となった。 ・遠隔手話通訳に関する検討委員会では、次年度から遠隔手話サービス導入の検討を本格的に開始するために、今後の方針や他市の状況等の情報共有を行った。また、先進的に導入している八王子社協へ障害福祉課と視察を行った。
-------------------------	--

ボランティア活動推進事業

事業名	日野市ボランティア・センター				
事業形態	独自事業				
財源内訳	参加費、手数料、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金				
担当係	ボランティア係				
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる				
目的	新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、従来の対面型のボランティアが難しくなり、全市的に活動が停滞している状況にある。そこで、オンライン（Zoom など）を活用したボランティア活動や、自宅でできるボランティア活動の提案を通して、コロナ禍であっても地域や社会で活躍できる仕組みを創り出していく。 併せて、従来から行っている、ボランティアを必要とする人と地域に貢献したい人をつなげるボランティアコーディネート、ともにまちづくりを担う人材の育成・発掘、多様な情報ネットワークを活用したボランティア情報の収集・発信も積極的に行っていく。				
内容	1. ボランティア相談・コーディネート				
実績報告	1) ボランティアコーディネート ボランティア活動希望者からの相談や、ボランティアを必要とする福祉施設等からの依頼を受け、コーディネート（仲介）を行った。				
	①ボランティア登録者・活動者数				
		個人		団体	
		登録者	活動者	登録団体	活動団体
	3年度	313人	延べ10人	68団体	延べ7団体
	2年度	314人	延べ2人	71団体	延べ3団体
	※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。				
	②コーディネート結果				
		ニード受付	成立		
	3年度	28件	18件		
2年度	12件	3件			
2) 窓口相談業務					
①ボランティア窓口相談員 ボランティア窓口相談員は現在 13 人が登録しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、年間を通して原則活動休止とした。					
②窓口相談員連絡会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。					
3) ボランティアセンター相談受付システムの運用 登録ボランティアに対して、今年度のボランティア活動状況や今後の活動の意思確認を行い登録情報の更新を行った。					

事業効果・評価 方向性等	・2年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福祉施設からのボランティア依頼が極端に少ない状態が続いている。その一方で、ボランティア希望者からの相談は増えてきているため、活動先の開拓に努めていきたい。																																
内 容	2. 多様なネットワークの構築																																
実績報告	1) 第18回ボランティア交流会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 2) 市民活動団体との連携 ①まちづくり市民フェア2021 実行委員企画の参画 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場や日程等分散して開催した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>会場</th><th>内容</th><th>参加団体</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/4～ 10/31</td><td>イオンモール多摩平の森</td><td>団体活動の紹介 体験型ワークショップ</td><td>23 団体</td></tr> <tr> <td rowspan="3">10/16 10/17</td><td>東部会館</td><td>市民活動団体の活動発表</td><td>5 団体</td></tr> <tr> <td>仲田の森蚕糸公園</td><td>あそび場体験イベント</td><td>2 団体</td></tr> <tr> <td>オンライン</td><td>活動の発表やイベントを YoutubeLIVE 配信した。</td><td>5 団体</td></tr> <tr> <td>10/9～ 11/30</td><td>応援券</td><td>応援券を配布して市内の 飲食店の応援をした。 配布枚数 1847 枚</td><td>74 店舗</td></tr> </tbody> </table> ②まち活 ボランティア・市民活動を共に行う仲間づくりと、定年退職前後の市民の社会参加促進を目的とした交流イベント。会場とオンラインのハイブリッド型で開催を予定していたが、緊急事態宣言の発令によりオンラインのみの開催となった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>内容</th><th>方法</th><th>参加者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/25</td><td> 【第1部】経験者は語る！ ①人生は「2周目」からが面白い？ (北川弘昭 氏) ②“わが子”から“地域”へ (高木千津子 氏) ③音楽で暮らしを豊かに！ (坂本徳廣 氏) ④ボランティアで輝く毎日 (今城則子 氏) ⑤地域にあたたかい風を！ (矢崎 功 氏) 【第2部】交流会 </td><td>web</td><td>30人</td></tr> </tbody> </table> ③「みんなの遊・友ランド」企画・運営協力（中止） 毎年6月に開催される、障害の有無に関わらず子どもたちが風船遊びを楽しむイベント。例年は企画・広報・ボランティア対応・当日運営に協力しているが、昨年に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。			開催日	会場	内容	参加団体	10/4～ 10/31	イオンモール多摩平の森	団体活動の紹介 体験型ワークショップ	23 団体	10/16 10/17	東部会館	市民活動団体の活動発表	5 団体	仲田の森蚕糸公園	あそび場体験イベント	2 団体	オンライン	活動の発表やイベントを YoutubeLIVE 配信した。	5 団体	10/9～ 11/30	応援券	応援券を配布して市内の 飲食店の応援をした。 配布枚数 1847 枚	74 店舗	開催日	内容	方法	参加者	4/25	【第1部】経験者は語る！ ①人生は「2周目」からが面白い？ (北川弘昭 氏) ②“わが子”から“地域”へ (高木千津子 氏) ③音楽で暮らしを豊かに！ (坂本徳廣 氏) ④ボランティアで輝く毎日 (今城則子 氏) ⑤地域にあたたかい風を！ (矢崎 功 氏) 【第2部】交流会	web	30人
開催日	会場	内容	参加団体																														
10/4～ 10/31	イオンモール多摩平の森	団体活動の紹介 体験型ワークショップ	23 団体																														
10/16 10/17	東部会館	市民活動団体の活動発表	5 団体																														
	仲田の森蚕糸公園	あそび場体験イベント	2 団体																														
	オンライン	活動の発表やイベントを YoutubeLIVE 配信した。	5 団体																														
10/9～ 11/30	応援券	応援券を配布して市内の 飲食店の応援をした。 配布枚数 1847 枚	74 店舗																														
開催日	内容	方法	参加者																														
4/25	【第1部】経験者は語る！ ①人生は「2周目」からが面白い？ (北川弘昭 氏) ②“わが子”から“地域”へ (高木千津子 氏) ③音楽で暮らしを豊かに！ (坂本徳廣 氏) ④ボランティアで輝く毎日 (今城則子 氏) ⑤地域にあたたかい風を！ (矢崎 功 氏) 【第2部】交流会	web	30人																														

④キョテン107運営

日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会が行う地域活性の企画や人と人を繋ぐ役割を持つ地域の拠点として、毎日日替わりで担当者（ボランティア）が運営している。

⑤日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会への参加

3) 大学との連携強化

①多摩地域の大学と地域によるネットワーク（ボラネット多摩）

多摩地域の五大学（中央大学・明星大学・東京都立大学・実践女子大学・法政大学）及びIVUSAとともに、3月のイベント開催に向け取り組んだ。

開催日	内容	場所
10/6, 11/4 1/27, 2/8	イオンモールイベントに向けた検討会	web
3/2	イオンモールイベント出展団体顔合わせ	web
3/12	大学生ボランティア活動展「え！？多摩地域でこんなことをしていたの？」 【出展団体】 ・Freedom music（明星大学） ・チーム防災（中央大学） ・いきもの！サークル東京（東京都立大学） ・東日本きずなプロジェクト（東京都立大学） ・東日本大震災宮古市支援プロジェクト（実践女子大学） ・IVUSA日野クラブ	イオンモール 多摩平の森 イオンホール

②国際ボランティア学生協会（IVUSA）との協定に基づいた活動

令和3年3月に協定を締結。さらなる連携に向けて定例会を開催した。

開催日	内容	場所
4/7	新旧代表者との顔合わせと引継ぎ	中央福祉センター
5/19	日野市の災害についての勉強会	web
6/4	夏の体験ボランティアについて まちづくり人プロジェクトについて	web
7/12	夏の体験ボランティアについて まちづくり人プロジェクトについて	中央福祉センター
8/23	防災・減災オンラインフォーラムについて まちづくり市民フェアについて	web
9/9	防災・減災オンラインフォーラムについて まちづくり市民フェアについて	web
10/7	今後の研修スケジュールについて	web
11/10	まちづくり市民フェアのふりかえり イオン大学生イベントについて	web
12/16	日野市の災害についての勉強会	web
2/16	イオンモール大学生イベントについて	web
3/25	新年度の事業予定について	中央福祉センター

③東京都立大学スポーツボランティア事前学習

開催日	内容	参加者
7/11	スポーツボランティアの意義や効果について	20人

4) 他団体との連携強化

①NPO法人フードバンクTAMAとの連携

・社会福祉協議会と協働しているフードパントリー事業の箱詰め作業等へボランティア派遣調整と、作業の支援を行った。（配布実績は、総務係で報告）

・NPO法人フードバンクTAMAと株式会社ローソンウィル（株式会社ローソン特例子会社）と日野市社会福祉協議会との連携事業として、2021年7月～2022年2月まで株式会社ローソンウィル従業員によるボランティア活動の受け入れを行い、週3回ほどボランティアセンターや日野児童館でのボランティア活動を実施した。

②日野市セーフティネットコールセンター事業との連携

セーフティネットコールセンター就労支援準備事業と連携し、利用者がフードパントリー事業の箱詰め作業やボランティアセンターの軽作業等を行った。

③南多摩ブロックボランティア担当者会議

南多摩ブロック（日野、八王子、町田、多摩、稲城）のボランティア担当者と主に災害ボランティアセンター紹介動画の作成に向けた会議と、動画の撮影・編集を行い、5市の社会福祉協議会ホームページに掲載し発信を行った。

開催日	内容	場所
4/26	災害ボランティアセンター紹介動画撮影	中央福祉センター
6/22	動画の編集方法について意見交換	web
9/3	完成した動画について意見交換	web
1/18	ハザードマップを見ながら情報交換	八王子社協
3/4	市境での災害時の連携について	web

④ご近所会議

中央公民館、ひの児童館、ボランティアセンター、日野図書館による連携会議

開催日	内容	場所
4/15、5/20、6/17 7/15、10/21、11/25 12/23、2/24	情報共有 七夕まっりの企画 地域連携についての相談 四館合同防災訓練について	中央公民館

事業効果・評価
方向性等

・多様なネットワークで連携している団体等と、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、オンラインを活用しながら、できるだけ例年通りイベントが開催できるよう工夫を重ねて実施した。
・国際ボランティア学生協会（IVUSA）とは、定期的に情報交換会や研修を開催し、連携の強化を図った。
・コロナ禍により生活に困窮している人へのフードパントリー事業の増加により、ボランティアの方々や外部団体からの協力を得て取り組んだ。

内 容	3. ボランティア情報の発信																					
実績報告	1) 情報紙「ボランティア・インフォメーション」の発行 発行日：毎月5日 発行数：各月4000部 掲載内容：①ボランティア募集情報 ②市内のイベント・講座情報 ③市民活動団体の紹介 ④助成金情報 等 配布先：ボランティア登録者、市役所、図書館、郵便局、福祉施設 飲食店、スーパー 等 配布方法：配布ボランティアによる戸別配布、郵送、交換便																					
	2) SNS（公式LINE、Facebook、Twitter）の運営 イベント開催時等で随時更新																					
	<table><tr><td></td><td>登録者数</td></tr><tr><td>公式LINE</td><td>285人</td></tr><tr><td>Facebook</td><td>641人</td></tr><tr><td>Twitter</td><td>95人</td></tr></table>		登録者数	公式LINE	285人	Facebook	641人	Twitter	95人													
		登録者数																				
	公式LINE	285人																				
Facebook	641人																					
Twitter	95人																					
3) 配布ボランティア感謝の集い																						
<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>場所</th></tr><tr><td>12/1</td><td>配布ボランティア同士の顔合わせと近況報告</td><td>中央福祉センター</td></tr></table>	開催日	内容	場所	12/1	配布ボランティア同士の顔合わせと近況報告	中央福祉センター																
開催日	内容	場所																				
12/1	配布ボランティア同士の顔合わせと近況報告	中央福祉センター																				
事業効果・評価 方向性等	- 紙媒体の広報紙は、より見やすい物を目指してデザインの改良を行った。スーパーでの配架も功を奏し、多くの市民に手に取っていただいている。 - 公式LINEの読者を獲得するためには定期的な情報発信が理想だが、不定期での発信となった。次年度以降、こまめな情報発信を心掛けたい。 - 自然災害に関する情報発信を公式LINE行ったところ、登録者からの多くの反応があったことから、関心の強いものに関しての情報発信の有効性を感じた。																					
内 容	4. 福祉体験講座																					
実績報告	1) 出張福祉体験講座 体験や当事者の講演を通して、福祉や障害のある方について学ぶ機会を提供することを目的に、福祉施設職員、ボランティア等と共に講座を実施した。																					
	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>対象者</th></tr><tr><td>7/13</td><td>視覚障害当事者によるオンライン講話 講師 菊地美由紀 氏</td><td>日野第五小学校 4年生 133人</td></tr><tr><td>7/15</td><td>ブラインドウォーク体験 講師 なし</td><td>日野第五小学校 4年生 133人</td></tr><tr><td>10/14, 28</td><td>車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏</td><td>七生中学校 2年生 161人</td></tr><tr><td>10/19</td><td>ブラインドウォーク体験 講師 河野康弘 氏</td><td>日野第七小学校 4年生 84人</td></tr><tr><td>10/22</td><td>車いす体験 講師 宮野谷義傑 氏</td><td>日野第五小学校 4年生 133人</td></tr><tr><td>11/2</td><td>車いす体験 講師 藤田博文 氏</td><td>日野第七小学校 4年生 84人</td></tr></table>	開催日	内容	対象者	7/13	視覚障害当事者によるオンライン講話 講師 菊地美由紀 氏	日野第五小学校 4年生 133人	7/15	ブラインドウォーク体験 講師 なし	日野第五小学校 4年生 133人	10/14, 28	車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏	七生中学校 2年生 161人	10/19	ブラインドウォーク体験 講師 河野康弘 氏	日野第七小学校 4年生 84人	10/22	車いす体験 講師 宮野谷義傑 氏	日野第五小学校 4年生 133人	11/2	車いす体験 講師 藤田博文 氏	日野第七小学校 4年生 84人
	開催日	内容	対象者																			
	7/13	視覚障害当事者によるオンライン講話 講師 菊地美由紀 氏	日野第五小学校 4年生 133人																			
	7/15	ブラインドウォーク体験 講師 なし	日野第五小学校 4年生 133人																			
	10/14, 28	車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏	七生中学校 2年生 161人																			
	10/19	ブラインドウォーク体験 講師 河野康弘 氏	日野第七小学校 4年生 84人																			
	10/22	車いす体験 講師 宮野谷義傑 氏	日野第五小学校 4年生 133人																			
11/2	車いす体験 講師 藤田博文 氏	日野第七小学校 4年生 84人																				

	<table><tr><td>11/24</td><td>車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 河野康弘 氏</td><td>東光寺小学校 4年生 73人</td></tr><tr><td>1/14</td><td>車いす体験 講師 河野康弘 氏</td><td>平山小学校 4年生 86人</td></tr><tr><td>3/4</td><td>福祉講話&車いす体験 講師 藤田博文 氏</td><td>滝合小学校 4年生 56人</td></tr><tr><td>3/23</td><td>車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏</td><td>三沢中学校 1年生 223人</td></tr></table>	11/24	車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 河野康弘 氏	東光寺小学校 4年生 73人	1/14	車いす体験 講師 河野康弘 氏	平山小学校 4年生 86人	3/4	福祉講話&車いす体験 講師 藤田博文 氏	滝合小学校 4年生 56人	3/23	車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏	三沢中学校 1年生 223人
11/24	車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 河野康弘 氏	東光寺小学校 4年生 73人											
1/14	車いす体験 講師 河野康弘 氏	平山小学校 4年生 86人											
3/4	福祉講話&車いす体験 講師 藤田博文 氏	滝合小学校 4年生 56人											
3/23	車いす体験&ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏	三沢中学校 1年生 223人											
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福祉体験の依頼件数は減少しているものの、当事者講師の協力により、充実した内容のプログラムを提供することができた。今後はより幅広いプログラムを提供できるよう、福祉教育ハートフルプロジェクト実行委員会と連携しながらプログラムの開発に取り組んでいきたい。												
内 容	5. 傾聴ボランティアの養成・活動支援												
実績報告	傾聴ボランティア入門講座の修了者を対象に、傾聴ボランティア同士の横の連携や、多面的な活動を展開していくことを目指し支援を行った。												
	1) 日野傾聴ボランティア「りっすん」の活動支援 傾聴ボランティア養成講座の受講者を対象に傾聴ボランティア同士の横の連携や、多面的な活動を展開していくことを目指し支援を行った。												
	①情報交換会 6回開催 傾聴の活動の情報交換を目的に、情報交換会を実施。本来は奇数月第3金曜日開催だが、緊急事態宣言の影響により開催月が前後した。												
	開催日	内容	場所										
	4/16	傾聴ボランティア入門講座修了者による交流会	中央福祉センター										
	6/18	高齢者が使えるサービスを学ぼう！											
	7/16	障がいのある人の理解											
	9/17	「電話傾聴」について意見交換											
	11/19	「電話傾聴・対面傾聴」についての情報提供と意見交換											
	1/21	※新型コロナのため中止											
3/18	傾聴ボランティア入門講座修了者による交流会												
②傾聴ボランティア入門講座 「聴くこと（傾聴）」の意味、大切さを理解し、実践していくためのボランティア講座を開催した。													
開催日	内容	場所											
2/3	傾聴の基本 講師 堤彩（日野市ボランティア・センター）	合計26人 会場14人 オンライン12人											
2/10	高齢者の理解 講師 宮本芳恵 氏(介護老人保健施設ロベリア)												
2/17	認知症のある人の理解 講師 宮本芳恵 氏(介護老人保健施設ロベリア)												
2/24	心の病の理解 講師 渡辺べん 氏(渡辺べん心理相談室 代表) 島村繭子 氏(つながりセラピー 代表)												

事業効果・評価 方向性等	・傾聴ボランティア入門講座において、今年度新たに講師を依頼した渡辺氏・島村氏による講座は、初心者でもわかりやすいと大変好評だった。次年度も実践的で満足度の高い講座の開催を目指して検討を重ねていきたい。																								
事業内容	6. オンラインを活用した講座の開催・活動支援																								
実績報告	1) オンライン（Zoom）を活用した講座開催 コロナ禍の外出自粛が続く中で、地域のつながりや心身の健康の維持を目的に、オンライン（Zoom）を活用した各種講座を開催した。																								
	<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>参加者</td><td>方法</td></tr><tr><td>4/23</td><td>はじめてのLINE 講座</td><td>10人</td><td>会場及び Web</td></tr><tr><td>4/27</td><td>はじめてのLINE 講座</td><td>4人</td><td>Web</td></tr><tr><td>4/30</td><td>ホスピタルアートを作ろう！「夏」編</td><td>6人</td><td>Web</td></tr><tr><td>1/27</td><td>肩こり・腰痛・ストレス解消！ 東洋医学から学ぶセルフケア講座 講師 木村一恵 氏 (なかたの森鍼灸整骨院)</td><td>40人</td><td>会場及び Web</td></tr><tr><td>3/17</td><td>東洋医学から学ぶ簡単セルフケア講座 講師 木村一恵 氏 (なかたの森鍼灸整骨院)</td><td>33人</td><td>会場及び Web</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	方法	4/23	はじめてのLINE 講座	10人	会場及び Web	4/27	はじめてのLINE 講座	4人	Web	4/30	ホスピタルアートを作ろう！「夏」編	6人	Web	1/27	肩こり・腰痛・ストレス解消！ 東洋医学から学ぶセルフケア講座 講師 木村一恵 氏 (なかたの森鍼灸整骨院)	40人	会場及び Web	3/17	東洋医学から学ぶ簡単セルフケア講座 講師 木村一恵 氏 (なかたの森鍼灸整骨院)	33人	会場及び Web
	開催日	内容	参加者	方法																					
	4/23	はじめてのLINE 講座	10人	会場及び Web																					
	4/27	はじめてのLINE 講座	4人	Web																					
	4/30	ホスピタルアートを作ろう！「夏」編	6人	Web																					
	1/27	肩こり・腰痛・ストレス解消！ 東洋医学から学ぶセルフケア講座 講師 木村一恵 氏 (なかたの森鍼灸整骨院)	40人	会場及び Web																					
3/17	東洋医学から学ぶ簡単セルフケア講座 講師 木村一恵 氏 (なかたの森鍼灸整骨院)	33人	会場及び Web																						
事業効果・評価 方向性等	・「はじめてのLINE 講座」では、参加者数は少なかったものの「家族や友人とLINE でつながりコロナ禍の楽しみが増えた」「外出自粛が続き気分が落ち込む中で良い息抜きになった」といった感想が寄せられ、一定の効果があったことが実感できた。 ・「東洋医学から学ぶセルフケア講座」は、コープみらいの助成事業として実施した。非常に盛況で、次年度もぜひ開催してほしいとの声が多く寄せられた。																								
内 容	7. 夏の体験ボランティア																								
実績報告	1) 夏の体験ボランティア2021 夏休み期間に福祉施設やボランティア・NPO団体でボランティア活動を体験できる毎年恒例のイベント。今年度は新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、実施できる範囲で対面でのボランティア募集を再開した。																								
	【実施期間】7月20日（火）～8月31日（火）																								
	【参加団体】17団体																								
	【プログラム数】20種類																								
	【活動者数】72人																								
	【事前説明会】																								
	<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>参加者</td></tr><tr><td>7/4</td><td>説明会（会場開催）</td><td>5人</td></tr><tr><td>7/11</td><td>説明会（会場開催）</td><td>4人</td></tr><tr><td>6/21～8/20</td><td>説明会（YouTube 開催）</td><td>視聴回数216回</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	7/4	説明会（会場開催）	5人	7/11	説明会（会場開催）	4人	6/21～8/20	説明会（YouTube 開催）	視聴回数216回												
開催日	内容	参加者																							
7/4	説明会（会場開催）	5人																							
7/11	説明会（会場開催）	4人																							
6/21～8/20	説明会（YouTube 開催）	視聴回数216回																							
【ボランティアセンター主催プログラム】																									
<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>参加者</td></tr><tr><td>7/27</td><td>浅川おそうじ大作戦！ ※台風のため中止</td><td></td></tr></table>	開催日	内容	参加者	7/27	浅川おそうじ大作戦！ ※台風のため中止																				
開催日	内容	参加者																							
7/27	浅川おそうじ大作戦！ ※台風のため中止																								

	8/16	浅川おそうじ大作戦！ ※大雨による河川増水のため中止	
	8/6	チャレンジ☆ボッチャ	13人
	8/13	チャレンジ☆ボッチャ	12人
	2) リモートボランティアプログラム2021 コロナ禍で対面でのボランティアが難しい中、在宅でできるボランティアプログラムを企画・実施した。（※施設に作品を直接送付するため参加者数は不明）		
	開催日	内容	参加施設
	7/20～9/10	ホスピタルアートを贈ろう	5団体
	7/20～9/10	届け！暑中見舞い	3団体
事業効果・評価 方向性等	・例年は約 80 団体が参加する「夏ボラ」だが、今年度は 17 団体の参加にとどまった。参加者数も例年は 500 人を超えるが、今年度は 72 人と少なく、コロナの影響が強く感じられた。コロナ禍でもできるボランティアとして企画した「リモートボランティア」は、全国各地から作品が届くなど大きな反響があった。		
内 容	8. まちづくり人プロジェクト委員会		
実績報告	ボランティア・市民活動を推進する事により、市民の一人ひとりが、くらしや生活の課題を自分事として考え行動し、共に豊かな地域社会を築くことを目的とした委員会。（平成 30 年度設立）		
	1) 委員会		
	開催日	内容	場所
	6/16	今年度事業の進め方について	web
	7/12	ヒューマンライブラリープレ企画模擬実施	web
	12/20	日野市のボランティア・市民活動の再起に向けて	中央福祉センター web
	委員会メンバー（順不同） 委員長 惟住浩太郎 氏（日野掃除に学ぶ会世話人） 副委員長 栗澤稚富美 氏（日野社会教育センター） 渡戸 一郎 氏（明星大学名誉教授） 溝口 常之 氏（一般市民） 大村佳代子 氏（日野市民生・児童委員） 佐藤美千代 氏（せせらぎ農園代表） 藤田 博文 氏（C I L、障害者差別解消検討委員会委員長） 藤浪 里佳 氏（NPO法人子どもへのまなざし事務局長） 福村真紀子 氏（多文化ひろばあいあい代表） 福原 冬彦 氏（元日野市立豊田小学校教諭） 渡辺あゆみ 氏（日野市地域協働課） 佐藤 新哉 氏（東京ボランティア・市民活動センター） 景谷 弓子 氏（地域サロン縁がわ）		

	浅沼 俊熙 氏（日野市ボランティア・センター窓口相談員） 齊藤あきの 氏（マイノリティサークル あるでばらん代表） NPO法人国際ボランティア学生協会 VUSA 松本 茂夫 （日野市ボランティア・センター長）																		
事業効果・評価 方向性等	・3年度は、2年度末に予定したヒューマンライブラリーを委員会内でプレ実施する予定していたが、緊急事態宣言の延長により延期となった。委員会でヒューマンライブラリーの実施は対面で行うことを目指すことから、緊急事態宣言が明けるまで延期となった。 ・ヒューマンライブラリー実施に向けて、オンラインで模擬実施を行い委員会内で内容の確認を行った。 ・緊急事態宣言が明けた段階で、実施に向け進めていく。																		
事業内容	9. その他																		
実績報告	1) 誰でもすぐに参加できるボランティア活動（すぐボラ） ①使用済み切手・プリペイドカード、ペットボトルキャップの収集 協力件数 延べ 299 件 ②軽作業ボランティア 不登校・引きこもりのお子さん等何らかの課題を抱えた方が安心して活動出来るよう、本人に配慮したプログラムを提案し、ボランティアセンター内での活動を行った。 2) 三菱UFJ銀行C. C. P研修（中止） 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者側より中止の連絡があった。 3) ボランティア保険取扱事業 ①東京都社会福祉協議会「ボランティア保険」加入取扱 <table><tr><td></td><td colspan="2">団体</td><td>個人</td></tr><tr><td>3年度</td><td>93件</td><td>1,566人</td><td>211人</td></tr><tr><td>2年度</td><td>81件</td><td>1,710人</td><td>167人</td></tr></table> ②東京都社会福祉協議会「行事保険」加入取扱 <table><tr><td>3年度</td><td>62件</td><td>1,774人</td></tr><tr><td>2年度</td><td>34件</td><td>1,128人</td></tr></table> 4) 研修会・関係会議 ・スポーツレクリエーションフェスティバル実行委員会 ・日野市子どもの人権を守る協議会 ・南多摩医療圏災害医療ワーキング会議		団体		個人	3年度	93件	1,566人	211人	2年度	81件	1,710人	167人	3年度	62件	1,774人	2年度	34件	1,128人
	団体		個人																
3年度	93件	1,566人	211人																
2年度	81件	1,710人	167人																
3年度	62件	1,774人																	
2年度	34件	1,128人																	
事業効果・評価 方向性等	・軽作業ボランティアには、学校へ行くのを選ばないお子さんや休職中の若者が参加し、職員や地域のボランティアと交流しながら、和やかに活動されていた。																		

事業名	防災・減災をテーマにした地域づくり			
事業形態	独自事業・受託事業（日野市）			
財源内訳	参加費、手数料、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金、受託金			
担当係	ボランティア係			
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる			
目的	「災害に強いまち＝地域のつながりが強いまち」をテーマに市民と関係機関と共に防災・減災活動に取り組むことを目的とする。			
内容	1. みんなでつくる日野の防災プロジェクトの運営			
実績報告	1) みんなでつくる日野の防災プロジェクト 災害に強い地域づくりのために必要なネットワークを形成することを目的に設置。災害ボランティアセンターの運営訓練、防災(減災)学習プログラムの実施ネットワークの構築を目標に、委員会形式でプロジェクトを推進。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web会議とした。			
	開催日	内容	場所	参加者
	5/24	今年度の進め方 防災・減災シンポジウムについて	web	19人
	7/12	今年度の進め方 防災・減災シンポジウムについて	web	19人
事業効果・評価 方向性等	・昨年の日野市民でつくる防災・減災オンラインフォーラムは、コロナ禍により市民実行委員による参画がアンケートのみだったことから、今年度は、市民による参画が再度出来るようにプロジェクトメンバーが企画の段階からサポートに入った。			
内容	2. 日野市民でつくる防災・減災シンポジウム			
実績報告	1) 実行委員会の開催 市民有志とみんなでつくる日野の防災プロジェクト委員との実行委員会を開催した。			
	開催日	内容	場所	
	7/19, 8/4, 8/5, 9/1, 9/11	風水害分科会	中央福祉センター web	
	7/20, 8/5, 8/18, 8/23, 8/25, 8/30, 9/3, 9/10	個別避難計画分科会		
	8/11, 9/13, 9/15	避難所運営分科会		
	9/17	東京憲章		
	2) 「日野市民でつくる防災・減災オンラインフォーラム」 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、オンライン配信で行った。 配信日 9/25（土） 10/31まで視聴可能			
	内容	配信方法	視聴回数 参加者	
	第1分科会 「豪雨災害その時！あなたの判断が 明暗を分ける」	Youtube	175回	

	【出演者】榎原聡美さん (川辺復興プロジェクト あるく代表)		
	第2分科会 「地域の繋がりを育てる災害時個別避難計画」 【出演者】墨田区防災課、小金井市貫井南町東自主防災会、河野泰弘さん(視覚障害当事者)	Youtube	193回
	第3分科会 「避難所をスフィア基準の理念に近づけるために」 【出演者】 石附和己さん(七生緑小地域自主防災会) 佐藤彰子さん(東光寺小避難所運営準備会)	Zoom	70人
	第4分科会 「災害時のための『市民協働 東京憲章』」 【出演者】 加納佑一さん(東京ボランティア・市民活動センター) 柴田裕子さん(特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム緊急対応部長)	Youtube	57回
事業効果・評価 方向性等	・昨年は、コロナ禍により市民による実行委員会が開催できずアンケートのみの参画であったが、今年度は「みんなでつくる日野の防災プロジェクト」の委員メンバーに協力していただき、オンライン会議等を活用し市民実行委員が参画し企画と運営に携わることができた。		
内 容	3. 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練		
実績報告	1) 日野市社会福祉協議会全職員を対象とした訓練の実施 全職員を対象に行ったため二日間に分けて実施した。 会場：中央福祉センター		
	開催日	内容	
	12/13, 12/20	①災害ボランティアセンターの役割や機能等 ②BCPワークショップ	

内 容	4. 地域の防災・減災活動の支援														
実績報告	①「イザ！カエルキャラバン！」の開催支援 NPO法人プラス・アーツが企画した子どもと一緒に楽しみながら参加できる防災体験プログラムを行った。 「イザ！カエルキャラバン！」オンライン開催支援														
	開催日	主催		9/16	つくしんぼ保育園										
	開催日	主催													
	9/16	つくしんぼ保育園													
	②日野台高校地域防災訓練企画支援 都立日野台高校1年生を対象とした「人間と社会」の授業において、地域の方との防災訓練を行うにあたり、企画の支援を行った。														
	開催日	内容	主催	11/17	①被災者の語り部 熊本豪雨災害の講話 (中央大学 チーム防災 西直樹 氏) ②紙食器づくり (泉塚自治会) ③毛布で担架 (社協)	日野台高校									
	開催日	内容	主催												
	11/17	①被災者の語り部 熊本豪雨災害の講話 (中央大学 チーム防災 西直樹 氏) ②紙食器づくり (泉塚自治会) ③毛布で担架 (社協)	日野台高校												
	③防災会への支援 避難所運営マニュアルを地域住民が中心となって作成し、その中で、地域で暮らす市民同士の連携を深め、震災に強い地域づくりを目指す防災会への支援を行った。														
	開催日	主催	5/20, 7/8, 7/15, 12/16	夢が丘小防災会 (準備会)	6/9, 6/23, 7/12, 10/17, 11/20	南平小防災会 (準備会)	6/22, 7/15, 9/30, 12/2	潤徳小防災会 (準備会)	6/25, 3/10	四小防災会 (準備会)	7/9, 8/28, 3/19	豊田小防災会 (準備会)	7/16, 7/28	七小地域防災会	8/4, 12/2, 12/14, 3/8
開催日	主催														
5/20, 7/8, 7/15, 12/16	夢が丘小防災会 (準備会)														
6/9, 6/23, 7/12, 10/17, 11/20	南平小防災会 (準備会)														
6/22, 7/15, 9/30, 12/2	潤徳小防災会 (準備会)														
6/25, 3/10	四小防災会 (準備会)														
7/9, 8/28, 3/19	豊田小防災会 (準備会)														
7/16, 7/28	七小地域防災会														
8/4, 12/2, 12/14, 3/8	滝合小防災会														
③自治会・防災会の避難所運営訓練支援 避難所運営マニュアルを作成するにあたっての現地訓練を行った。															
開催日	内容	主催	10/24	①避難所運営について ②初動ボックスの紹介	豊田第1～4自治会	12/19	①避難所運営の流れの確認 ②避難所にある資機材について ③意見交換ワークショップ	豊田小防災会 (準備会)							
開催日	内容	主催													
10/24	①避難所運営について ②初動ボックスの紹介	豊田第1～4自治会													
12/19	①避難所運営の流れの確認 ②避難所にある資機材について ③意見交換ワークショップ	豊田小防災会 (準備会)													
④小学校向けの防災教育プログラムの実施															
開催日	内容	主催	10/25 11/1, 11/9 11/12, 11/19 11/30	①災害の種類と避難所運営について知ろう ②自分の住んでる地域の被害について考えよう ③避難所運営をシミュレーションしよう ④避難所運営を体験しよう ⑤要配慮者ってなんだろう	日野第三小学校 5年生										
開催日	内容	主催													
10/25 11/1, 11/9 11/12, 11/19 11/30	①災害の種類と避難所運営について知ろう ②自分の住んでる地域の被害について考えよう ③避難所運営をシミュレーションしよう ④避難所運営を体験しよう ⑤要配慮者ってなんだろう	日野第三小学校 5年生													

	10/16	中央大学 チーム防災がプログラム実施 ①防災クイズ ②紙食器づくり ③紙スリッパづくり	日野第六小学校 2年生
	⑤防災普及活動業務委託事業の実施 市内の防災会や自治会等への防災訓練等を実施した。		
	開催日	内容	対象者
	12/2	防災会についての講話	潤徳小防災会
	12/23	①被災者の語り部 熊本地震の講話 (実践女子大学助手 小川華歩 氏) ②毛布で担架 (中央大学チーム防災 木村健太郎 氏)	南平高校1年生
	1/29	防災会についての講話 (会場とオンライン配信)	滝合小防災会
	2/26	避難所についての講話 (オンライン配信)	南新井自治会
事業効果・評価 方向性等	・災害ボランティアセンターの立上げ訓練は、社協内のBCP訓練も兼ねて開催した。BCPと併せて行うことによって、社協職員のほとんどがそれぞれの事業への対応が必要なことも浮き彫りとなり、外部協力者の力が必要なことがわかった。 ・市民から防災会の立ち上げに関して声が上がり、新たに2か所の防災会の立ち上げ準備会が始まった。 ・高校生への熊本地震の語り部について、高校生は、震災を体験したり、見たりといった経験のないため、災害に対しての心構えが十分にできない状況である。そこで、年齢が近い大学生や被災当時の年齢が自分たちと同じ状況の人から話を聞くことで、イメージを作ってもらうことができた。 ・新型コロナウイルス感染症対策により、対面で出来ないこともあったが、オンラインなどを活用することによって、実施することができた。オンラインを活用することにより広く知っていただくツールとして今後も活用できるようになった。		

事業名	日野市介護サポーター制度
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ
目的	日野市内在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等でのボランティア活動を通じ、介護予防についての理解を深めていただくこと、積極的な社会参加や地域貢献を行うことにより、いつまでも元気な高齢者を目指していただくことを目的とする。

内 容	1. 介護サポーター制度の運営・相談支援								
実績報告	日野市在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等で市民として利用者に関わる活動を通じて介護予防についての理解を深めるとともに、積極的な社会参加や地域貢献を行うことによりいつまでも元気な高齢者を目指して実施した。								
	1) 業務内容								
	① 介護サポーター制度の説明および登録手続きを行う。								
	② 登録者の希望に応じて、適切な活動先を紹介する。								
	③ 介護サポーター制度の周知を目的とした広報活動を行う。								
	④ 介護サポーター制度に関する説明会を開催する。								
	⑤ 介護サポーター制度の事務管理を行う。 (登録者情報の管理、スタンプ帳の交付、交付金の請求手続き等)								
	⑥ 介護サポーター向け講座・研修会等を開催し、 登録者の介護予防とボランティア活動のスキルアップを図る。								
	2) 登録者及び施設数								
	<table><tr><td></td><td>登録者</td><td>受入施設</td></tr><tr><td>3年度</td><td>406人</td><td>60施設</td></tr><tr><td>2年度</td><td>422人</td><td>59施設</td></tr></table>		登録者	受入施設	3年度	406人	60施設	2年度	422人
	登録者	受入施設							
3年度	406人	60施設							
2年度	422人	59施設							
3) 介護サポーター制度の周知 ボランティアインフォメーション 3月号掲載 ひの社協だより 243号掲載									
4) 介護サポーター制度説明会 介護サポーター制度の説明と登録手続きを行った。									
<table><tr><td>開催日</td><td>場所</td><td>参加者</td><td>登録者</td></tr><tr><td>3/23</td><td>中央福祉センター</td><td>11人</td><td>4人</td></tr></table>	開催日	場所	参加者	登録者	3/23	中央福祉センター	11人	4人	
開催日	場所	参加者	登録者						
3/23	中央福祉センター	11人	4人						
5) 介護サポーター制度登録者向け研修 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、少人数での研修を実施した。									
<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>場所</td><td>人数</td></tr><tr><td>3/30</td><td>スマホお悩み相談会</td><td>中央福祉センター</td><td>4人</td></tr></table>	開催日	内容	場所	人数	3/30	スマホお悩み相談会	中央福祉センター	4人	
開催日	内容	場所	人数						
3/30	スマホお悩み相談会	中央福祉センター	4人						
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染拡大による影響が2年以上継続しているためか、介護サポーター制度登録者は減少傾向にある。高齢者施設でのボランティア受入再開の見通しが立たない中で、本制度をどのように運用していくか委託元の日野市高齢福祉課と協議していく必要がある。								

事業名	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know! (ひのう)」				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	補助金				
担当係	ボランティア係				
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ				
目的	市内のイベント、団体・サークル活動等を紹介するポータルサイトを展開し、“新たな発見”“人との出会い”“地域とのつながり”“夢の実現”等のきっかけづくりのため、様々な団体・グループ等とともに市民目線で情報提供を行う。				
内容	1. まちにくわるポータルサイト「Hi Know!」の運営				
実績報告	「Hi know!」は、富士通研究所㈱が「日野市を社会参加しやすいまちにする」ことを目的に実施する社会貢献活動としてWEBサイトを開発。現在、日野市ボランティア・センターが日野市や関係事業者と連携し事務局を担当し、平成27年度から日野市の補助事業となる。				
	1) 「Hi know!」閲覧数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）				
		トップページ	団体毎アクセス数	イベント毎アクセス件数	まち記者毎取材記参照数
	3年度	551,975件	75,285件	236,620件	115,705件
	2年度	469,409件	67,948件	155,448件	101,655件
2) 登録団体数 244団体（令和3年度新規登録団体8団体）					
3) 広報活動					
・公民館・・・・・・・・登録団体への周知					
・生涯学習課・・・・・・・・サークル団体・施設ガイド団体への周知					
・ボランティア①インフォメーション（毎月掲載）4,000部					
4) ポータルサイト「Hi Know!」の改修					
市及び業者（株式会社ワイ・シー・シー）と打ち合わせを重ねた。					
①打ち合わせ日 5/20、9/9、10/18、11/2、11/15、12/2、1/12、2/4					
②打ち合わせ内容					
・改修工程、スケジュールについて					
・サイトの運営方針について					
・新規に実装する機能について					
・サイトのデザインについて					
③改修内容					
・スマホ対応 ・デザイン性の向上					
・操作性、アクセシビリティの向上					
事業効果・評価方向性等	・「トップページ」は1.41倍、「団体情報」は1.19倍、「イベント情報」は1.51倍、活動報告は1.12倍、「まち記者取材記」は1.16倍、閲覧数の増加がみられた。イベント情報の掲載量が増加したことにより全体的に閲覧数が増加したものと推測される。 ・今後のサイト改修に向けて、市や業者と打ち合わせを行い、また市民やまち記者からも意見を募りながら、より良いサイトを創り上げていく。				

助成事業

事業名	歳末たすけあい地域福祉活動助成								
事業形態	歳末たすけあい募金配分金事業								
財源内訳	歳末たすけあい配分金								
担当係	総務係								
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる								
目的	歳末たすけあい募金を原資とした助成金を、障害者団体や当事者団体、ボランティアグループ等に交付し、地域福祉活動の推進を図る。								
内容	1. 助成金申請受付・決定・交付・事業報告書の精査								
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付								
	<table><tr><td>3年度（2年度申請）</td><td>14団体</td><td>716,000円</td></tr><tr><td>2年度（元年度申請）</td><td>15団体</td><td>777,000円</td></tr></table>			3年度（2年度申請）	14団体	716,000円	2年度（元年度申請）	15団体	777,000円
	3年度（2年度申請）	14団体	716,000円						
	2年度（元年度申請）	15団体	777,000円						
	(3年度内訳)								
		団体名	金額						
	1	日野市障害者問題を考える会	90,000円						
	2	アクトフォローアップグループ	61,000円						
	3	日野市視覚障害者協会	36,000円						
	4	日野市聴覚障害者協会	0円						
	5	日野いずみ会	0円						
	6	日野市身体障害者福祉協会	80,000円						
	7	日野市障害者関係団体連絡協議会	40,000円						
	8	日野失語症者交流会「すずめ」	8,000円						
	9	HINO飛ぶ教室	74,000円						
	10	ひの手話サークル	0円						
	11	朗読サークル「ひの」	52,000円						
	12	無料学習塾 日野すみれ塾	65,000円						
	13	ひの・I-BASYO	27,000円						
	14	市民サポートセンター日野	0円						
	15	特定非営利活動法人子どもへのまなざし	0円						
	16	日野市赤十字奉仕団	50,000円						
	17	日野市老人クラブ連合会	50,000円						
18	環境教育ネットワーク	45,000円							
19	クイーン・マジッククラブ	38,000円							
	合計	716,000円							

事業効果・評価 方向性等	・自己財源が乏しい当事者団体やボランティアグループ等に助成することで、団体が広く市民に向けて実施する活動の一助となった。 ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた事業の中止や縮小があり、助成金を全額もしくは一部返還する団体があった。（7団体 254,000 円）コロナ禍における助成金のあり方を検討する必要があると感じている。
-----------------	--

事業名	地域支え合い福祉活動助成	
事業形態	独自事業	
財源内訳	会費	
担当係	地域支援係	
地域福祉活動計画 における視点	ともにつくる	
目的	会費を原資とした助成金を、地域で当事者や住民同士の仲間づくり、情報交換といった居場所づくりを行っている地域交流サロン等の非営利団体および「ぶらっと協議会」（地区社協）に交付し、地域福祉活動の活性化を図る。	
内容	1. サロン活動助成	
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付	
	3 年度	33 団体 836,056 円
	2 年度	43 団体 929,096 円
	(令和3年度内訳)	
	1	サロン程久保 30,000 円
	2	日野おはなしの会 30,000 円
	3	日野市ひきこもり家族会 30,000 円
	4	二水会 30,000 円
	5	ふれあいあじさいサロン 30,000 円
	6	明星地区つながりの家「アムール」 20,000 円
	7	ふれあいサロン万願荘 20,000 円
	8	黒川かわせみサロン 30,000 円
	9	ふれあいサロン 「縁がわ」世話人会 30,000 円
	10	多文化ひろばあいあい 30,000 円
	11	ホットやすらぎ会 30,000 円
	12	えびす会 30,000 円
	13	健幸サロン 30,000 円
	14	南新井ふれあいサロン協議会 20,000 円
	15	歌で楽しむ元気会 30,000 円
	16	平山ことな広場の会 30,000 円
	17	なつかしい歌の会 30,000 円
	18	落川元気会 30,000 円

	19	エプロン・ママ	20,000 円
	20	環境教育ネットワーク	30,000 円
	21	青春グループ	27,000 円
	22	平山ふれあいサロン・ソレイユ	20,000 円
	23	地域交流スペース「ひだまり」	30,000 円
	24	Shall we dance	30,000 円
	25	南平駅西交流センター運営委員会	30,000 円
	26	性教育問題を考える日野の会	30,000 円
	27	大坂上百合の木会	30,000 円
	28	特定非営利活動法人はっぴーらいふ	30,000 円
	29	ヒーリング・ミュージック研究会「ハーモニー」	30,000 円
	30	非特定営利活動法人 日野福祉の学校	30,000 円
	31	サークルどーなつ	30,000 円
	32	おしゃべりカフェ	30,000 円
	33	あお	30,000 円
		令和3年度助成決定額合計	937,000 円
		令和2年度返金・相殺額合計	▲100,944 円
		令和3年度交付額	836,056 円
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルスの影響を受け、昨年度助成金に余剰金が発生した団体については、今年度の助成金で相殺した。 相殺後助成額 836,056 円		
	・今年度活動を見込み助成申請し決定したが、活動再開の見込みが昨年度より新型コロナウイルスの影響で活動が出来ない団体が多く、助成金についても申請をためらう団体がいくつか見られた。 助成金の決定を受けたが、緊急事態宣言の発令等により活動が出来ない団体が多くみられた。		
	・感染対策を行ったうえで活動を再開する団体も多くみられたが、活動に対して慎重な団体もいくつかあり、全ての団体が活動再開には至らなかった。		
内 容	2. 地区社協助成		
実績報告	南平地区社協 150,000 円		

生活福祉資金貸付事業

事業名	生活福祉資金貸付事業					
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）					
財源内訳	受託金					
担当係	総務係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	所得の少ない世帯、障害者世帯、介護を必要とする高齢者がいる世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、必要な相談援助と資金の貸付を行う。					
内容	1. 相談支援					
実績報告	1) 相談実績（電話・来所）					
		件数				
	3年度	2,213件				
	2年度	5,319件				
※特例貸付にかかる相談含む						
事業効果・評価方向性等	・特例貸付の相談件数が減少した事により、電話及び来所件数は昨年度の約半数に減少した。 ・一般的な生活費に関する相談も昨年同様に少なく、特例貸付の借入で問題を抱えていた方のニーズに対応できたものと思われる。 ・教育支援資金は国の施策である給付・減免の支援が手厚くなり、一般世帯及び母子世帯からの相談件数が少なくなっていると思われる。					
内容	2. 貸付相談および貸付申請事務手続き					
実績報告	1) 貸付実績・取扱金額等					
		貸付件数		取扱金額		
	3年度	14件		15,396,700円		
	2年度	17件		18,625,000円		
	＊教育支援資金：2,524,000円/8件 福祉費 生活必需品購入：257,000円/3件 住宅改修費：2,492,000円/1件 要保護世帯向不動産担保型生活資金（臨時増額）：123,700円/2件					
	2) 貸付実績内訳 （不動産＝「不動産担保型生活資金」、要保護＝「要保護世帯向け不動産担保型生活資金」）					
		福祉費	教育支援	緊急小口	不動産	要保護
	3年度	4件	8件	0件	0件	2件
	2年度	2件	15件	0件	0件	0件
	3) 総合支援資金の支援活動 令和3年度の相談件数：0件、貸付実績：0円 総合支援資金は平成21年10月に創設された離職者を対象とした制度で、借受人は資金の借入と共に継続的な相談支援を受けることが条件となっている。月1回の面接時には就職活動の報告を受け、内容を確認し早期就労					

	を目指した支援を行っている。 なお、制度発足から10年が経過し、償還期限に到達した借受人が7人、一部繰上償還者が3人いたため、資金完済者が10人増加した。 <table border="1"> <tr> <td>借受人総数</td><td>44人</td></tr> <tr> <td>支援終了者</td><td>25人</td></tr> <tr> <td>現在の借受人</td><td>19人</td></tr> </table> ①支援終了者 25人 内訳 ・資金完済者 18人 ・債務整理者 2人 ・償還免除者 1人 ・借受人死亡 1人 ・東京都社会福祉協議会へ事務移管 3人 ②現在の借受人 19人 内訳 ・生活保護受給者 2人 ・債務整理中 2人 ・病気療養中 1人 ・就職者 14人（就職率 73.7%） 4) 特例貸付 令和2年2月頃から流行した新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金の貸付制度、「緊急小口資金・総合支援資金」の特例貸付が令和2年3月25日からスタートした。（別途記載）	借受人総数	44人	支援終了者	25人	現在の借受人	19人
借受人総数	44人						
支援終了者	25人						
現在の借受人	19人						
事業効果・評価 方向性等	・教育支援資金について、給付型奨学金や授業料減免措置を利用できる借受人（世帯）が増えたため、以前よりは資金の利用者が少なくなっているように思われる。資金を利用する世帯も一人当たりの貸付金額は減少傾向にある。 ・緊急小口資金の相談はあるが、かなりの部分で後述の特例貸付で対応し申請はなかった。 ・総合支援資金は昨年度同様、相談案件も貸付件数もなかった。新型コロナウイルス感染症の影響により減収した方向けの特例貸付（小口・総合）を利用した方が多いのではないかと考えられる。 ・総合支援資金は制度発足から10年が経過し、今年度は10名が償還完了者となり借受人総数44名の内18名が償還完了者となった。その一方、償還中の借受人は19名と少なくなってきたが、生活保護受給者、債務整理中、病気療養中の者が5名いるため、それらを除くと14名になるがほとんどの者が償還できていない状況である。これらの者とは音信不通となっており貸付による支援の難しさを感じている。						
内 容	3. 関係機関との連携						
実績報告	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、三密になりうる会議や研修会等は一つも開催されなかった。 ・東社協の研修会もリモート開催となっているが、今年度の参加はなし。 ・以前から日野市セーフティネットコールセンターや生活福祉課等の関係部署とのより良い連携を図るため、不定期ではあるが打ち合わせを行ってきた関係で、現在は電話によるスムーズな情報交換・共有が図れるようになっている。						

内 容	4. 償還相談および償還免除等の申請事務手続き																		
実績報告	1) 償還猶予 教育支援資金 4 件（上級学校進学のため） 1 件（留年のため） 2 件（病気療養のため） 2 件（出産のため） 2) 償還完了 不動産担保型生活資金 1 件 3) 一括繰上償還 教育支援資金 1 件（連帯保証人による残額一括償還） 総合支援資金 3 件（借受人による残額一括償還） 4) 債務代行者変更 福祉費 1 件（借受人死亡のため、債務代行者を妻に設定）																		
事業効果・評価 方向性等	・償還猶予は、上級学校への進学や出産等の場合については相談可能。 ・延滞利子免除や償還免除等に関しては、借受人だけでなく連帯借受人や連帯保証人世帯の生活状況を詳しく聞き取りする必要がある。借受人は連帯借受人や連帯保証人とあまり連絡を取っていないケースも見受けられ、それら世帯の生活状況を確認する事は難しい面もある。 ・限られた連絡手段しかなくても連絡や相談のあった借受人に対しては、現在の生活状況や償還ができない理由等を聞き取りし、償還猶予や延滞利子免除の相談、状況によっては償還免除の相談といった借受人に寄り添った償還業務が重要と考える。 ・コロナ禍で大変厳しい状況ではあるものの、各資金の借受人の中には予定通り償還完了となった者、ある程度収入がまとまったため残額を繰り上げ償還したいと申し出る者等、社協として良い支援が出来たものと安堵している部分もある。																		
内 容	5. 日野市生活福祉資金貸付事業（平成 21 年度終了事業/償還業務のみ）																		
実績報告	平成 2 1 年度を以って終了した日野市生活福祉資金貸付事業について、償還未済の借受人に対し償還請求を行った。 1) 償還状況 <table><tr><th></th><th>件数</th><th>人数</th><th>貸付金残額</th><th>償還額</th><th>回収不能額</th></tr><tr><td>3年度</td><td>11件</td><td>10人</td><td>539,000円</td><td>3,000円</td><td>200,000円</td></tr><tr><td>2年度</td><td>15件</td><td>14人</td><td>742,000円</td><td>34,000円</td><td>0円</td></tr></table> ※回収不能額について 3 人が生活保護受給者となり、1 名は死亡したことにより、200,000 円を債権放棄処分としたことによるもの。		件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額	3年度	11件	10人	539,000円	3,000円	200,000円	2年度	15件	14人	742,000円	34,000円	0円
	件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額														
3年度	11件	10人	539,000円	3,000円	200,000円														
2年度	15件	14人	742,000円	34,000円	0円														
事業効果・評価 方向性等	・借受人に対し定期的に郵送物を送付、居住確認を行う等償還活動を推進していく。 ・新型コロナウイルスの影響もあり、回数を控えながら償還督促の書面を郵送した。																		

事業名	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業												
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）												
財源内訳	受託金												
担当係	総務係												
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる												
目的	東京都内において、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し高等職業訓練促進資金を貸し付け、修学を容易にすることにより資格取得を促進し、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的とする。												
容	1. 相談支援および貸付申請事務手続き												
実績報告	①就職に有利な資格を取得するための入学準備金 ②一定期間の研修が修了し、就職するための就職準備金 養成機関を修了し、かつ資格取得した日から1年以内に就職し、東京都内で取得した資格が必要な業務に従事し、5年間就業継続をした場合には、申請により返済が免除される 1) 実績 <table><tr><td></td><td>相談人数</td><td>貸付件数</td><td>取扱金額</td></tr><tr><td>3年度</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0円</td></tr><tr><td>2年度</td><td>3件</td><td>3件</td><td>1,400,000円</td></tr></table>		相談人数	貸付件数	取扱金額	3年度	0件	0件	0円	2年度	3件	3件	1,400,000円
	相談人数	貸付件数	取扱金額										
3年度	0件	0件	0円										
2年度	3件	3件	1,400,000円										
事業効果・評価方向性等	・29年度からスタートした「ひとり親家庭高等職業訓練」について、3年度は相談・申請がなかった。 ・3年度新たに住宅支援資金の貸付が創設され、12月から受付開始した。自立支援プログラムに沿って就業等に向け意欲的に取り組む世帯に対して、家賃の貸付を行うことで生活基盤の安定を図り、自立に向けた取組を促進することを目的としているが相談はなかった。 ・ひとり親家庭高等職業訓練のプラン策定や制度説明は日野市セーフティネットコールセンターが担っている。今後も情報交換・共有を行い、より一層の連携を図っていく。												

事業名	新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付事業
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活が困窮し日常生活の維持が困難になっている世帯に対し、生活福祉資金制度の緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例措置を設けることにより世帯の自立促進を図ることを目的とし、令和2年3月25日から開始した。

内容	1. 相談支援および貸付申請事務手続き
実績報告	1) 実施期間 令和2年3月25日（水） から令和4年8月31日（水） まで 2) 貸付種類 ①緊急小口資金：上限が20万円の1回 単身世帯、及び複数世帯 ②総合支援資金（初回） ：単身世帯 15万円の3カ月 45万円

			3年度		2年度		
		9月	緊急小口	43件	8,320,000円	32件	6,250,000円
			総合初回	21件	11,550,000円	106件	54,230,000円
			総合延長	なし	なし	84件	43,400,000円
			総合再貸付	109件	57,000,000円	なし	なし
			小計	173件	76,870,000円	222件	103,880,000円
		10月	緊急小口	28件	5,300,000円	57件	11,200,000円
			総合初回	25件	12,180,000円	24件	12,600,000円
			総合延長	なし	なし	64件	32,550,000円
			総合再貸付	47件	24,750,000円	なし	なし
			小計	100件	42,230,000円	145件	56,350,000円
		11月	緊急小口	37件	7,400,000円	35件	7,000,000円
			総合初回	27件	14,200,000円	44件	21,000,000円
			総合延長	なし	なし	96件	49,800,000円
			総合再貸付	51件	26,550,000円	なし	なし
			小計	115件	48,150,000円	175件	77,800,000円
		12	緊急小口	20件	4,000,000円	35件	6,950,000円
			総合初回	17件	8,300,000円	34件	17,400,000円
			総合延長	なし	なし	30件	15,600,000円
			総合再貸付	18件	9,600,000円	なし	なし
			小計	55件	21,900,000円	99件	39,950,000円
		1月	緊急小口	18件	3,500,000円	36件	7,150,000円
			総合初回	14件	7,500,000円	43件	22,950,000円
			総合延長	なし	なし	22件	11,100,000円
			総合再貸付	3件	1,500,000円	なし	なし
			小計	35件	12,500,000円	101件	41,200,000円
		2月	緊急小口	23件	4,600,000円	83件	16,400,000円
			総合初回	16件	7,750,000円	38件	20,700,000円
			総合延長	なし	なし	24件	12,750,000円
			総合再貸付	なし	なし	2件	1,200,000円
			小計	39件	12,350,000円	147件	51,050,000円
		3月	緊急小口	25件	5,000,000円	125件	24,750,000円
			総合初回	11件	4,950,000円	139件	72,830,000円
			総合延長	なし	なし	32件	16,800,000円
			総合再貸付	なし	なし	428件	226,100,000円
			小計	36件	9,950,000円	724件	340,480,000円
				3年度		2年度	
		総計	緊急小口	473件	92,670,000円	1,230件	242,620,000円
			総合初回	372件	188,890,000円	904件	471,100,000円
			総合延長	175件	91,650,000円	491件	256,250,000円
			総合再貸付	462件	241,500,000円	430件	227,300,000円
			合計	1,482件	614,710,000円	3,055件	1,197,270,000円

事業効果・評価 方向性等	・令和2年度に比べ、3年度の申請件数は約48%に減少した。 ・本特例貸付の実施期間については事業開始当初令和2年7月末終了という事だったが、コロナ禍の状況が改善されず9月末、12月末、令和3年3月末、6月末、8月末、11月末、令和4年3月末、6月末、8月末までと再三に渡り延長された。 ・生活福祉資金の特例貸付を終了した世帯や特例貸付が不承認とされた世帯等へは、「新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金」制度が創設された。また、住居を失う恐れがある方へは、「住居確保給付金」制度を利用することが出来、どちらも窓口は日野市セーフティネットコールセンターが担当している。 ・なお、「新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金」制度を運用するにあたり、社協と日野市セーフティネットコールセンターと今まで以上に連携を図りつつより良い支援を行うことが出来た。 ・相談者に対し併せてフードパントリーの紹介も行い、多くの方々にご利用いただき、更に複数回利用のリピーターも多い。フードパントリー事業と連携を図り、食に関する困りごとを抱えている方々に良い支援を行うことが出来た。 ・令和2年3月から貸付が始まり終了時期の目途が立たないまま、貸付事業だけが先行していた関係で具体的な償還方法は提示されないままであったが、年度末に具体的な案が提示された。 ・今回償還対象となる貸付は緊急小口資金、及び総合支援資金（初回）の2種類で、令和3年度もしくは令和4年度に取得した課税/非課税証明書により①「課税世帯」の場合は5年1月から償還が始まる。 ②「非課税世帯」の場合、償還免除の対象となり、令和4年8月末までに償還免除の申請を行う事で2種類の償還免除が可能となる。
-----------------	--

事業名	ヒカリ興業奨学基金											
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）											
財源内訳	東京都社会福祉協議会による予算執行（当会では広報・相談のみ）											
担当係	総務係											
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる											
目的	本奨学金は、平成17年度「ヒカリ興業㈱」からの寄付により基金を設立し、翌年度の入学者から給付開始したものである。平成23～24年度は募集停止。平成25年度（翌年度の入学者）から募集再開した。当会では本奨学金の周知・受付を行い、教育資金の一助になるよう努めるものである。											
事業内容	申請書類の受付・奨学生の決定											
実績報告	1) 内容 募集人数（都内）大学等2人 高校等6人 交付金額（年額）大学等240,000円 高校等150,000円 ※いずれも所定就学期間のみ 2) 実績（申請者数・交付決定者数） <table><tr><td></td><td>申請者</td><td>交付決定者</td></tr><tr><td>3年度</td><td>4人（大学2人、高校2人）</td><td>1人（高校）</td></tr><tr><td>2年度</td><td>5人（大学3人、高校2人）</td><td>1人（高校）</td></tr></table>				申請者	交付決定者	3年度	4人（大学2人、高校2人）	1人（高校）	2年度	5人（大学3人、高校2人）	1人（高校）
	申請者	交付決定者										
3年度	4人（大学2人、高校2人）	1人（高校）										
2年度	5人（大学3人、高校2人）	1人（高校）										
事業効果・評価方向性等	・市内中学校ならびに市内所在する都立高校に募集要項を配布し、奨学生募集を行い、希望する生徒・保護者のほか、教員からの問い合わせもあった。 ・日野市セーフティネットコールセンター等の関係機関において、本奨学金を周知し、必要な方へ周知することができた。 ・奨学金募集時期に、広報ひのやひの社協だより等での周知の他に、関係機関への働きかけを行った。引き続き継続して行っていきたい。											

福祉サービス利用援助事業

事業名	地域福祉権利擁護事業																			
事業形態	独自事業																			
財源内訳	利用料、利息、繰越金																			
担当係	権利擁護係																			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																			
目的	認知症や障害により判断能力に支障がある方、判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。																			
内容	1. 地域福祉権利擁護事業																			
実績報告	1) 地域福祉権利擁護事業利用状況 認知症・知的障害・精神障害等により、必要な福祉サービスを自分で適切に選択・利用することや、日常的な金銭管理が不安な方に対し、福祉サービスの利用援助・日常金銭管理・書類等預かりサービスによる支援を行った。																			
	<table><tr><td></td><td>相談・支援</td><td>新規契約</td><td>終了(解約)</td><td>3月末 契約件数</td></tr><tr><td>3年度</td><td>2,829件</td><td>14件</td><td>24件</td><td>73件</td></tr><tr><td>2年度</td><td>2,428件</td><td>19件</td><td>11件</td><td>83件</td></tr></table>						相談・支援	新規契約	終了(解約)	3月末 契約件数	3年度	2,829件	14件	24件	73件	2年度	2,428件	19件	11件	83件
		相談・支援	新規契約	終了(解約)	3月末 契約件数															
	3年度	2,829件	14件	24件	73件															
	2年度	2,428件	19件	11件	83件															
	2) 生活支援員連絡会 事務連絡、内部研修の他、利用者の支援にあたる生活支援員からの状況報告を受け、情報交換を行った。(生活支援員登録数 26人)																			
	<table><tr><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>5/19</td><td>15人</td><td>9/17</td><td>15人</td><td>1/20</td><td>15人</td></tr></table>					開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	5/19	15人	9/17	15人	1/20	15人			
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者														
	5/19	15人	9/17	15人	1/20	15人														
	3) コロナ禍における対応 利用者の安心安全な日常生活を維持する上で必要不可欠な支援を継続することを前提としつつ、利用者の状況に応じて、感染拡大防止に配慮しながらほぼ通常支援を行った。 利用者が新型コロナウイルスに感染し、入院して支援が中止になることもあった。また、支援員に濃厚接触者の疑いが出た場合等、一時的に専門員が支援を替わることもあった。																			
4) 担当者の資質向上のための研修等参加																				
①専門員向け研修																				
<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>参加者</td></tr><tr><td>4/2, 12, 23</td><td>東京都社会福祉協議会 令和3年度新任専門員・業務担当者研修 動画配信&オンライン</td><td>2人</td></tr><tr><td>6月下旬 ~8月末</td><td>東京都社会福祉協議会 令和3年度専門員研修「法律の基礎知識」 動画配信</td><td>1人</td></tr><tr><td>8/17</td><td>東京都社会福祉協議会 令和3年度専門員研修「介護保険制度の理解」</td><td>1人</td></tr></table>					開催日	内容	参加者	4/2, 12, 23	東京都社会福祉協議会 令和3年度新任専門員・業務担当者研修 動画配信&オンライン	2人	6月下旬 ~8月末	東京都社会福祉協議会 令和3年度専門員研修「法律の基礎知識」 動画配信	1人	8/17	東京都社会福祉協議会 令和3年度専門員研修「介護保険制度の理解」	1人				
開催日	内容	参加者																		
4/2, 12, 23	東京都社会福祉協議会 令和3年度新任専門員・業務担当者研修 動画配信&オンライン	2人																		
6月下旬 ~8月末	東京都社会福祉協議会 令和3年度専門員研修「法律の基礎知識」 動画配信	1人																		
8/17	東京都社会福祉協議会 令和3年度専門員研修「介護保険制度の理解」	1人																		

		オンライン	
	7/28	多摩南部成年後見センター 成年後見制度基礎研修 動画配信	1人
	11/15	東京都社会福祉協議会 専門員フォローアップ研修「アセスメント」 オンライン	1人
	1/13	多摩南部成年後見センター 令和3年度家庭裁判所研修 オンライン	2人
	1/18	東京都社会福祉協議会 専門員フォローアップ研修「モニタリング」 オンライン	2人
	2/22	東京都社会福祉協議会 専門員フォローアップ研修「意思決定支援」 オンライン	1人
	3/8	K-net 研修「任意後見制度」	1人
	②支援員向け研修		
	開催日	内容	参加者
	6/24	多摩総合精神保健福祉センター 令和3年度精神保健福祉基本研修1・2	2人
	7/1	多摩総合精神保健福祉センター 令和3年度精神保健福祉基本研修3	1人
	12月～	東京都社会福祉協議会 生活支援員研修 動画配信	3人
事業効果・評価 方向性等	・コロナ禍においても相談対応を行った。生活支援員の理解もあり、通常とほぼ変わらず事業を継続できた。 ・今年度は特に解約が多かった。理由も様々で、特に新型コロナウイルスの影響があるか等ははっきりとした原因はわからない状況である。		

事業名	権利擁護センター日野				
事業形態	独自事業				
財源内訳	利用料、利息、繰越金				
担当係	権利擁護係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	認知症や障害により判断能力に支障がある方、判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。				
内容	1. 財産保全・管理サービス				
実績報告	1) 財産管理・保全サービス 身体障害や病弱・高齢等により外出が困難な方に対し、預貯金のおし入れや日常生活に必要な各種手続き代行等のサービスを提供した。				
		相談・援助	新規契約	終了(解約)	3月末 契約件数
	3年度	37件	0件	1件	2件
	2年度	23件	0件	0件	3件
	2) 応急日常金銭管理 行政からの依頼を受け、成年後見制度の申立から後見業務開始までの間の応急支援を行った。				
		相談・援助	依頼件数		
	3年度	58件	1件		
	2年度	52件	4件		
事業効果・評価 方向性等	・地域福祉権利擁護事業から成年後見制度の利用までの一貫した支援を行う体制は整っている。				
内容	2. 成年後見制度における相談・支援の充実				
実績報告	1) 成年後見制度の申立が必要な市民の相談に応じ、後見制度の内容、手続き等の説明を行った。				
	2) 必要に応じて弁護士会や司法書士会、社会福祉士会等の紹介を案内し、後見人等候補者の推薦依頼の支援を行った。				
	3) 制度利用が必要な状態にもかかわらず、経済的理由や親族がない等の理由で申し立てが滞っている場合には、行政をはじめとした関係機関のネットワークにより、市長申し立てや多摩南部成年後見センターの利用も視野に入れた総合的な支援を実施した。				
	4) 後見人に就任している親族や専門職後見人等から、被後見人の福祉サービスの利用や生活課題についての相談を受け、必要な情報提供や支援を行った。				
		3年度	341 件		
		2年度	250 件		

	5) 担当職員向け研修への参加 令和3年度成年後見制度利用促進体制整備研修 2/8～ オンデマンド 3講座・5時間 2/17, 18, 21 オンライン「意思決定支援・任意後見・中核機関の役割等」																							
事業効果・評価 方向性等	・成年後見制度の相談機関として、日野市や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障害福祉サービス事業所、病院等の関係機関からの相談や対応依頼が増えており、認知度や期待が高くなってきている。一般市民からの相談も増えており、来年度以降「成年後見制度利用者支援事業」を受託することで、より業務が広がることが予測される。																							
内 容	3. 地域ネットワークと(親族)後見人等のサポート																							
実績報告	1) 「令和3年度成年後見制度説明会（相談会）」の共催 ①打合せ (5/14) ②説明会開催 行政（福祉政策課・高齢福祉課・障害福祉課）、多摩南部成年後見センターと共催で開催した。説明会後の相談会では、専門職や地域包括支援センター、行政のケースワーカー等と協力して相談対応を行った。 会場の定員の半数を定員とし、完全予約制で開催した。																							
	日時	内容	会場	参加者	10/6(水) 13:00-15:00	障害のある方とその家族の意思を尊重するには (障害者の権利擁護と支援制度の現状、成年後見制度を中心に)	市役所 505 会議室	17 人	10/13(水) 14:00-16:00	成年後見制度の基礎知識 (仕組み、報酬等費用、申立て手続きなど成年後見制度の入門編)	福祉支援センター	13 人	10/20(水) 14:00-16:00	未来の家族と自分のために残せること (家族信託について)	福祉支援センター	10 人	10/27(水) 14:00-16:00	「終活」について考えてみませんか (エンディングノート、地域包括センターでの事例紹介など)	福祉支援センター	12 人	10/30(土) 14:00-16:00	認知症になる前に自分でできること (任意後見、生前贈与、遺言、相続など)	中央福祉センター	21 人
	日時	内容	会場	参加者																				
	10/6(水) 13:00-15:00	障害のある方とその家族の意思を尊重するには (障害者の権利擁護と支援制度の現状、成年後見制度を中心に)	市役所 505 会議室	17 人																				
	10/13(水) 14:00-16:00	成年後見制度の基礎知識 (仕組み、報酬等費用、申立て手続きなど成年後見制度の入門編)	福祉支援センター	13 人																				
	10/20(水) 14:00-16:00	未来の家族と自分のために残せること (家族信託について)	福祉支援センター	10 人																				
	10/27(水) 14:00-16:00	「終活」について考えてみませんか (エンディングノート、地域包括センターでの事例紹介など)	福祉支援センター	12 人																				
10/30(土) 14:00-16:00	認知症になる前に自分でできること (任意後見、生前贈与、遺言、相続など)	中央福祉センター	21 人																					
*各回とも説明会の終了後に相談会を実施																								

内 容	4. 市民後見人の養成と後見監督の実施				
実績報告	1) 養成講習修了者の登録と候補者の推薦 市民後見人養成講習の修了者を後見人候補者として登録。地域福祉権利擁護事業生活支援員として当事者支援の経験を重ねながら、「市民後見人」就任要請を受けた時に候補者推薦ができる体制を整えた。 (市民後見人候補者登録数 13人)				
	2) 市民後見人等の受任と法人後見監督の実施 身寄りがなくセーフティネットの利用対象にならない方に市民後見人等が就任することにより、被後見人等にとって意思が尊重される生活を送ることに寄与した。 当会の市民後見人等候補者の中から受任した市民後見人等に対し、当会で後見監督を受任した。				
	新規受任	終了件数	市民後見受任者	後見監督受任件数	申立手続中
	0人	1人	3人	4件	0件
事業効果・評価 方向性等	・市民後見人等から3か月ごとの定期報告を受け、後見業務を監督することができた。監督業務だけでなく相談に対応することで、適切な後見活動を行うためのサポートをすることができた。 ・市民後見人の業務も状況によっては多岐にわたり監督業務もそれなりの業務量になる中で、今後の受任等検討する必要がある。				
内 容	5. 事業・制度広報周知				
実績報告	1) 出張等説明会 地域福祉権利擁護事業説明や、成年後見制度利用支援について説明した。				
	開催日	相手先			
	6/30	たかはた圏域ケアマネ交流会			
	7/16	ひらやま圏域ケアマネ交流会			
	3/18	障害福祉人材育成事業 障害者施設職員向け研修 「地域福祉権利擁護事業をもっと身近に」			
事業効果・評価 方向性等	・利用者と日常的に接している福祉・介護関係者に直接周知でき、理解を深めていただけたと同時に支援者との連携が強化でき、間接的に市民への周知も進めることができた。				

内 容		6. 他機関との連携強化																									
実績報告	1) 権利擁護センター運営委員会 3回 (4/15, 11/19, 3/2) 弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、地域包括支援センター、障害者支援施設、行政等で構成。市民後見人への後見監督業務等当センターの業務について、各専門職から助言を得たり検討等を行った。 3回目は新型コロナウイルス感染が広がりを見せておりオンラインで実施した。																										
	2) 成年後見関係機関ネットワーク会議 成年後見制度に関する相談・支援を行う行政や地域包括支援センター、専門職後見人等と一つのテーマを通して、課題の共有や情報交換を行った。 新型コロナウイルス感染予防の観点からオンラインでの実施となった。																										
	<table><tr><th>開催日</th><th>参加者</th><th>内容</th></tr><tr><td>2/4 オンライン</td><td>43人</td><td>「専門職団体をもっと身近に」 報告者：伊藤克之 氏 弁護士 (東京三多摩弁護士会多摩支部) 北村智史 氏 司法書士 (成年後見リーガルサポート東京支部) 大庭百合子 氏 社会福祉士 (東京社会福祉士会 ぱあとなあ東京) 青木文男 氏 行政書士 (成年後見支援センター ヒルフェ) 甲康枝 氏 社会保険労務士 (社労士成年後見センター東京らいさ)</td></tr></table>			開催日	参加者	内容	2/4 オンライン	43人	「専門職団体をもっと身近に」 報告者：伊藤克之 氏 弁護士 (東京三多摩弁護士会多摩支部) 北村智史 氏 司法書士 (成年後見リーガルサポート東京支部) 大庭百合子 氏 社会福祉士 (東京社会福祉士会 ぱあとなあ東京) 青木文男 氏 行政書士 (成年後見支援センター ヒルフェ) 甲康枝 氏 社会保険労務士 (社労士成年後見センター東京らいさ)																		
	開催日	参加者	内容																								
	2/4 オンライン	43人	「専門職団体をもっと身近に」 報告者：伊藤克之 氏 弁護士 (東京三多摩弁護士会多摩支部) 北村智史 氏 司法書士 (成年後見リーガルサポート東京支部) 大庭百合子 氏 社会福祉士 (東京社会福祉士会 ぱあとなあ東京) 青木文男 氏 行政書士 (成年後見支援センター ヒルフェ) 甲康枝 氏 社会保険労務士 (社労士成年後見センター東京らいさ)																								
	3) 中核機関設置に向けた話し合い 4回 (7/16, 9/29, 10/28, 3/29) 役割や機能について日野市福祉政策課と具体的な案をもとに話し合った。																										
	4) 関係機関の連絡会等への参加																										
	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th></tr><tr><td>5/24</td><td>令和3年度第1回利用者支援区市町村連絡会</td></tr><tr><td>6/28</td><td>令和3年度第1回地域福祉権利擁護事業業務連絡</td></tr><tr><td>7/28</td><td>令和3年度第1回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議</td></tr><tr><td>9/17</td><td>第7回多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会</td></tr><tr><td>10/21</td><td>地域包括支援センター社会福祉士連絡会</td></tr><tr><td>11/1</td><td>令和3年度東京都成年後見地域連携ネットワーク会議及び東京都成年後見制度推進機関連絡会</td></tr><tr><td>11/18</td><td>地域福祉権利擁護事業センター長会議</td></tr><tr><td>12/8</td><td>令和3年度第2回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議</td></tr><tr><td>2/16</td><td>令和3年度家庭裁判所連絡協議会</td></tr><tr><td>2/25</td><td>令和3年度第2回利用者支援区市町村連絡会</td></tr><tr><td>3/14</td><td>令和3年度第3回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議</td></tr></table>			開催日	内容	5/24	令和3年度第1回利用者支援区市町村連絡会	6/28	令和3年度第1回地域福祉権利擁護事業業務連絡	7/28	令和3年度第1回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議	9/17	第7回多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会	10/21	地域包括支援センター社会福祉士連絡会	11/1	令和3年度東京都成年後見地域連携ネットワーク会議及び東京都成年後見制度推進機関連絡会	11/18	地域福祉権利擁護事業センター長会議	12/8	令和3年度第2回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議	2/16	令和3年度家庭裁判所連絡協議会	2/25	令和3年度第2回利用者支援区市町村連絡会	3/14	令和3年度第3回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議
	開催日	内容																									
	5/24	令和3年度第1回利用者支援区市町村連絡会																									
6/28	令和3年度第1回地域福祉権利擁護事業業務連絡																										
7/28	令和3年度第1回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議																										
9/17	第7回多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会																										
10/21	地域包括支援センター社会福祉士連絡会																										
11/1	令和3年度東京都成年後見地域連携ネットワーク会議及び東京都成年後見制度推進機関連絡会																										
11/18	地域福祉権利擁護事業センター長会議																										
12/8	令和3年度第2回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議																										
2/16	令和3年度家庭裁判所連絡協議会																										
2/25	令和3年度第2回利用者支援区市町村連絡会																										
3/14	令和3年度第3回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議																										
*今年度の会議はすべてオンラインで実施された																											
事業効果・評価 方向性等																											
・成年後見制度利用促進のため、弁護士等専門職や、行政、地域包括支援センター等との地域連携ネットワークによる相談・支援の体制をさらに強化する必要があると考えている。																											

福祉人材育成事業

事業名	手話通訳者研修事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	日野市内で活動する手話通訳者の技能の習得およびレベルアップを目指す。	
内容	1. 登録手話通訳者の資質向上	
実績報告	1) 研修 日野市登録手話通訳者を対象に、通訳者としてのスキルアップを目的とした研修を実施した。	
	開催日	内容
	9/4	「手話通訳とは～ろう者の暮らしとともに～」 講師 江原こう平 氏 （東京都手話通訳問題研究会副運営委員長） ハイブリット開催
	10/16	手話技術 ・7ポイントを意識した表現 ・ろう者に通じる表現 講師 高井 洋 氏（東京手話通訳等派遣センター） ハイブリット開催
	2/10	読み取り練習 ・事前に撮影した動画を題材とした読み取り研修 講師 渡邊早苗 氏 （東京手話通訳等派遣センター） 協力 有山一博 氏 （日野市聴覚障害者協会 会長） オンライン開催
2) 打合せ 2回（6/16、11/10）		
事業効果・評価 方向性等	・日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会とともに、手話の技能習得及びレベルアップを図ることを目的とした研修プログラムを検討・企画した。 ・今後も当事者の意見を参考にし、充実したプログラムを作っていく。 ・対面での研修を試みたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令していたため、3回すべてZoomやYouTubeを活用したハイブリットもしくはオンラインで研修を実施した。	

事業名	手話講習会事業																																														
事業形態	受託事業（日野市）																																														
財源内訳	受託金																																														
担当係	総務係																																														
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																																														
目的	手話言語および手話表現技術、聴覚障害（者）に関する基本的な知識を習得することを目指す。健聴者と聴覚障害者との相互理解を深め、手話全般に関する啓発および普及を図る。 また、将来に亘り日野市登録手話通訳者を増やす。																																														
内容	1. 手話講習会の実施 厚生労働省「手話奉仕員」「手話通訳者」養成カリキュラムに基づき、手話の普及啓発を目的としたコミュニケーションコース、手話通訳者を目指す通訳養成コースの2コース5クラス制で実施。 試験対策クラスは3年度から委託事業となった。（元年度は委託事業ではなく、日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会の独自事業、2年度から委託事業で取り組む予定だったが、2年度全面中止したため） 1) 申込者数及び受講決定者数 <table><tr><th>コース</th><th>クラス</th><th>定員</th><th>申込者数</th><th>受講決定者数</th></tr><tr><td rowspan="2">コミュニケーション</td><td>入門</td><td>20人</td><td>45人</td><td>20人</td></tr><tr><td>基礎</td><td>14人</td><td>16人</td><td>14人</td></tr><tr><td rowspan="3">通訳養成</td><td>基本</td><td>15人</td><td>12人</td><td>11人</td></tr><tr><td>応用実践</td><td>10人</td><td>9人</td><td>8人</td></tr><tr><td>試験対策</td><td>8人</td><td>3人</td><td>3人</td></tr><tr><td colspan="3">3年度</td><td>85人</td><td>56人</td></tr><tr><td colspan="3">2年度</td><td>-</td><td>-</td></tr></table> 2) 通訳養成コース受講希望者に対する面談の実施 開催日 応用実践クラス：4/17（土） 基本クラス：4/20（火） <table><tr><th>クラス</th><th>申込者数</th><th>受講決定者数</th></tr><tr><td>基本</td><td>12人</td><td>11人</td></tr><tr><td>応用実践</td><td>9人</td><td>8人</td></tr></table> ※基本クラス・応用実践クラス 申込者のうち各1人は面談辞退 3) コミュニケーションコース 申込者抽選 定員を超える申込があったため、当会会長による抽選を行った。 立会人：手話講習会検討委員 4) 講演会の開催 入門及び基礎クラス合同の講演会は、コロナ禍のためハイブリッド開催とした。 基本クラスの講演会は、対面開催とした。	コース	クラス	定員	申込者数	受講決定者数	コミュニケーション	入門	20人	45人	20人	基礎	14人	16人	14人	通訳養成	基本	15人	12人	11人	応用実践	10人	9人	8人	試験対策	8人	3人	3人	3年度			85人	56人	2年度			-	-	クラス	申込者数	受講決定者数	基本	12人	11人	応用実践	9人	8人
コース	クラス	定員	申込者数	受講決定者数																																											
コミュニケーション	入門	20人	45人	20人																																											
	基礎	14人	16人	14人																																											
通訳養成	基本	15人	12人	11人																																											
	応用実践	10人	9人	8人																																											
	試験対策	8人	3人	3人																																											
3年度			85人	56人																																											
2年度			-	-																																											
クラス	申込者数	受講決定者数																																													
基本	12人	11人																																													
応用実践	9人	8人																																													
実績報告																																															

	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>対象クラス</th></tr><tr><td>11/24</td><td>「手話を学んでいる皆さんへ」 講師：佐伯富美子 氏 (東京手話通訳等派遣センター) ※ハイブリッド (ZOOM・対面) 開催</td><td>入門クラス 基礎クラス 合同</td></tr><tr><td>12/21</td><td>「手話通訳者とは」 講師：萩埜友美 氏 (東京手話通訳等派遣センター) ※対面開催</td><td>基本クラス</td></tr></table>	開催日	内容	対象クラス	11/24	「手話を学んでいる皆さんへ」 講師：佐伯富美子 氏 (東京手話通訳等派遣センター) ※ハイブリッド (ZOOM・対面) 開催	入門クラス 基礎クラス 合同	12/21	「手話通訳者とは」 講師：萩埜友美 氏 (東京手話通訳等派遣センター) ※対面開催	基本クラス																		
	開催日	内容	対象クラス																									
	11/24	「手話を学んでいる皆さんへ」 講師：佐伯富美子 氏 (東京手話通訳等派遣センター) ※ハイブリッド (ZOOM・対面) 開催	入門クラス 基礎クラス 合同																									
	12/21	「手話通訳者とは」 講師：萩埜友美 氏 (東京手話通訳等派遣センター) ※対面開催	基本クラス																									
	5) ろうゲスト 日野市在住の聴覚障害者を招き、講演や交流会を行った。																											
	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>対象クラス</th></tr><tr><td>1/22</td><td>子育てや仕事等の日常生活について ろうゲスト：有山美代子 氏 吉田真弓 氏</td><td>入門クラス 基礎クラス</td></tr></table>	開催日	内容	対象クラス	1/22	子育てや仕事等の日常生活について ろうゲスト：有山美代子 氏 吉田真弓 氏	入門クラス 基礎クラス																					
	開催日	内容	対象クラス																									
	1/22	子育てや仕事等の日常生活について ろうゲスト：有山美代子 氏 吉田真弓 氏	入門クラス 基礎クラス																									
	6) 修了者及び皆勤者数 令和3年度手話講習会は、度重なる延期のため、厚生労働省「手話奉仕員」「手話通訳者」養成カリキュラム修了に必要な回数を担保することができないため、修了の扱いはしない。ただし、手話通訳者全国統一試験合格者に対してのみ修了の扱いをすることとする。																											
	<table><tr><th>コース</th><th>クラス</th><th>修了者</th><th>皆勤者</th></tr><tr><td rowspan="2">コミュニケーション</td><td>入門</td><td>—</td><td>2人</td></tr><tr><td>基礎</td><td>—</td><td>1人</td></tr><tr><td rowspan="3">通訳養成</td><td>基本</td><td>—</td><td>3人</td></tr><tr><td>応用・実践</td><td>—</td><td>1人</td></tr><tr><td>試験対策</td><td>1人</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>1人</td><td>7人</td></tr></table>				コース	クラス	修了者	皆勤者	コミュニケーション	入門	—	2人	基礎	—	1人	通訳養成	基本	—	3人	応用・実践	—	1人	試験対策	1人	—	合 計		1人
コース	クラス	修了者	皆勤者																									
コミュニケーション	入門	—	2人																									
	基礎	—	1人																									
通訳養成	基本	—	3人																									
	応用・実践	—	1人																									
	試験対策	1人	—																									
合 計		1人	7人																									
事業効果・評価 方向性等				・令和3年度手話講習会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため集合型の開講式を開かず、会場となる公共施設の定員削減に伴う講習会定員の削減、夜クラスの廃止、応用実践クラス土曜日午後開講と、例年とは違う内容を組み立てた。																								
				・日野市が定めたコロナ禍における手話講習会の取り決め事項（①緊急事態宣言下では開講しない②緊急事態宣言が解除した週及び翌週は開講しない）に基づき準備を進めた。																								
				・入門クラスの申込者は定員の2倍以上だった。夜クラスを廃止したことも理由として挙げられるが、広報の際に二次元コードを活用した案内ができたことも要因のひとつと考えている。																								
				・度重なる緊急事態宣言の発令及び延期に伴い何度も休止を重ねたが、その都度関係機関と連絡を取り合い、受講生に対しては延期のお知らせを郵送やメール、電話でする等丁寧に対応した。																								
				・2年度は全面中止した手話講習会だが、手話通訳者の養成、手話の普及という観点から、「手話を学ぶ場を回数は少なくとも提供したい」「コロナ禍にお																								

	いてどう対応していくか」という強い思いで、関係者一同取り組んできた。 9月30日をもって緊急事態宣言が解除され10月から開講して以降、トラブルもなく一度も中止せず終えることができた。 ・受講生アンケートでは「感染症対策をしっかりとっていただき、安心して受講することが出来た」とのお声をいただいた。コロナの終息が見えない中で対面型で実施した講習会だったが、感染症対策の方法等は来年度以降の講習会運営でも活かせるものになっているため、とても有意義な実施となった。 ・手話通訳者全国统一試験合格者を輩出することができた。今後は日野市登録手話通訳者として、聴覚障害者の情報保障、安心した生活を送れるよう支援していただきたい。
内 容	2. 保育員制度の拡充
実績報告	受講生の保育希望者に対し、日野市保育協力員制度を活用し保育サービスを提供した。 保育利用者 3人（入門2人、応用実践1人）
事業効果・評価 方向性等	・30年度にコミュニケーションコース入門（昼）クラスで保育制度を導入、元年度に基礎（昼）クラス、3年度は通訳養成コース基本及び応用実践クラスに導入することができ、子育て世代の方の手話を学ぶ環境を整えることができた。
内 容	3. 手話通訳者の育成
実績報告	1) 手話通訳者全国统一試験説明会（オンライン）への出席
内 容	4. 講師・助手会議等の開催
実績報告	1) 選考委員会 1回開催（4/28） 2) 講師助手会議 1回開催（4/28） 3) 次年度検討会 3回開催（7/27, 8/23, 2/1） 4) 令和3年度実施にあたっての検討会 （10/4） 緊急事態宣言が9/30をもって終了し、日野市が定めたコロナ禍における手話講習会の取り決め事項に基づき10/12から順次再開するにあたり、関係者と運営方法について話し合った。 5) 日野宿交流館の下見 （10/9） 日野宿交流館を会場とする基礎クラス及び応用実践クラスの講師助手、障害福祉課とともに会場の下見を行った。受講生の席配置や機材配置等の確認を行った。
事業効果・評価 方向性等	・講師助手を担う3団体（日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会、ひの手話サークル）及び障害福祉課と日頃から密に連絡を取り合い、講習会実施に取り組んだ。この関係性を継続し、日野市の障害者福祉の向上に寄与したい。

事業名	福祉のしごと相談・面接会				
事業形態	共催事業（日野市・東京都福祉人材センター）				
財源内訳	受託金・歳末たすけあい配分金				
担当係	総務係				
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ				
目的	介護職をはじめとする日野市の福祉人材の確保・開拓を図る。				
事業内容	1. 相談・面接会の実施				
実績報告	1) 共催 ハローワーク八王子				
	2) 実績				
		主催	開催日・場所	事業所数	参加者 採用人数
	3年度	日野市/ 東京都福祉 人材センター	2/25（金） イオンモール 多摩平の森 イオンホール	15社 高齢 6社 障害・児童 3社 障害 4社 保育 2社	46人 高齢 1人 障害・児童 1人 障害 7人
	2年度	東京都福祉 人材センター	10/2（金） イオンモール 多摩平の森 イオンホール	14社 高齢 4社 障害 5社 児童・保育 5社	55人 高齢1人 障害1人 保育2人
		日野市	2/5（金） イオンモール 多摩平の森 イオンホール	11社 高齢 4社 障害 4社 児童・保育 3社	49人 高齢4人 障害2人 保育1人
事業効果・評価 方向性等	・ソーシャルディスタンスの確保ができる会場で、飛沫防止・アルコール消毒・検温・事前予約制にするなど感染対策を徹底し実施した。 ・昨年度より日野市福祉政策課と連携し、「イオンモール多摩平の森イオンホール」で開催。今年度10月にも開催を予定していたが、衆議院選挙が急遽決まり会場使用ができず中止となった。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、初参加・無資格・未経験者の来場も多く、昨年度より採用実績も増加した。今まで希望する雇用形態はパートタイムが一番多かったが、今年度は正規職員の希望が一番多くなった。 ・出展事業所のうち1社が、新型コロナウイルス感染症の影響により当日欠席となった。				

事業名	福祉人材育成研修事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	在宅サービス係、総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	市内の高齢福祉サービスおよび障害福祉サービス事業所の従事者を対象にスキルアップや就労定着の促進に向けた研修会を行う。また人材の確保のため福祉施設の就労相談のための見学会を実施する。		
内容	1. 人材育成のための研修会		
実績報告	1) 経営者・管理者向け（全2回）		
	開催日	内容	参加者
	8/19午後	災害時の事業復旧から福祉避難所での被災者支援まで	38人
	1/25夜間	介護現場のハラスメントとメンタルケア	12人
	2) 施設職員向け（全5回）		
	開催日	内容	参加者
	9/24夜間	音楽で楽しく健康に	8人
	2/9午後	チームケアに活かすメンタルヘルス研修	8人
	3/2午後	傾聴力アップ研修	6人
	3/11午後	虐待防止研修※ケアマネジャー合同	40人
	3/16夜間	レクリエーション研修	中止
	3) 訪問介護員向け（全3回）		
	開催日	内容	参加者
	6/4 午後	高齢化するひきこもり※ケアマネジャー合同	21人
	9/1午後	クレーム対応	25人
	12/7午後	食中毒予防のポイントと食事作り	6人
	4) ケアマネジャー向け（全4回）		
	開催日	内容	参加者
	6/4 午後	高齢化するひきこもり※訪問介護員合同	21人
	10/28午後	令和3年度報酬改定の再確認	80人
	12/10午後	標準様式通知改正の再認識	92人
	3/11午後	虐待防止研修 ※施設職員合同	40人
事業効果・評価 方向性等	【Zoom オンラインを活用した研修】 ・令和2年度、介護人材育成研修（現 福祉人材育成研修）において市内福祉事業所へZoom 講座を行う等、従事者に慣れ親しんでいただいたおかげで今年度もスムーズにZoom を使った研修を行うことが出来た。 【経営者・管理者向け研修】 ・災害という全事業所に共通するテーマで、障害福祉事業所からも多数の参加者があった。介護ハラスメントの研修は昨年度も行っている注目度の高いテーマであり、経営者・管理者から好評だった。		

	【施設職員向け研修】 ・昨年度より延期になっていた音楽療法の研修を行った。コロナ禍の影響で対面式の研修は参加者が少なかったが、参加者からは是非来年度以降もやって欲しいという声が多かった。傾聴力アップ研修は座学と実践の2回を予定していたが、実践の研修はまん延防止重点措置の影響で予定していた会場の貸出しがなくなり、延期となった。来年度行うことで講師に了承を得ている。 【訪問介護員向け研修】 ・近年話題にあがることの多い8050問題について、実際に訪問する機会の多い訪問介護員とケアマネを対象に研修を行った。「引きこもることは本当に悪いことだろうか？」という始まりで、参加者に新しい視点を提供することが出来た。 【ケアマネジャー向け研修】 ・毎年参加者が多く、大変好評な講師に報酬改定についての研修をお願いした。ポイントが多いため2回に分けて行った。また、虐待防止研修については市内の地域包括支援センター職員が講師を担当し、市内で講師が育っていることが分かった。
--	---

事業名	障害福祉人材育成研修事業（新規）		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	在宅サービス係、総務係、ボランティア係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	市内の障害福祉事業に携わる人材の確保のため、地域における人材の育成や福祉資格取得のための相談受付、情報提供を行う。また、障害福祉事業所の職員を対象にスキルアップや就労定着の促進に向けた研修会を開催する。		
内容	1. 人材育成のための研修会		
実績報告	1) 障害福祉事業管理者研修（全1回）		
	開催日	内容	参加者
	3/9午後	人材が定着する施設へ	5人
	2) 従事者向け（全4回）		
	開催日	内容	参加者
	6/4午後	ひきこもり理解	12人
	6/9午後	障害年金の基礎知識	14人
	9/10午後	音楽療法	4人
	3/25午後	地域福祉権利擁護事業をもっと身近に	4人
	3) 就労支援実務研修（全1回）		
	開催日	内容	参加者
	11/11 午後	レッツ就労	8人
	4) その他委託者が必要と認める研修（全1回）		

	開催日	内容	参加者
	2/8午後	虐待防止研修	32人
	5) その他障害福祉に関する研修 (全1回)		
	開催日	内容	参加者
	9/30 午後	地震水害に対応できる支援力を身に着ける	41人
	6) 障害福祉従事者メンタルヘルス研修 (全1回)		
	開催日	内容	参加者
	2/10 午後	福祉職のためのメンタルヘルス研修	6人
	【Zoom オンラインを活用した研修】 ・コロナ禍の影響でオンラインでの開催が中心となった。今年度からの新規事業のため参加者がオンライン開催にどこまで対応できるか分からなかったが、大きな混乱なく行うことが出来た。 【経営者・管理者向け研修】 ・市内多くの事業所より「人手不足」という声が聞かれているため、人材の確保、育てる、定着させるというテーマで研修を行った。参加人数は少なかったが、明日から事業所で実践できる内容もあり、好評だった。 【従事者向け研修】 ・今年度から行う事業であったため、制度等の基礎的な内容の研修を中心に行った。音楽療法は対面式の研修だったため参加者が少なかったが、参加者からは大変好評で来年度もやって欲しいという声が多かった。 【就労支援実務研修】 ・「障害者就労」を支援者にもっと身近に感じて欲しいという思いから、親しみやすいタイトルに設定した。研修の中で支援者（講師）と市内で障害者就労をすすめている企業の担当者、その企業で働かれている当事者の対談という時間を設け、研修の中で障害当事者が活躍できる場を提供することが出来た。この形は参加者からも大変好評で、これからも当事者の声を聞ける機会を提供して欲しいとの意見が多かった。 【その他委託者が必要と認める研修】 ・来年度より障害福祉事業所で従事者への虐待防止研修が義務化されるので、そのために準備しておくことなどの内容を盛り込んだ研修となった。事前に障害福祉課より参加して欲しい事業所の情報をいただいていたため、通常はメールでのみの周知だが、上記事業所においては郵送でチラシを送るなど、周知漏れがないよう気を付け、多くの参加者があった。 【その他障害福祉に関する研修】 ・災害時に福祉事業所の職員として行動するためにどんな準備や心構えが必要なのか、熊本地震、令和2年熊本豪雨災害において事業復旧や福祉避難所運営を通して地域住民を支援した社会福祉法人リデルライトホーム事務長の実践報告から学んだ。 【障害福祉従事者メンタルヘルス研修】 ・福祉従事者に限らず、離職の大きな原因として挙げられている人間関係をいかに良好にしていくか、また自身のストレスをどのように対処していくかなど、実践的な内容を学んだ。		
	事業効果・評価 方向性等		

内 容	2. 市民向けメンタルヘルス講座		
実績報告	1) 講座の開催		
	開催日	内容	参加者
	3/29午後 ハイブリッド	「コロナ禍でも前を向いて生きていこう ココロの整え方講座」 講師 玉置妙憂 氏 (看護師・僧侶)	62人
事業効果・評価 方向性等	・全ての市民に関係するテーマとして「コロナ禍」を設定した。 ・講師はテレビ等メディアへの露出も多く、有名な方だったため参加者が最も多かった。 ・一般市民向けの研修のため、市役所デジタルサイネージへの掲載や関係機関等にチラシを置いて周知を行った。		
内 容	3. 差別解消を目的とした人権意識醸成冊子の作成		
実績報告	令和2年4月に日野市障害者差別解消推進条例が施行された。障害者差別解消条例をきっかけに、障害者差別解消に向け市民の「気づき」「意識変化」「行動」を促す必要がある。（主に福祉教育を行う小学生をターゲット）すべてのいのちがよろこびあふれる未来をつくっていく力を子どもたちと共に育むことを目的とする。（第3次日野市学校教育基本構想と同じ方向性で進めて行く）		
	1) 福祉教育ハートフルプロジェクト会議		
	①委員 大和田邦彦 校長、須藤朋子 教諭（七生緑小学校） 下里鮎乃 副校長（日野第四小学校） 大平 晴 教諭（滝合小学校） 大沼真弓 教諭（七生特別支援学校） 大塚佳代子 教諭（八王子東特別支援学校） 藤田博文 氏 (CIL 事務局次長、日野市障害者差別解消推進条例策定検討委員会委員長) 谷 遼平 氏、立原直人 氏（日野市障害福祉課）		
	②会議の開催		
	開催日	内容	
	5/26	意見交換	
	6/9	内容についての話し合い	
	6/30	福祉教育について・プロジェクト名について	
	7/28	電子教科書の概要について	
	9/6	電子教科書の内容について	
10/12	アンケート調査		
11/11	電子教科書の進め方について・モデル校について		
12/9	講演会について		
1/18	先生へのアンケート調査の内容についての確認		
2/21	先生へのアンケート調査経過について		
3/13	ハートフルプロジェクト講演会 (まん延防止重点措置期間中のため延期)		

	③事業の進め方 多様性や障害について知ること（気づき）知ったことについて自分の考えと人の考えを共有すること（意識変化）、そしてそれらのことを踏まえて実践すること（体験）の3つの柱を福祉教育の中で構築する。 GIGA スクール構想の中にある児童への一人一台端末を活用し、ICT を取り入れながら事業を進めて行く。 1) 気づき→ハートフルブック google の機能を使い電子教科書を作成する 2) 意識変化→ハートフルブックワークシート 電子教科書を進めて行く中で、「考える」と「共有する」を繰り返すワークシートを作成する 3) 行動する 当事者の方のお話を聞く・見る・触れる体験と地域を舞台としたフィールドワークの実施																								
事業効果・評価 方向性等	・主に小学生をターゲットとすることにより、子どもから地域への広がり と、子どもたちが大人になっていく未来を見据えた取り組みを目指す。 ・本プロジェクトを進めていくにあたり、教育機関である学校と障害のある 当事者である藤田博文氏、そして行政の各部署が関わりながら日野市全体に 浸透していくように進める。																								
内 容	4. 日野市移動支援従事者養成研修																								
実績報告	市内に若年層の移動支援従事者が不足しているという事業所からの声を受け、日野市内社会福祉法人ネットワーク加盟法人や大学、市と協力し、地域で日野市独自の移動支援従事者を養成する研修プログラムを実施した。 1) 養成研修 全14時間（3～4日間） <table><tr><th>日時</th><th>内容</th><th>場所</th><th>参加者</th></tr><tr><td>11/7</td><td>講義 [3.5時間]</td><td>福祉支援センター</td><td rowspan="4">7人</td></tr><tr><td>11/9 ～11/16</td><td>施設実習 [5時間]</td><td>工房夢ふうせん あおいとり日野 光の家就労ホーム 放課後デイぷらたなす</td></tr><tr><td rowspan="2">11/21</td><td>外出実習 [4時間] 対象： グループホーム夢の家 光の家グループホーム 利用者合計 8人</td><td>多摩動物公園（散策）</td></tr><tr><td>振り返り・修了式 [1.5時間]</td><td>福祉支援センター</td></tr></table> 2) 所属事業所でのOJT（職場内訓練） 1人当たり24時間程度実施 3) フォローアップ研修 <table><tr><th>日時</th><th>内容</th><th>場所</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>3/6</td><td>交流、講義、演習 [3時間]</td><td>生活介護とちのみ</td><td>6人</td></tr></table>	日時	内容	場所	参加者	11/7	講義 [3.5時間]	福祉支援センター	7人	11/9 ～11/16	施設実習 [5時間]	工房夢ふうせん あおいとり日野 光の家就労ホーム 放課後デイぷらたなす	11/21	外出実習 [4時間] 対象： グループホーム夢の家 光の家グループホーム 利用者合計 8人	多摩動物公園（散策）	振り返り・修了式 [1.5時間]	福祉支援センター	日時	内容	場所	参加者数	3/6	交流、講義、演習 [3時間]	生活介護とちのみ	6人
日時	内容	場所	参加者																						
11/7	講義 [3.5時間]	福祉支援センター	7人																						
11/9 ～11/16	施設実習 [5時間]	工房夢ふうせん あおいとり日野 光の家就労ホーム 放課後デイぷらたなす																							
11/21	外出実習 [4時間] 対象： グループホーム夢の家 光の家グループホーム 利用者合計 8人	多摩動物公園（散策）																							
	振り返り・修了式 [1.5時間]	福祉支援センター																							
日時	内容	場所	参加者数																						
3/6	交流、講義、演習 [3時間]	生活介護とちのみ	6人																						

事業効果・評価 方向性等	・大学生を中心に同年代の若者が参加し、全員が研修を修了して移動支援従事者として登録することができた。 ・元々担い手が少ない実情の中で、所属事業所での OJT に手間と時間が必要なことから、参加者数は6、7人が現状としては妥当である。 ・将来の福祉人材となる可能性からも、次期の参加者も含め長期的な視点を持って養成していく方向性が関係者間で共有された。
-----------------	---

事業名	社会福祉士養成のための実習生の受入		
事業形態	独自事業		
財源内訳	手数料		
担当係	総務係・地域支援係・ボランティア係・権利擁護係・在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	将来の福祉人材の育成のため、社会福祉士を目指す学生を実習生として受け入れ、専門職としての指導を行う。		
内容	1. 実習プログラムの作成・指導		
実績報告	大学や専門学校で社会福祉士取得を目指している学生に、社会福祉協議会における、社会福祉士にとって必要な知識や技術の指導を行った。実習最終日には、実習総括のため学生による活動発表・報告会を実施予定。		
	1) 概要および内容		
		教育機関（学校名）	期間（日数・時間）
	①	大妻女子大学 人間関係学部人間福祉学科3年	4/12-5/21 (25日間・180時間)
	②	明星大学 人文学部福祉実践学科3年	9/6-10/29 (29日間・189.5時間)
		日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科3年	1人
	③	大妻女子大学 人間関係学部人間福祉学科3年	1/31-3/10 (25日間・183時間)
	2) 実習報告会 ① 5/21（金） ②10/29（金） ③ 3/10（木）		
事業効果・評価 方向性等	・社会福祉協議会の具体的な活動や地域との関わり、社会福祉協議会内における社会福祉士としての役割について、学生が理解を深める機会となっている。 ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により昨年度受入を行わなかった実習生について、今年度に受入を行った。		

法人運営事業

事業名	組織運営事業
事業形態	独自事業、補助事業
財源内訳	補助金、償還金、広告料、手数料、受入研修費、積立金、繰越金
担当係	総務係（12.部会活動は地域支援係、ボランティア係）
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	各種法令や諸規程を遵守し、住民参加による透明性の高い法人組織として健全な運営を図る。 法人内の係間の調整や事務局管理を行い、効果的かつ功利的な経営が行われるよう努める。
内容	1. 任期満了に伴う新役員等（理事・監事・評議員）の選任
実績報告	1) 理事・監事の選任 理事・監事の任期終期が令和3年6月の定時評議員会までだったことから、今年度の定時評議員会において改選を行った。
内容	2. 評議員選任・解任委員会の開催
実績報告	1) 委員会の開催 1回（6/17） 評議員の任期満了に伴い、新たな評議員20人の選任を行った。 2) 評議員選任・解任委員の改選 委員の任期満了に伴い、新たな委員を選任した。 任期：令和3年6月1日から令和5年5月31日まで 林 幹高 氏（NPO法人福祉カフェテリア理事長） 土方三男 氏（保護司） 平賀美代子 氏（前生活支援員） 安藤恒美 氏（日野市社会福祉協議会監事） 松本茂夫（日野市社会福祉協議会事務局長）

内 容	3. 理事会・評議員会・経営会議等の開催		
実績報告	1) 理事会		
		開催日	内容
	第1回	6/14	報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 令和2年度 事業報告について 審議第2号 令和2年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 社会福祉充実残額の承認について 審議第4号 第一次補正予算の承認について 審議第5号 育児・介護休業規程の一部改正について 審議第6号 役員候補者の提案について 審議第7号 評議員候補者の推薦について 審議第8号 評議員選任・解任委員の選任について 審議第9号 評議員選任・解任委員会の開催について 審議第10号 定時評議員会の開催について
	第2回	6/30	報告第2号 役員（理事・監事）の選任について 審議第11号 会長の選任について 審議第12号 副会長の選任について 審議第13号 常務理事の選任について 審議第14号 担当委員の選任について
	第3回	11/18	報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第15号 令和3年度 上半期事業報告について 審議第16号 令和3年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第17号 日野市子どもの学習・生活支援事業運営規程の一部改正の報告承認について 審議第18号 令和3年度 第二次補正予算の報告承認について 審議第19号 令和3年度 第三次補正予算の承認について 審議第20号 契約職員就業規程の一部改正について 審議第21号 パートタイム就業規程の一部改正について 審議第22号 評議員会の開催について
	第4回	3/18	審議第23号 給与規程の一部改正について 審議第24号 服務規程の一部改正について 審議第25号 育児・介護休業規程の一部改正について 審議第26号 職員の休職及び復職に関する取扱要綱の全部改正について 審議第27号 令和3年度第四次補正予算の報告承認について 審議第28号 令和4年度（2022年度） 事業計画について 審議第29号 令和4年度（2022年度） 予算について 審議第30号 評議員会の開催について
	2) 評議員会		
	第1回評議員会（定時評議員会）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から決議の省略（書面決議）とした。		
		開催日	内容
	第1回 （決議の省略）	6/17 （提案日）	報告第1号 評議員選任・解任委員の選任について 報告第2号 評議員の選任について 議案第1号 令和2年度 事業報告について 議案第2号 令和2年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 第一次補正予算の承認について 議案第5号 育児・介護休業規程の一部改正について 議案第6号 役員の承認について

	第2回	11/29	議案第 7号 令和3年度 上半期事業報告について 議案第 8号 令和3年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第 9号 日野市子どもの学習・生活支援事業運営規程の一部改正の報告承認について 議案第10号 令和3年度 第二次補正予算の報告承認について 議案第11号 令和3年度 第三次補正予算の承認について 議案第12号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第13号 パートタイム就業規程の一部改正について
	第3回	3/28	議案第14号 給与規程の一部改正について 議案第15号 服務規程の一部改正について 議案第16号 育児・介護休業規程の一部改正について 議案第17号 職員の休職及び復職に関する取扱要綱の全部改正について 議案第18号 令和3年度第四次補正予算の報告承認について 議案第19号 令和4(2022)年度 事業計画について 議案第20号 令和4(2022)年度 予算について
4) 経営会議 12回開催 5) 内部監査(監査) ①令和2年度決算監査 6/2(水) ②令和3年度上半期決算監査 11/4(木)			
内 容	4. 福祉サービスに関する苦情申出窓口の設置		
実績報告	1) 苦情解決第三者委員の改選 前委員の任期満了に伴い、新たな委員を選任した。 任期：令和3年6月1日から令和5年5月31日まで 林 幹高 氏(NPO法人福祉カフェテリア理事長) 土方三男 氏(保護司) 平賀美代子 氏(前生活支援員) 2) 苦情申立件数 なし		
内 容	5. 第5次日野市地域福祉活動計画の推進		
実績報告	1) 第5次日野市地域福祉活動計画推進会議 推進委員(順不同敬称略) 委員長 山本美香(東洋大学ライフデザイン学部) 副委員長 浅野大輔(社会福祉法人夢ふうせん) 中澤 洋(日野市商工会/日野市社会福祉協議会理事) 松田純子(実践女子大学生生活科学部/日野市社会福祉協議会理事) 中村真佐子(権利擁護センター日野 生活支援員) 北村智史(公益社団法人成年後見センターリーガルサポート東京支部) 矢崎 功(南平地区社会福祉協議会) 古谷 晋(社会福祉法人マザアス) 栗沢稚富美(日野市立駅前子育て応援施設 子育てカフェモグモグ) 飯沼一将(日野市地域包括支援センターせせらぎ) 藤田博文(NPO法人自立生活センター・日野) 丹野慶子(日野市民生委員・児童委員協議会) 猪鼻謙介(日野市健康福祉部福祉政策課) 西山律子(日野市企画部地域協働課)		

	2) 会議の開催		
	開催日	内容	参加者
	3/3	委員委嘱、推進状況報告及び評価等 会場：中央福祉センター（ハイブリッド）	14人
	3) 職員による事例検討会 本計画「1.ともにみまもる（I）-3 地域生活支援の相談支援体制の充実」で定めた、職員による事例検討を職員会議内で実施した。（5/25）		
事業効果・評価 方向性等	・本計画を策定した策定委員が引き続き推進委員として就任した。 ・計画の推進状況について推進委員からの関心が高く、次の会議ではもっと意見交換をする時間を取りたいという希望が推進委員よりあった。そのことから運営方法についての工夫を検討していくこととなった。		
内 容	6. 第37回福祉のつどい		
実績報告	地域福祉の推進に貢献した方を対象とした表彰式を開催した。表彰にあたっては、推薦を受けた方について表彰審議委員会での審議を経て承認された方を対象とした。		
	1) 表彰式		
	開催日	場所	内容
	2/26	中央福祉センター 集会室1・2	表彰状・感謝状贈呈 受賞者26人（表彰状18人、感謝状8人） 受賞者挨拶 溝口常之 氏
	2) 推薦団体 特定非営利活動法人市民サポートセンター日野、NPO法人ひの市民活動ネットワーク、日野市赤十字奉仕団、朗読サークル「ひの」、（社福）マザアス高齡者在宅サービスセンターマザアス多摩川苑、（社福）東京光の家、（社福）隆山會、日野市身体障害者福祉協会、日野市老人クラブ連合会、日野市社会福祉協議会、日野市ボランティア・センター		
	3) 表彰審議委員会		
	開催日	内容	
	1/21	推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局	
内 容	7. 日野市内社会福祉法人ネットワーク		
実績報告	社会福祉法人同士の連携や地域公益活動実施のためのネットワーク化を図り、事務局を日野市社会福祉協議会総務係に置く。地域公益活動実施のための検討や地域福祉活動・防災活動への連携・協力を呼びかける。		
	1) 幹事会の開催 5回（4/15, 7/13, 9/28, 12/6, 2/7） 2) 幹事（順不同敬称略） ・浅野 大輔（社会福祉法人夢ふうせん 工房夢ふうせん 施設長） ・岩谷 健治（社会福祉法人東京緑新会 多摩療護園 園長） ・神田 耕治（社会福祉法人友遊の家 理事長） ・古谷 晋（社会福祉法人マザアス マザアス日野 施設長）		

- ・長谷川育代（社会福祉法人至誠学舎立川 万願寺保育園 園長）
- ・野原 久代（社会福祉法人のぎく会 日野保育園 園長）
- ・奥住日出男（社会福祉法人日野市社会福祉協議会 会長）

3) 事業報告

①買い物お助けサービス（毎月第2・4土曜）

（社福）友遊の家、南平地区社会福祉協議会等との連携による南平地区からヤオコーまでの買い物送迎（再掲）

○実施回数 28回 ○利用者数延べ 87人

②日野市フードパントリーの協力

○食材箱配布数 1,456箱

○配布協力実績

受付窓口（社会福祉施設等）	食材利用食数（箱）
年間合計	1,456
〔内訳〕	
日野市社会福祉協議会（日野）	480
日野市社会福祉協議会（高幡）	347
多摩療護園	108
工房夢ふうせん	172
放課後等デイサービスぷらたなす	105
地域包括支援センター多摩川苑	49
フードバンクTAMA	159
無回答・未記入	36

○関係・協力機関との打合せ（5/13, 6/15, 10/28）

- 議題
- ・コロナ特例貸付と連携した対応
 - ・生理用品の配布協力について
 - ・基幹型児童館等との連携について
 - ・配布協力施設（新規）の検討
 - ・社会福祉施設等におけるフードドライブの検討について

③移動困難高齢者ワクチン接種会場移送支援 別途報告

④防災・減災オンラインフォーラム（9/25）

⑤地域共生社会を考えるシンポジウムの開催（コロナ禍により延期）

⑥明星大学人文学部福祉実践学科1年生「地域ニーズ開発」外部講師

開催日	内容
10/13 オンライン	○移動支援従事者養成研修について〔日野市社会福祉協議会〕 ○知的障害福祉に関する施設や事業について ○障害当事者の話〔なごみ在宅介護サービス日野〕 ○福祉施設の紹介〔放課後等デイサービスぷらたなす〕 ○グループホームと利用者について〔ケアホームあおいとり〕 ○同世代福祉職員の話 グループホーム夢のいえ（明星大学福祉実践学科2年生） 就労移行事業所（株）コルポート（明星大学福祉実践学科2020年卒業OG） ○日野市移動支援従事者養成研修の開催案内・募集

	⑥福祉の仕事魅力発信 ひの社協だより 3回掲載 (241号, 242号, 243号) ⑦活動報告書の発行 (500部) 日野市内社会福祉法人ネットワークの活動周知及び報告を目的に、設立からこれまでの活動をまとめた報告書を作成し、社会福祉法人や日野市民生委員・児童員協議会、地域包括支援センター等へ配布。
事業効果・評価 方向性等	・フードパントリーは年間で月平均120食利用となり、引き続き地域からの要望は高い。また協力施設として、社会福祉法人マザアス（ひの圏域）が加わった。（7/1～） ・障害福祉関係の複数の社会福祉法人が協力し、明星大学人文学部福祉実践学科1年生「地域ニーズ開発（オンライン）」の出前講義（外部講師）を行った。併せて令和3年度から開始する「日野市移動支援従事者養成講座」の開催を案内し、受講生の募集を行った。 ・地域共生社会を考えるシンポジウムは開催予定（3/22）であったが、まん延防止措置期間下となり延期している。 ・ネットワーク活動の事業報告ならびに広報周知のため、これまでの動きをまとめた報告書を作成した。 ・初代代表幹事である多摩療護園常務理事の平井寛幹事の退任に伴い、夢ふうせん施設長の浅野大輔幹事が選任された。また前任者の退任に伴い、多摩療護園長の岩谷健治氏、日野保育園園長の野原久代氏が幹事となった。
内 容	8. 日野市を始めとする関係委員会等への委員協力
実績報告	日野市等が行う関係する委員会等へ選出（推薦）し、日野市の地域福祉活動等の連携を深めるとともに情報共有を図る。 （会長） 1. 東京都社会福祉協議会 区市町村社会福祉協議会部会 評議員会 2. 南多摩保健所協議会 3. （社福）東京都共同募金会評議員会 4. （社福）東京緑新会理事会 5. （社福）おおぞら評議員会 6. 日野台高等学校 防災教育推進委員会 7. 日野台高等学校 学校運営連絡協議会 8. ふだん着でCO2をへらそう実行委員会 9. 日野市社会教育センター運営委員会 （事務局） 1. 日野市地域福祉計画推進委員会（事務次長） 2. 日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会（事務局長） 3. 日野市介護保険運営協議会等（地域支援係） 4. 日野市生活困窮者自立支援相談事業支援調整会議（総務係） 5. 日野市住宅ストック活用推進協議会（地域支援係） 6. 日野市居住支援協議会（総務係） 7. 日野市献血推進協議会（事務局長） 8. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会（事務局長） 9. 日野高等学校運営連絡協議会（事務次長） 10. 日野消防署住宅防火防災対策推進協議会（事務局長） 11. 地域力強化推進事業 支援ネットワーク委員会（地域支援係）

	12. 日野・多摩・稲城地区保護司会 保護司候補者検討協議会（事務次長） 13. 日野わーく・わーく会議（在宅サービス係） 14. 日野市障害者就業支援連絡会（在宅サービス係） 15. 地域自立支援協議会（総務係） 16. 障害者差別解消支援地域協議会（総務係） 17. 日野市中卒後支援検討委員会（地域支援係・ボランティア係） 18. 日野市再犯防止推進計画検討委員会（事務次長）															
内 容	9. 社会福祉協議会会員会費の拡充・啓発															
実績報告	財源確保のため、関係団体（日野市商工会・日野市民生児童委員・日野市老人クラブ連合会・自治会・日野市職員）をはじめ地域へ協力依頼を行った。 1) 会費実績 <table><tr><td></td><td>合計（件数）</td><td>内訳</td></tr><tr><td>3 年度</td><td>3,298,600円（719件）</td><td>個人 388,100円（288件） 特別 442,000円（103件） 団体 2,468,500円（328件）</td></tr><tr><td>2 年度</td><td>3,383,690円（773件）</td><td>個人 416,300円（318件） 特別 434,000円（110件） 団体 2,533,390円（345件）</td></tr></table> 2) 寄附金実績 <table><tr><td></td><td>合計額（件数）</td></tr><tr><td>3 年度</td><td>経常区分 2,336,695円（72件）</td></tr><tr><td>2 年度</td><td>経常区分 4,944,848円（96件）</td></tr></table>		合計（件数）	内訳	3 年度	3,298,600円（719件）	個人 388,100円（288件） 特別 442,000円（103件） 団体 2,468,500円（328件）	2 年度	3,383,690円（773件）	個人 416,300円（318件） 特別 434,000円（110件） 団体 2,533,390円（345件）		合計額（件数）	3 年度	経常区分 2,336,695円（72件）	2 年度	経常区分 4,944,848円（96件）
	合計（件数）	内訳														
3 年度	3,298,600円（719件）	個人 388,100円（288件） 特別 442,000円（103件） 団体 2,468,500円（328件）														
2 年度	3,383,690円（773件）	個人 416,300円（318件） 特別 434,000円（110件） 団体 2,533,390円（345件）														
	合計額（件数）															
3 年度	経常区分 2,336,695円（72件）															
2 年度	経常区分 4,944,848円（96件）															
事業効果・評価 方向性等	・会費実績に関して、自治会より、コロナ禍で役員会が開けなかったなどの理由から会費の納入を失念していたという連絡が複数あったため、リマインダーの方法を次年度以降検討していく。 ・寄附金実績は昨年度と比べて減額となった。昨年度は臨時給付金の給付に伴い、「広報ひの（6/15）臨時号」における寄附の呼びかけにより、20人近くの新規寄附者の申込があったため。															
内 容	10. 地域福祉活動推進のための自己財源や共同募金の確保															
実績報告	①会員会費の充実 ②寄附金/共同募金の募集と使途報告の継続・拡充 ③収益事業の健全経営 ④ひの社協だよりへの企業広告掲載 ⑤積立金の運用方法等検討															
内 容	11. 法人管理運営															
実績報告	各種法令を遵守し、法人管理事務を行った。 ・人事・給与 ・福利厚生（健康診断・管理） ・文書類の収受 ・事業計画・報告 ・予算管理・決算事務（会計処理） ・その他の事務															

内 容	12. 広報活動の工夫			
実績報告	1) 広報紙「ひの社協だより」の発行 No241 (6月13日発行) 43,000部 主な記事 スマートフォン講座の開催、会員会費 No242 (10月10日発行) 43,000部 主な記事 福祉のしごと相談・面接会、赤い羽根共同募金 No243 (2月6日発行) 43,000部 主な記事 福祉のしごと相談会、地域共生社会を考えるシンポジウム 2) ホームページのリニューアル			
事業効果・評価 方向性等	・発行にあわせ各係職員による編集会議を行うことにより、社協全体として 広報紙づくりに取り組むことができています。 ・市民の方にとってタイムリーかつ分かりやすい情報を一面にしたところ、 発行翌日に問合せが殺到し電話回線がパンクする等、紙面づくりの可能性を 見出すことができた。			
内 容	13. 事務局体制の整備・職員の資質向上			
実績報告	1) 職員会議 12回 2) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練			
	開催日	内容	参加者	
	12/20	机上訓練（災害時の事業継続と災害ボランティアセンター の立ち上げ） 会場：中央福祉センター	24人	
事業効果・評価 方向性等	・主に新事業について、職員会議を通じて職員間の情報共有を行った。 ・職員会議の中で、あんしん住まいる日野に関する事例検討会を行った。 ・日野事務所、高幡事務所の職員全員が2グループに分かれ、災害時の事業 継続を考慮した中での災害ボランティアセンター立ち上げについて検討する 訓練を行った。			
内 容	14. 部会活動			
実績報告	1) 児童部会 未実施 2) 障害者施設職員交流会部会 障害者施設職員間の交流の深化および知識・スキルの向上を目的とした交 流会を原則月1回開催した。 ※1～3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止			
	開催日	内容	会場	参加者
	5/28	近況報告と今後の取り組みについて の意見交換	web	9人
	6/25	各施設の自主製品のPR	web	12人
	9/24	コロナ禍における余暇活動の工夫	web	6人
	11/12	災害対応シミュレーション	web	6人
	12/17	利用者の健康の維持・増進を目的と した取り組みについて	web	5人

事業効果・評価 方向性等	・今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、施設職員が夜間に開催される部会に参加することが難しく、開催が見送られることが多々あった。 ・障害者施設職員交流会部会は、施設職員同士の貴重な交流の場であるため、次年度は部会員の意見も反映しながら積極的に開催していきたい。
-----------------	--

公益事業拠点区分

福祉センター管理事業

事業名	日野市立中央福祉センターの管理運営		
事業形態	指定管理者制度（平成29年4月1日～令和4年3月31日）		
財源内訳	受託金（指定管理料）		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	各種福祉団体の連絡・調整し、社会福祉の啓発や市民の健康増進、地域福祉の推進等を図るとともに、利用者の安全に利用できるよう施設運営に努める。		
内容	1. 快適な施設利用への配慮、安全かつ効率的な施設運営		
実績報告	1) 施設概要 開館日 火曜日～日曜日 ※こどもの日を除く祝日は休館		
	2) 利用実績		
		利用者	
		開館日数	利用者数
	3年度	293日	2,004団体 21,768人
事業効果・評価 方向性等	2年度	234日	1,489団体 17,922人
	3) 施設管理に関わる保守委託業務		
	①館内清掃 ②空調設備 ③自動扉 ④階段昇降機		
	⑤ヘルストロン ⑥消防用設備 ⑦夜間警備		
	・4/25の緊急事態宣言発令に伴い、新型コロナウイルス感染症対策として利用定員を半分にし、昨年度より継続している夜間利用は中止とした。 ・6/21より蔓延防止等重点措置に移行したため、夜間の利用時間を20:00までとして再開した。 ・7/12以降再度の緊急事態宣言が発令されたが、夜間利用については引き続き20:00までとして実施した。 ・9/30に緊急事態宣言が全面解除となり、夜間の利用時間も21:00までと通常に戻したが、夜間の利用は少ない現状である。定員は、ソーシャルディスタンスが保てる程度とし、概ね定員の半分程度を目安とした。 ・令和4年1月21日より再びまん延防止等重点措置が発出されたが、利用時間や利用定員については、従前どおりとした。 ・施設用品の消毒の徹底や、利用者の検温・消毒設備の充実を図った。 ・令和2年度より中央公民館と共同で日野市における予備的避難所（風水害時）として位置付けられている。3月に、中央公民館、ひの児童館、日野図書館と4館合同で避難訓練を実施した。		

高齢者就業創出支援事業

事業名	しごとサポートひの
事業形態	補助事業
財源内訳	補助金、繰越金
担当係	しごとサポートひの
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ
目的	高年齢者の就労機会の創出、社会参加の機会を促進する。
内容	1. 機能移転と事務所閉鎖に伴う整理
実績報告	1) 機能移転 ハローワークハ王子と日野市が共同で運営する職業相談・職業紹介専門の公共施設「ナイスワーク高幡」へ令和3年4月1日以降に機能移転を行った。 2) 事務所閉鎖に伴う整理 4月末までに書類管理、備品整理等を行った。

収益事業拠点区分

事業名	自動販売機設置等管理事業		
財源内訳	手数料、利用料		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	公共施設の自動販売機の設置や中央福祉センター内の印刷機等を貸し出しする等、施設の利便性の向上を図り社会福祉事業における財源確保に努める。		
内容	1. 自主財源の確保		
実績報告	自動販売機の設置		
	1) 実績		
		台数	ロケマージン
	3年度	26台	4,737,251円
	2年度	24台	4,332,492円
	2) 設置場所 15ヶ所 (26台数)		
	・日野市役所1階 (5) ・クリーンセンター(2)		
	・福祉支援センター(1) ・中央福祉センター(2)		
	・生活・保健センター(1) ・ひの煉瓦ホール(4)		
	・中央公民館 (1) ・教育センター(1)		
・勤労・青年会館(1) ・ふるさと歴史館(2)			
・百草コミュニティセンター(1)			
・PlanT (多摩平の森産業連携センター) (1)			
・プラスチック類資源化施設 (2)			
・石田環境プラザ (1) ・発達教育支援センター (1)			
印刷機等の貸出			
1) 実績			
	件数	利用料	
3年度	44件	64,714円	
2年度	28件	57,047円	
事業効果・評価方向性等	・新型コロナウイルス感染症予防のため、自動販売機を設置する公共施設の閉館や時間短縮の影響を受け、定員マージン収入が大幅に減少した。 ・石田環境プラザ (8月～)、発達教育支援センター(9月～)に新たに各1台ずつ設置した。 ・マージン収入の減少(設置箇所の利用者数減少)傾向が続き、新たな社会貢献型自動販売機箇所の検討を要している。		

事業名	日野市役所内売店の運営		
事業形態	収益事業		
財源内訳	売上金、繰越金		
担当係	総務係・日野市役所内売店		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	日野市役所内売店を運営し、市役所の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。		
内容	1. 健全な経営・感染防止策の徹底		
実績報告	品出し・販売業務補助委託：社福）日野青い鳥福祉会（訓練生1人）		
事業内容	2. 運営概要		
実績報告	1）営業日時 月～金曜日（9:30～15:30） ※祝日・年末年始を除く 従業員 管理責任者1人、補助職員2人		
		売上	商品残高
	3年度	23,038,577円	2,313,134円
	2年度	20,335,494円	2,017,602円
事業効果・評価方向性等	2）Paypay の導入 キャッシュレス会計による顧客の利便性を図るため、QRコード決済「Paypay」を7月1日より導入した。		
	・Paypay 導入後、毎月継続的に二次元バーコード決済を利用する様子が見られるため、事業者利用料が発生する10月1日以降も引き続き利用することとした。 ・日野市と岩手県紫波町の姉妹都市PRお土産「まん福」を取り扱う等、季節や流行を押さえながら店内の商品ラインナップに工夫をこらした。		

共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

事業名	東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）			
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）			
財源内訳	地区協力会事務費			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ			
目的	東京都共同募金会日野地区協力会事務局として、日野地区における赤い羽根共同募金運動の普及・啓発に努め、社会福祉施設が行う事業の助成金として活用し、東京都ならびに日野市の社会福祉事業の推進を図る。			
内容	1. 多様な方法による募金の普及・拡大			
実績報告	東京都共同募金会日野地区協力会として、日野地区における赤い羽根共同募金運動（10/1～12/28）を展開し、市民へ協力を呼びかけた。			
	1）募金実績			
	1）募金実績			
		募金額	内訳	
	3年度	1,490,879円	地区募金	973,106円
			街頭募金	90,813円
			自動販売機	426,960円
	2年度	2,535,385円	地区募金	2,097,428円
			街頭募金	0円
			自動販売機	437,957円
2）街頭募金活動 豊田小学校				
3）赤い羽根共同募金へ寄附する自動販売機設置				
①協賛企業 4社				
・東京キリンビバレッジサービス(株) ・(株)伊藤園				
・サントリービバレッジサービス(株) ・FVイーストジャパン(株)				
②日野市社会福祉協議会による設置 9ヶ所				
・多摩平の森産業連携センターPlanT ・日野市役所				
・福祉支援センター ・クリーンセンター ・中央福祉センター				
・中央公民館 ・生活保健センター				
・百草台コミュニティセンター ・プラスチック類資源化施設				
③他団体による設置協力 3ヶ所				
・日野市市民の森ふれあいホール ・パチンコRAMO				
・日野市立病院				
4）関係部署窓口において募金受付				
日野市福祉政策課、七生支所、日野市役所売店				
事業効果・評価 方向性等	・2年度は団体からの大口の募金があったが3年度はなかったため、募金実績が前年度を大きく下回った。			
	・例年、日野地区では街頭募金活動に力を入れて募金の普及に取り組んでいる。3年度は新型コロナウイルスの感染に配慮し、豊田小学校5年生に			

	よる拡声器を使用した募金活動を行ったところ一定の成果があったことから、来年度以降は他団体にも協力をお願いしていきたい。				
内 容	2. 広報啓発活動				
実績報告	1) 共同募金の事前説明会 <table border="1"> <tr> <td>日程</td><td>団体</td></tr> <tr> <td>11/19</td><td>日野市立豊田小学校5年生有志</td></tr> </table> 2) 広報活動 ①日野市内自治会に対し、日野地区協力会作成の独自チラシを配布 ②ひの社協だよりへ掲載	日程	団体	11/19	日野市立豊田小学校5年生有志
日程	団体				
11/19	日野市立豊田小学校5年生有志				
事業効果・評価 方向性等	・3年度も昨年度同様、街頭募金活動を全面中止する予定だったが、豊田小学校5年生より「街頭募金活動を実施したい」と相談があった。実施方法について東京都共同募金会に相談し、拡声器を使う方法とした。 ・ボランティアに協力予定の児童に共同募金の使われ方等の説明を行い、募金の仕組みを知り積極的に関わってもらえるようにした。 ・児童に対し説明を行うことで、福祉教育の一環を担うことができた。				

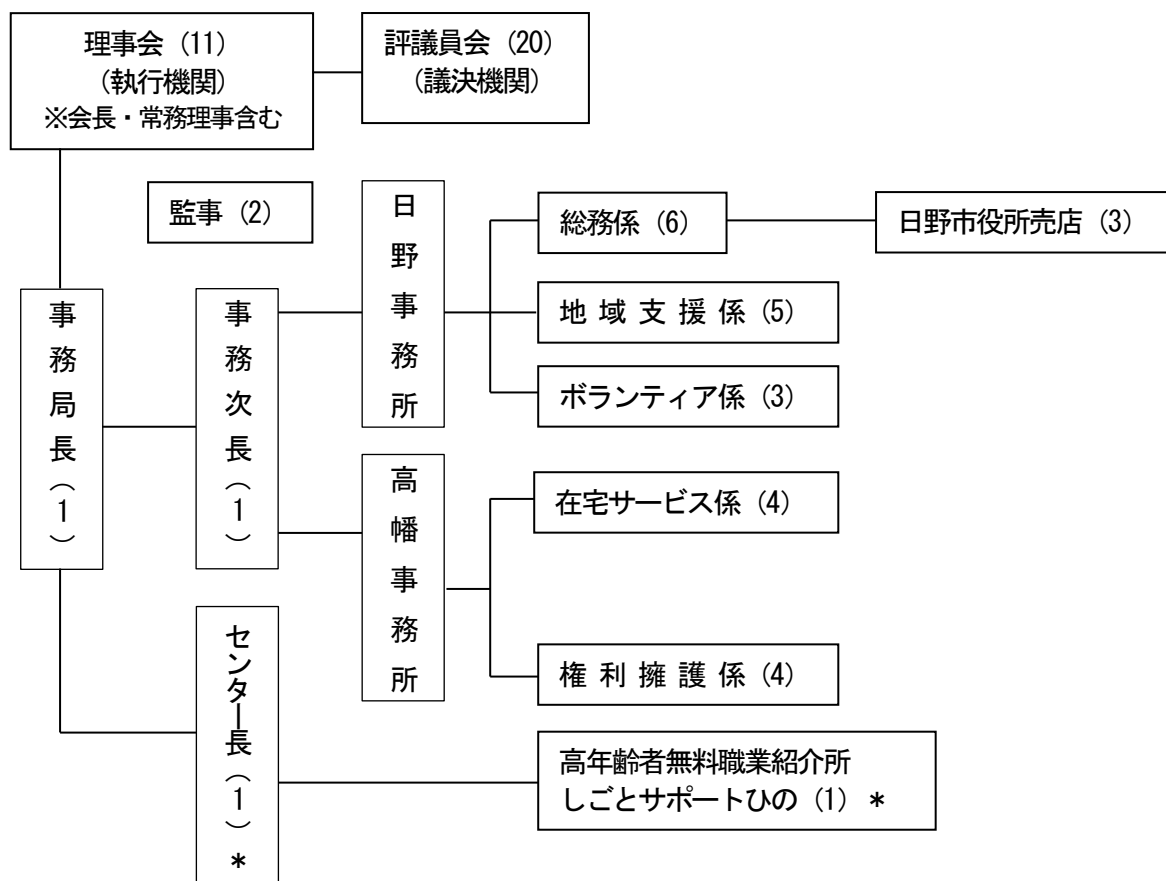
事業名	東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）		
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）		
財源内訳	地区配分推せん委員会事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ		
目的	東京都共同募金会日野地区配分推せん委員会事務局として、日野市内における社会福祉施設からの『助成金の受付ならび申請内容の審査・検討』を行い、東京都共同募金会へ推せん・意見書の交付を行う。		
内容	1. 審査・推せん（推せん・意見書の交付）		
実績報告	1) 意見書の交付 3 法人 東京都共同募金会へ意見書を交付した。		
	法人名（施設名）	申請内容	申請金額
	特定非営利活動法人ゆめのめ （デイケアルーム フローラ）	特殊浴槽更新整備事業	900,000 円
	社会福祉法人日野市社会福祉協議会	日野ハンディキャブ運行事業用車両整備事業	2,500,000 円
	社会福祉法人青い鳥福社会 （あおいとり日野）	あおいとり日野（送迎、作業など使用）車両購入事業	2,130,000 円
	2) 委員会の開催 3 回（11/1, 12/20, 1/24） ※11/1 書面開催		

実績報告	3) 推せん 15 団体・施設 1,640,000 円 順位を付け東京都共同募金会へ推せんした。		
	法人名（施設名）	申請内容	推せん金額
	社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 おーく高幡	空気清浄機の購入	30,000 円
	社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 まむ高幡	洗濯機の購入	90,000 円
	特定 NPO 法人あるく・自律を目指す会 つきのおあしす	ヨガ活動とバスケットボ ール活動	170,000 円
	特定 NPO 法人タイセン ISAMI	冷蔵庫の購入	140,000 円
	特定 NPO 法人在宅福祉サービスウイズ ケアホームともにこ	冷蔵庫の購入	170,000 円
	社会福祉法人夢ふうせん 工房夢ふうせん	プロジェクターの購入	80,000 円
	社会福祉法人日野青い鳥福社会 あおいとり上田	リサイクル衣類洗濯用の 洗濯機の購入	100,000 円
	社会福祉法人清心福社会 わらべ日野市役所東保育園	園児用整理棚一式の購入 事業	130,000 円
	社会福祉法人夢ふうせん 工房夢ふうせんアネックス	救急セット購入事業	130,000 円
	金子ベビーホーム	食器の購入	50,000 円
	社会福祉法人東京緑新会 多摩療護園	バブルタワーのワイヤレス スイッチボックスの購入	50,000 円
	社会福祉法人すずかけの会 すずかけの家	ブレンダー（ミキサー） の購入	60,000 円
	社会福祉法人日野市民たんぽぽの会 くつろぎ	テレビ及びテレビ台の購 入	50,000 円
	特定 NPO 法人やまぼうし スローワールドおちかわ屋	パソコンの入替及び増設	100,000 円
	社会福祉法人マザアス マザアス日野	空気清浄機の購入	290,000 円

歳末たすけあい運動

事業名	歳末たすけあい運動の実施		
事業形態	歳末たすけあい運動（共同募金運動）		
財源内訳	歳末たすけあい配分金、事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ		
目的	日野地区における歳末たすけあい運動の実施主体（主催：東京都共同募金会・主唱：東京都社会福祉協議会）として、運動の普及・啓発に努め、日野市の地域福祉事業の推進を図る。		
内容	1. 歳末たすけあい運動の普及・拡大		
実績報告	共同募金運動の一つとして、東京都共同募金会の主催のもと、日野地区における『歳末たすけあい運動』を展開した。		
	1) 運動期間 12/1～12/28		
	2) 募金実績		
		募金額	内訳
	3年度	1,728,651円	戸別募金 1,681,593円 街頭募金 27,538円 バザー募金 19,520円
2年度	3,288,163円	戸別募金 3,288,163円 街頭募金 0円 バザー募金 0円	
	3) 街頭募金活動 豊田小学校		
	4) 日野市役所市民窓口に募金箱を設置 期間 12/7（火）から12/28（火）まで		
事業効果・評価 方向性等	・2年度は団体からの大口の募金があったが3年度はなかったため、募金実績が前年度を大きく下回った。 ・バザーや大口の募金に頼らない募金活動を検討する。		
内容	2. 歳末たすけあいバザー		
実績報告	新型コロナウイルス感染症予防のため、2年度に引き続き中止とした。ただし、関係者に対しお餅のみ購入希望を確認し販売することで募金実績に充てることができた。		
事業効果・評価 方向性等	・2年度に引き続き歳末たすけあいバザーを中止とした。当会の歳末たすけあい募金実績の大きな割合を占めるイベントのため、来年度以降どう実施するか、関係者と検討していく必要がある。		
内容	3. 広報啓発活動		
実績報告	運動期間にあわせ、広報ひの12/1号にて周知をはかった。		

日野市社会福祉協議会組織図



職員数 26人（日野市役所売店は除く）

() 内は職員数

* しごとサポートひの 令和3年4月末日まで